

75-47イ



\*1200701708513\*

75

47イ



始





75-400

理學博士飯島魁編纂  
增訂

保護鳥圖譜

東京 有斐閣書房

明治  
29 2  
白



增訂保護鳥圖譜序



農政之於國政其最者也農業之於民  
業亦其家者也關農政之利害與農業  
之消長者雖小而可附之忽諸身抑農  
產之罹蟲害也有甚于人體於病毒者  
苗之勃然長者稻之蔚然稔者一朝而  
凋零枯死其慘狀使人夏猶寒農家之



憂何異喪其愛兒哉明治二十九年設  
害蟲驅除法促其勵行尔來稍得免其  
禍國家之慶也雖然驅除之業單不可  
委人為抑蓋鳥之毆害蟲其效極多而  
一時縱濫獲殆至無遺類何其不思之  
甚是我狩獵法之所以禁其濫獲謀其  
蕃殖而為農政之至者也曩飯島理學

博士著保護鳥畜譜爾後研鑽積功今  
又至加十數種其事似小而益農業亦  
甚大也乃弁一言於卷端

明治三十七年十二月中浣

農商務大臣男爵清浦奎吾撰





保護鳥圖譜序



凡飛禽之族有為益於民生者與否若  
而其為益禽鳥切戒濫獲謀之滋殖  
泰西諸國皆無不然也曩者我邦亦採範  
于泰西定狩獵法保護鳥類之目於是  
乎備矣雖然至考覈所謂保護鳥類  
性效如何載諸書冊者則未之有行法者



典狩獵者并以為憾焉頃日農務局長  
噶飯島理學博士解說本邦保存鳥  
類之形狀性質功用等編成一書名曰  
保護鳥圖譜愛見之所說詳密明晰  
插以圖繪定可充從事狩獵者之參考  
也乃命附剞劂公諸于世又別製一本  
上進以供

乙夜之覽自今後庶幾行法者與狩獵者  
因以得無同視難維之過乎書估有斐閱  
主人零余一言乃書之以弁卷首

明治三十一年四月中澣

農務大臣野呂實時伊東已代治撰





### 增訂保護鳥圖譜序

本邦地勢ノ大部ハ溫帶ニ位シ土地豊饒ニ生物繁息ス此ノ間棲息スル所ノ諸鳥凡ソ四百餘種蟲類ヲ啄食シ農業及ヒ林業ニ有益ナルモノアリ翎毛美麗ニ鳴音嚶嘯ニシテ人ヲ娛マシムルモノアリ蓋シ食蟲性ノ諸鳥ハ一羽ニシテ周年能ク數萬ノ蟲類ヲ啄ミ農林業ノ茶毒ヲ剪除シ其ノ人生ヲ利スルコト殆ント意思ノ外ニ在リ是レ泰西諸國ニ於テ夙ニ保護鳥ノ制ヲ布キ以テ其ノ捕獲ヲ禁シ又保護協會ヲ設ケテ其ノ愛護ノ獎勵ニ懈ラサル所以ナリ政府茲ニ見ル所アリ明治二十五年狩獵規則發布以來此ノ制ヲ設クルニ至リシハ頗ル慶スヘキナリ本省曩ニ保護鳥ノ種類ヲ明カニシ保護ノ要領ヲ得ルニ便ナラシメンカ爲保護鳥圖譜ヲ印刷セシメ之ヲ世ニ頒チタ



リ爾來狩獵法ノ改正ト共ニ保護鳥ノ種類ヲ増加セルヲ以テ  
頃日更ニ飯島理學博士ニ囑シ其ノ増加シタル鳥類ノ説明ト  
寫生圖トヲ増補シ以テ之ヲ印行ス讀者本書ニ依テ保護鳥ノ  
形狀、性質、效用等ヲ知悉シ人々相戒メ以テ之ヲ愛護スル所ア  
ラハ庶幾クハ農業及ヒ林業上偉大ナル利益ヲ舉クルコトヲ  
得ン増訂保護鳥圖譜刻成ル聊カ一言ヲ題スト云爾

明治三十七年十二月

農務局長農學博士 酒勾常明 識

### 保護鳥圖譜序

曩ニ本省狩獵法施行細則ヲ發令シ捕獲ヲ禁スル鳥類ノ名  
稱及保護ノ季節ヲ指示セリ而シテ其鳥類ノ各地方ニ於ケ  
ル同種ニシテ異名ノモノアリ或ハ一名ニシテ數種ヲ混稱  
スルモノアリ又甲地ニハ多クシテ乙地ニハ稀ナルモノア  
リ其解釋ニ苦ムノ憾ナキ能ハサルヲ以テ理科大學教授理  
學博士飯島魁氏ニ囑シ保護鳥ノ種類ニ就キ其性質產地等  
ノ説明ヲ要シ加フルニ寫生圖ヲ掲出シ名ケテ保護鳥圖譜  
ト云フ今此書ヲ印刷シテ世上ニ頒ツ庶幾クハ疑似ノ惑ヲ  
解キ保護ノ要領ヲ得ルニ便益ナラント云爾

明治三十年二月

農務局長 藤田 四郎 識



## 增訂保護鳥圖譜

### 緒言

余嘗テ農務局長藤田四郎氏ノ囑ヲ受ケ保護鳥ノ形狀、性質、產地等ヲ講説ス農務局員三田清三郎氏之レヲ筆記シテ冊ヲナス又長原孝太郎氏ニ托シテ鳥類寫生圖ノ調整ヲナサシメ余之レヲ監督シテ補修シ保護鳥圖譜ノ稿ヲ脱ス農務局乃チ之レヲ印刷シテ世ニ頒テリ其後狩獵法ノ改正ト共ニ保護鳥ノ種類増加シタルヲ以テ農務局長農學博士酒匂常明氏新保護鳥ノ説明ト寫生圖トヲ増補センコトヲ求メラル即チ東京帝國大學理科學助手波江元吉氏ノ補助ヲ得テ之レヲ增訂シ今其稿ヲ了ヘタリ惟フニ我邦鳥類保護ノ制ヲ設クルコト日



尙ホ淺ク未ダ著シク有益鳥類ノ増殖ヲ見スト雖今後法令ノ  
施行宜キヲ得ハ其蕃息スルコト旺盛ナルニ至リ農政上ノ實  
益モ亦蓋シ多大ナルニ至ルヘキヲ信ス

明治三十七年十二月

東京帝國大學理科大學教授理學博士 飯島 魁 識

凡 例

- 一 此編ハ現今ニ於ケル本邦ノ被保護諸鳥ヲ類聚シテ之ヲ圖解シ以テ之カ保護ノ要領ヲ示スニアリ
- 一 被保護鳥類ハ狩獵法第十八條ニヨリ其卵雛ニ至ルマデ保護セラレタルモノナルガ故ニ此等ノ性状ヲ示スノ要アリト雖モ材料未タ全カラス今之ヲ併示スルヲ得ス
- 一 鳥体形質ノ記述ハ成ルヘク通俗的ナルヲ務メタリ
- 一 鳥類實物ニ就キテ其保護鳥ナルヤ否ヤヲ判定スルノ便ニ供センガ爲メ保護鳥索引表ヲ掲ケタリ
- 一 此編記スル所ノ尺度ハ専ハラ曲尺ヲ以テセリ
- 一 編中翼長ト云フハ伸張セル翼ノ全長ニハ非ラス、翼ニハ前方ニ向ヒタル角(腕關節)アリテ此點ヨリ最長風切(是ハ翼ニ列生スル最大形ノ羽ヲ云フ)ノ末端マテノ距離ヲ翼長ト名クルナリ雨覆トハ風切羽ノ上部ヲ覆フ所ノ短キ羽ヲ云ヒ尾筒トハ尾羽ノ基部ヲ上下ヨリ被フ所ノ羽ヲ云フ
- 一 諸圖縮小ノ度ハ每圖ノ側ニ分數ヲ記入シテ示セリ
- 一 此編ノ創意ハ狩獵法ニ規定セル主旨ヲ詳明ナラシムルニ在リ因テ保護鳥獸ニ關スル諸規則及ヒ鳥獸保護期一覽表ヲ卷尾ニ掲ケテ參照ニ資ス



訂增  
保護鳥圖譜

目次

○序	言	三
○凡例	例	三
○保護鳥索引用法說明	說明	三
○保護鳥所屬部類索引	索引	三
○鶴	一 丹頂鶴	第一版、一圖 三頁
	二 真那鶴	全 二圖 四頁
	三 鍋鶴	全 三圖 五頁
	四 黑鶴	第二版、四圖 五頁
	五 袖黑鶴	第二版、五圖 六頁
	六 姊羽鶴	第二版、六圖 七頁
○燕		八頁



七	通常燕	第三版、七圖	九頁
八	琉球燕	第三版、八圖	一〇頁
九	腰赤燕	第三版、九圖	一〇頁
十	しやうどう燕	第三版、十圖	一一頁
(附)	岩燕	第三版、十一圖	一二頁
○から類			
十一	小雀	第四版、十二圖	一四頁
十二	日雀	第四版、十五圖	一五頁
十三	四十雀	第四版、十三圖	一六頁
十四	五十雀	第四版、十四圖	一七頁
十五	尋常柄長	第四版、十六圖	一八頁
十六	島柄長	第四版、十七圖	一九頁
十七	鷓鴣	第四版、十八圖	一九頁
十八	菊戴	第五版、十九圖	二〇頁
(附)	山雀	をうすとん雀	木走
○雪加			
十九	雪加	第五版、二十一圖	二三頁
○蟲喰類			
二十	小蟲喰	第五版、二十四圖	二五頁
二十一	目細	第五版、二十三圖	二六頁
二十二	仙臺蟲喰	第五版、二十五圖	二六頁
○瑠璃			
二十三	大瑠璃	第六版、二十八圖	二八頁
二十四	小瑠璃	第六版、二十七圖	二九頁
○鶺鴒			
二十五	上鶺鴒	第七版、三十圖	三一頁
二十六	瑠璃鶺鴒	第七版、三十一圖	三二頁
二十七	黄鶺鴒	第七版、三十二圖	三三頁
二十八	野鶺鴒	第七版、三十三圖	三四頁
二十九	鮫鶺鴒	第七版、三十四圖	三五頁
三十	小鮫鶺鴒	第七版、三十五圖	三五頁
(附)小	燕		三六頁
○三光鳥			
三十一	三光鳥	第十版、四十三圖	三七頁
○鶺鴒			
三十二	白鶺鴒	第八版、三十六圖	四〇頁

七	通常燕	第三版、七圖	九頁
八	琉球燕	第三版、八圖	一〇頁
九	腰赤燕	第三版、九圖	一〇頁
十	しやうどう燕	第三版、十圖	一一頁
(附)	岩燕	第三版、十一圖	一二頁
○から類			
十一	小雀	第四版、十二圖	一四頁
十二	日雀	第四版、十五圖	一五頁
十三	四十雀	第四版、十三圖	一六頁
十四	五十雀	第四版、十四圖	一七頁
十五	尋常柄長	第四版、十六圖	一八頁
十六	島柄長	第四版、十七圖	一九頁
十七	鷓鴣	第四版、十八圖	一九頁
十八	菊戴	第五版、十九圖	二〇頁
(附)	山雀	をうすとん雀	木走
○雪加			
十九	雪加	第五版、二十一圖	二三頁
○蟲喰類			
二十	小蟲喰	第五版、二十四圖	二五頁
二十一	目細	第五版、二十三圖	二六頁
二十二	仙臺蟲喰	第五版、二十五圖	二六頁
○瑠璃			
二十三	大瑠璃	第六版、二十八圖	二八頁
二十四	小瑠璃	第六版、二十七圖	二九頁
○鶺鴒			
二十五	上鶺鴒	第七版、三十圖	三一頁
二十六	瑠璃鶺鴒	第七版、三十一圖	三二頁
二十七	黄鶺鴒	第七版、三十二圖	三三頁
二十八	野鶺鴒	第七版、三十三圖	三四頁
二十九	鮫鶺鴒	第七版、三十四圖	三五頁
三十	小鮫鶺鴒	第七版、三十五圖	三五頁
(附)小	燕		三六頁
○三光鳥			
三十一	三光鳥	第十版、四十三圖	三七頁
○鶺鴒			
三十二	白鶺鴒	第八版、三十六圖	四〇頁



三十三	春黑鵓 <small>ハクキキ</small>	第八版、三十七圖	四〇頁
三十四	黃鵓 <small>キキ</small>	第八版、三十八圖	四一頁
三十五	類白鵓 <small>ホシキキ</small>	第九版、四十圖	四二頁
三十六	爪長鵓 <small>ツメガキキ</small>	第九版、四十一圖	四二頁
三十七	岩見鵓 <small>イミキキ</small>	第九版、四十二圖	四三頁
(附)	田鵓 <small>タキキ</small>	びんすい	四四頁
○杜鵑類	杜鵑 <small>ホト、キス</small>	第十版、四十六圖	四六頁
三十八	郭公 <small>カクコ</small>	第十版、四十四圖	四七頁
三十九	筒鳥 <small>ツツトリ</small>	第十版、四十五圖	四八頁
(附)	じういち		四九頁
○蚊母鳥	蚊母鳥 <small>モメトリ</small>	第十一版、四十七圖	五一頁
四十	鷺鳥類		五一頁
○鷺鳥類	鷺鳥 <small>ササギ</small>		五三頁
四十一	彪木兔 <small>ヒョウキウ</small>	第十二版、四十八圖	五三頁
四十二	小耳木兔 <small>コミキ</small>	第十二版、四十九圖	五四頁
四十三	鴉 <small>カラス</small>	第十三版、五十圖	五五頁

○鷹類	鷹 <small>トビ</small>	第十四版、五十一圖	五八頁
四十四	鷲 <small>シロトビ</small>	第十四版、五十二圖	五九頁
四十五	大鷲 <small>オホトビ</small>		六〇頁
四十六	雉 <small>キジ</small>		六三頁
○雉	尋常雉 <small>コノキジ</small>	第十五版、五十三圖	六四頁
四十七	高麗雉 <small>カウライ</small>	第十五版、五十四圖	六五頁
四十八	通常鷄 <small>コノトリ</small>	第十六版、五十五圖	六六頁
四十九	赤鷄 <small>アカトリ</small>	第十七版、五十七圖	六七頁
五十	鶉 <small>ヒヨトリ</small>		六八頁
○鶉	通常鶉 <small>コノヒヨトリ</small>	第十九版、六十六圖	六八頁
五十一	小笠原鶉 <small>コサガハ</small>		六九頁
五十二	琉球鶉 <small>リュウキウ</small>		六九頁
五十三	棕鳥 <small>カウ</small>		七一頁
○棕鳥	通常棕鳥 <small>コノカウ</small>	第十八版、六十一圖	七一頁
五十四	小棕鳥 <small>コノカウ</small>	第十八版、六十二圖	七二頁
五十五	唐棕鳥 <small>カウ</small>	第十八版、六十三圖	七三頁
五十六	雲雀 <small>ヒメスズリ</small>		七五頁



五十七	通常雲雀	第十九版、六十四圖	七五頁
五十八	大雲雀	第十九版、六十五圖	七六頁
五十九	濱雲雀	第十九版、六十五圖	七六頁
六十	鴿	第二十版、六十七圖	七八頁
六十一	赤鴿	第二十版、六十八圖	七九頁
六十二	兒鴿	第二十版、六十九圖	八〇頁
六十三	琉球鴿	第二十一版、七十圖	八一頁
六十四	大鴿	第二十一版、七十圖	八二頁
(附)	小啄木	第二十一版、七十一圖(本圖ハ删除ス)	八三頁
六十五	鶉	第十七版、五十八圖	八三頁
六十六	赤喉鶉	第十七版、六十圖	八四頁
○松鷄類			
六十七	松鷄	第廿二版、七十二圖	八六頁
六十八	雷鳥	第廿二版、七十三圖	八七頁
六十九	河原鳩	第廿三版、七十五圖	八九頁
七十	雉鳩	第廿三版、七十六圖	九一頁
七十一	斑鳩	第廿四版、七十七圖	九二頁
七十二	紅鳩	第廿四版、七十八圖	九三頁
七十三	金鳩	第廿七版、七十九圖	九四頁
七十四	綠鳩	第廿七版、七十九圖	九四頁
七十五	琉球綠鳥	第廿五版、八十圖	九五頁
七十六	鴉	第廿五版、八十圖	九五頁
七十七	小笠原鴉	第廿五版、八十一圖	九六頁
七十八	赤頭鴉	第廿五版、八十一圖	九六頁
七十九	琉球鴉	第廿五版、八十二圖	九六頁
八十	山鴿	第廿六版、八十三圖	九八頁
八十一	青鴿	第廿六版、八十四圖	一〇〇頁
八十二	田鴿	第廿七版、八十五圖	一〇一頁
八十三	地鴿	第廿七版、八十六圖	一〇二頁
八十四	玉鴿	第廿八版、八十七圖	一〇三頁
	保護鳥獸ニ關スル法令		自一至八頁
	鳥獸保護期一覽表		

七十	雉鳩	第廿三版、七十六圖	九一頁
七十一	斑鳩	第廿四版、七十七圖	九二頁
七十二	紅鳩	第廿四版、七十八圖	九三頁
七十三	金鳩	第廿七版、七十九圖	九四頁
七十四	綠鳩	第廿七版、七十九圖	九四頁
七十五	琉球綠鳥	第廿五版、八十圖	九五頁
七十六	鴉	第廿五版、八十圖	九五頁
七十七	小笠原鴉	第廿五版、八十一圖	九六頁
七十八	赤頭鴉	第廿五版、八十一圖	九六頁
七十九	琉球鴉	第廿五版、八十二圖	九六頁
八十	山鴿	第廿六版、八十三圖	九八頁
八十一	青鴿	第廿六版、八十四圖	一〇〇頁
八十二	田鴿	第廿七版、八十五圖	一〇一頁
八十三	地鴿	第廿七版、八十六圖	一〇二頁
八十四	玉鴿	第廿八版、八十七圖	一〇三頁
	保護鳥獸ニ關スル法令		自一至八頁
	鳥獸保護期一覽表		



### 保護鳥索引用法説明

此索引ハ所謂二分岐法ニ依ルモノニシテ自然的分類ニハ關係ナシ即チいろは字ヲ附シタル  
數部ヲ設ケ更ニ各部ニ必ズ二項ヲ置ク而シテ本書中ニ記載シタル鳥ナレバ之ヲいヨリ對照  
シテ其性質ノ投合スル項ノ下段ニ指定シタル所ニ隨ヒ追隨シ行ケハ終ニ鳥名ヲ發見スルノ  
仕組ナリ例ヘバ今讀者ハ一羽ノ鳩ヲ手ニ持ツモ其何鳥ナルヤヲ識ラス之レカ名稱ヲ發見セ  
ント欲スト假想セヨ先ツ第一ニ次出ノ表中いニ就キ其一項ニ相當スルカ二項ニ相當スルカ  
ヲ定ムベキナリ鳩ニテハ三趾前方ニ向ヒ一趾ノミ後方ニ向フ依テいノ二項ニ屬スルモノナ  
ルヲ明ナリ而シテ該項下段ニ「ハニ移レト」アル故更ニハノ部ニ就キ參照スルニ此部ノ一項ニ  
ハ相當セザルモ二項ニハ相當ス、是ニ「ハ」ニ移レトアルヲ以テハノ兩項ト對照スルニ鳩ノ翼  
長(是ハ凡例ニ説明セリ)ハ四寸ヨリモ長シ左レバハノ一項ニ相當スルナリ、此下段ニ「ハ」ハニ移  
レト指定シアリ、依テハニ移レバ其二項ニ屬シヘニ移レトノ指定アリ、之ニ從ヒヘニ移レバ其  
二項ニ相當シ更ニヒニ移レバ一項ニ相當シテ二項ニハ相當セズ而シテヒノ一項ノ下段ニ鳩  
(八九頁)トアリ、是ニ於テ讀者ノ手ニ持タル鳥ハ鳩ナルヲ知ルベシ、尙ホ尋テ示指シアル八九  
頁及九〇頁ヲ披見セバ此處ニハ又本邦ニ産スル鳩ノ種類ヲ定ムル爲メナル索引アルヲ見ル  
ベシ、此索引ト實物ヲ前述ノ方法ニヨリ尙ホモ對照シ行ケバ彼ノ鳩ハ何鳩ナルカヲ識ルニ至  
ルベシ

此書中ニ掲グル諸索引ハ本書ニ記載シタル諸鳥ヲ基礎ト爲シ調製シタルモノナレハ記載以



外ノ鳥ハ多クハ索引ノ中途ニテ孰レノ項ニモ當挿ラザルニ至ルベシ或ハ時ニ種名マデモ索メ得タリト思ハル、場合アルモ其種ノ説ト對照スルトキハ必ラズ相異ノ點アルヲ發見スルナルベシ、尙ホ茲ニ注意ヲ要スル一事ハ縦令本書中ニ記載シタル保護鳥ト雖モ雜鳥ナルカ若クハ羽ノ甚シク損傷シタルモノハ搜索スルヲ能ハザルベシ

○保護鳥所屬部類索引

い	二趾ハ前方ニ二趾ハ後方ニ向フ……………	ろ	ニ移レ
い	三趾ハ前方ニ一趾ハ後方ニ向フ……………	は	ニ移レ
ろ	足ハ黄色、鼻孔露出ス……………	〇杜鵑類	(四六頁)
ろ	足ハ黄色ニ非ズ……………	れ	ニ移レ
は	嘴及ビ足長シ、鳥體大ナリ……………	〇鶴	(一頁)
は	然ラズ、鳥體小形乃至中大ナリ……………	に	ニ移レ
に	翼長四寸或ハ四寸ヨリモ長シ……………	ほ	ニ移レ
に	翼長四寸ヨリモ短シ……………	ぬ	ニ移レ
ほ	後趾ノ爪普通ヨリモ長シ……………	〇雲雀	(七五頁)
ほ	然ラズ……………	へ	ニ移レ
へ	尾羽ハ末端ノ方ニ細ク且ツ尖レリ、鳥體大ナル方……………	〇雉	(六四頁)
へ	然ラズ、中大ノ鳥ナリ……………	と	ニ移レ
と	嘴ハ軟皮ヲ被ムリ鼻孔上ニ軟辨ヲ垂ル……………	〇鳩	(八九頁)
と	然ラズ、嘴ハ堅硬ナリ……………	ち	ニ移レ
ち	脛ハ羽毛ヲ生シ露出セズ……………	〇松鷄類	(八六頁)
ち	脛ハ然ラズ普通ノ有様ナリ……………	り	ニ移レ



一、 嘴及び足ハ黄色ナリ(通常ムクドリ).....○椋鳥(七一頁)  
 二、 嘴及び足ハ黄色ニ非ラズ.....○鶉(六八頁)  
 三、 翼長三寸ヨリモ長シ.....るニ移レ  
 一、 翼長三寸ヨリモ短シ.....そニ移レ  
 二、 嘴ハ甚ダ短ク、口裂廣潤ニシテ尾ハ又狀ヲナス.....○燕(八頁)  
 三、 嘴ハ甚ダ短ク、口裂廣潤ニシテ尾ハ又狀ヲナサズ.....○蚊母鳥(五一頁)  
 一、 後趾ノ爪普通ニ於ケルヨリモ長シ.....○雲雀(七五頁)  
 二、 後趾ノ爪普通ノ長サナリ.....わニ移レ  
 三、 嘴ハ壯大ニシテ、豎幅廣ク、尖端鈎曲ス.....○鶇(七八頁)  
 一、 嘴ハ強大ニシテ、豎幅廣ク、尖端鈎曲シ、基部ニ黄色ノ皮蠟皮アリレ.....ワニ移レ  
 二、 額部白ク、白色ノ眉アリ(白セキレイセグロセキレイ).....○鶺鴒(三九頁)  
 三、 然ラズ.....よニ移レ  
 一、 頭上一様ニ灰白色或ハ茶褐色、尾比較的ニ短シ.....○椋鳥(七一頁)  
 二、 然ラズ.....たニ移レ  
 三、 中央ニ二枚ノ尾羽ハ他ノ尾羽ニ比シ著シク長シ.....○三光鳥(三七頁)  
 一、 然ラズ、頰部焦茶色ナリ.....○鶇(六八頁)  
 二、 嘴根ノ蠟皮露出シ、爪ハ鈎狀ヲナシ、銳利ナリ.....○鷹類(五八頁)  
 三、 嘴根ノ蠟皮部及趾脚ハ羽毛ニ覆レ露出セス.....○鶉類(五三頁)

一、 嘴ハ根元ニテ、横幅廣ク、上ヨリ見ルトキハ三角形ヲ呈ス.....つニ移レ  
 二、 嘴細ク圓錐狀ナリ.....ねニ移レ  
 三、 上面ニ於ケル尾根ハ青色ヲ帯ビ、腹側茶色ヲ呈ス(ルリビタキ).....○鶇(三〇頁)  
 一、 然ラズ、小鳥ナリ.....○鶇(三〇頁)  
 二、 上面ニ於ケル尾根ハ青色ヲ帯ビ、腹側茶色ヲ呈ス(ルリビタキ).....○鶇(三〇頁)  
 三、 然ラズ.....なニ移レ  
 一、 鼻孔ハ前方ニ向ヒタル羽毛ニヨリ、隠蔽セラル.....○から類(二三頁)  
 二、 鼻孔露出ス.....らニ移レ  
 三、 至テ小サキ鳥ニシテ、翼長二寸以下(ミンサバ).....○から類(二三頁)  
 一、 稍々大ニシテ、翼長二寸八分以上.....○鶇(三九頁)  
 二、 嘴ハ短クシテ、跗骨部露出セルモノ.....○鶇(八三頁)  
 三、 嘴ハ細長クシテ、跗骨部露出セルモノ.....○鶇(九八頁)



增訂 保護鳥圖譜

農務局纂訂



(第一)

○鶴

四季共ニ保護ヲ加フヘキ鳥類

鶴 ハ其形貌瀟洒羽毛美麗ノ大鳥ニシテ本邦ニ於テハ古來之ヲ靈禽ノ一ニ數ヘ或ハ詩歌ニ詠シ或ハ繪畫ニ寫シ或ハ織紋ニ彫刻ニ其形狀ヲ模出シ又之ヲ苑囿ニ畜養スル等之ヲ賞愛スルヲ他邦ノ比ニアラス維新前ニ在テハ竣刑ヲ設ケテ之ヲ保護シタルヲ以テ到ル處此鳥ノ優美ナル姿ヲ見ルヲ得タルモ維新以來ハ其制度解ケタルヲ以テ其數漸ク減シ今日ニ在リテハ殆ント其跡ヲ絶タントスルニ至ル豈憾ムヘキノ至リナラスヤ然レモ猶ホ每歲晩秋ノ頃ニ至レバ往々鶴群ノ中天ニ飛翔シ時ニ清亮ナル唳聲ヲ聞クアリ今ニシテ之ニ保護ヲ加ヘハ又永ク其優美ノ姿ヲ見ルヲ得ンカ元來鶴ハ穀類若クハ水中ノ小動物等ヲ食餌トシ秋季大陸ヨリ來リ其一部分ハ本邦ヲ過キテ南方ニ渡リ又一部分ハ冬季間本邦ニ棲息シ初春營巢ノ爲メ再ヒ大陸ニ向テ去ルモノ、如シ但其小數ハ夏季ト雖モ本邦殊ニ北海道ニ留リ巢ヲ營ミテ雛ヲ育ツルモノモアリ而シテ本邦ニ於テ見ル所ノ鶴ニ六種アリ曰ク丹頂鶴、真那鶴、鍋鶴、黑鶴、袖黑鶴、姉羽鶴是ナリ此他地方ニ由リテハ鷺屬ノ鳥ニシテ外形ノ相似タルニヨリテ鶴ノ名稱ヲ附



スルコアルモ是レ全ク鶴屬ニハアラサルナリ又鶴ハ俗ニ之ヲこうづると稱スト雖モ是又動物學上鶴ノ類ニ入ルヘキモノニアラズ今第一版及ヒ第二版ニ鶴六種ノ縮小圖ヲ出セリ又實物ニ就キテ其種名ヲ探クルノ便ニ供セン爲メ左ニ索引表ヲ掲グ

- い 一、 軀幹ニ白色部多シ……………ろニ移レ
- 二、 軀幹ハ主トシテ灰白、灰黒若クハ灰褐色ナリ……………ほニ移レ
- ろ 一、 頸ニ黒色部アリ……………○丹頂親(二號)
- 二、 頸ニ黒色ナク、純白若クハ茶褐色ナリ……………はニ移レ
- は 一、 頭上ニ羽毛アルコ常ノ如シ頸ハ茶褐色ナリ……………○丹頂幼(一號)
- 二、 頭上ニ羽毛ナク皮膚ヲ露出ス……………にニ移レ
- に 一、 頸ノ全部純白ナリ……………○袖黒親(五號)
- 二、 頸ノ全部茶色ナリ……………袖黒幼(五號)
- ほ 一、 頸ノ全部軀幹ト同色ナリ……………ヘニ移レ
- 二、 頸ニ白色部アリ……………とニ移レ
- へ 一、 額黒ク頭上ニ紅毛アリ……………○黒鶴幼(四號)
- 二、 全頸灰色ニシテ眼後ニ白色羽ノ總ヲ生ス……………○姉羽(六號)
- と 一、 頸ノ上部全ク白シ……………○鍋鶴(三號)
- 二、 頸ノ上部ニ黒色部アリ……………ちニ移レ

- ち 一、 頭上ヨリ後頸ニ亘リテ純白ナリ……………○眞那親(二號)
- 二、 頭上ヨリ後頸ニ亘リテ純白ナラズ……………りニ移レ
- り 一、 頭上ヨリ後頸ニ亘リテ茶色ナリ……………○眞那幼(二號)
- 二、 頭上ヨリ後頸ニ亘リテ黒色ナリ……………○黒鶴親(四號)

(一) 丹頂鶴又白鶴

たんちやうづる又たうづる

Grus japonicus (Miller).  
Sacred Crane 又 Japanese Crane.  
(第壹版、壹圖、縮小)

丹頂鶴 ハ體ノ主部純白ナルモ頭上赤色ニ額、眼先、頤、頬及ビ咽喉部ヨリ下頸背部ニ亘ル部分ト尾端ニ垂レタル羽トハ黒色ナリ、此尾端ノ黒羽ハ翼ニ屬スルモノニシテ尾羽ニハアラズ尾羽ハ白色ナリ、嘴ハ綠色ヲ帯ビ脚ハ黒色ナリ、本邦ニ見ル鶴類中純白ノ軀幹ト黒色ノ咽喉ヲ具フルモノハ此種ノ外他ニ有ラサルヲ以テ容易ニ之ヲ識別シ得ベシ、但シ幼鳥(所謂一年子)ニ在テハ頭ニ赤色羽ナク又頸ニ黒色部ナクシテ頭頸トモニ茶褐色ヲ呈ス、自餘ノ部ハ親鳥ニ等シト雖モ軀幹ノ白羽中多少ノ茶褐色ノ羽ヲ混ズ此種ハ元來本邦ノ東北部ニノミ渡リ來リ其



數モ亦太タ多カラザリシガ如シ而シテ北海道ニ在テハ夏季ニ留リテ營巢シタルノ例アリト云フ、丹頂ナル者ハ古ヨリ多ク富豪ノ庭園ニ飼養セルモノナルガスハ概テ海外ヨリノ舶載ニ係リ近時ハ韓國ヨリ輸入スルモノ多シ、蓋シ彼ノ國ニ在テハ此鶴ハ他ノ諸種ト共ニ甚ダ多クシテ營巢スルモノモアルナラン、其固有ノ蕃殖地ハ正ニ西比利亞東部ノ諸地方ニ在リテ秋期南方ニ渡リ初春再ビ生産地ニ歸ルモノナリ

### (二) 眞那鶴

まなづる 又あをまなノ稱アリ、古名たづ

*Grus leucauchen* T.

White Naped Crane.

(第壹版、二圖、縮小)

眞那鶴 ハ全身殆ト灰蒼乃至灰黒色ニシテ只頭上ヨリ頸背ニ沿ヒ肩ニ至ルノ間及ヒ咽喉部ノ前部白色ナリ、眼ノ周圍赤ク、嘴ハ綠色ヲ帶ビ、脚ハ暗赤ナリ、幼鳥ハ眼ノ周圍ナル赤色部ヲ欠キ頭上ニ多少ノ茶色羽アルノ外、ハ略ホ親鳥ニ同シ、鶴類中軀幹灰色ニシテ頸背ノ肩ニ至ルマデ白キハ只此種アルノミナレバ容易ニ他種ト區別シ得ベキナリ  
此種ハ本邦ニ在テハ古來最モ多ク諸國トモニ秋彼岸ノ頃ニ渡リ來リテ涉冬セリ、其蕃殖地ハ丹頂ト同ジク西比利亞ノ東部地方ニ在リ、昔時將軍家又ハ諸侯等ノ放鷹シテ獲タルハ蓋シ此鶴ヲ以テ最モ多シトス

### (三) 鍋鶴 又黒鶴

なへづる 又くろつる

*Grus monachus* T.

White Headed Crane.

(第壹版、三圖、縮小)

鍋鶴 ハ前ノ二種ニ比シ稍小形ニシテ全身灰黒ナルモ頸ノ中程ヨリ頭部ハ白色、其額及ビ眼先ノ部分ハ黒色ナリ、頭上ニ赤羽ナク、嘴ハ綠ヲ帶ビ、脚ハ黒シ、本邦ニ見ル鶴ノ諸種中、上頸部ニ限リ其全周圍白色ナルハ本種ノ外ニハ一モ有ルヲナシ  
往時ハ秋期群ヲナシテ渡來シ殊ニ西南地方ニ夥多ナリシト云フ、近時ニ至リテモ九州某地ニ此鶴ノ地ニ下リタルヲ見タルヲアリト云ヘリ、其主ナル生殖地ハ丹頂ト同ジク西比利亞ノ東部ニ在ルナリ

### (四) 黒鶴 又玄鶴

くろつる 又ねづみづる、まつまへづる

*Grus cinerea* Bechst.

Common Crane.



黑鶴 ハ全身灰黒ニシテ眼後ヨリ頸側ハ稍、白色ニ、咽喉部及ビ頭上ヨリ上頸背部ニ亘リテ黒色ヲ呈シ、頭上ニハ赤羽ヲ混ズ、嘴ハ黄緑ニ脚ハ黒シ、幼鳥ハ額黒ク、頭上赤ク而シテ頰部ノ淡白色ナルノ外ハ悉ク灰褐色ナリ、本邦ニ見ル鶴ニシテ體軀ノ殆ド全暗色ニシテ頭上赤キ種ハ此他ニ有ラザルヲ以テ一見シテ之ヲ識別スルヲ得ベシ  
此種ハ元來甚ダ多カラズ、其蕃殖地ハ歐洲ヨリ西比利亞南部ヲ通ジテ東塞加ニ達ス

(五) 袖黑鶴 又袖鶴、白鶴

そでぐろづる 又そでづる、しろつる

*Grus leucogeranus* Pall.

Siberian White Crane.

(第二版、五圖、縮小)

袖黑鶴 ハ全身純白ナルモ翼ノ末端ナル大羽(風切)ノミ黒色ヲ呈ス、是袖黒ノ名稱アル所以ナリ、頭上及ビ眼ノ周圍ハ羽毛ヲ生ゼズシテ皮膚露出シ濃赤色ナリ、嘴及ビ脚ハ淡紅色ヲ呈ス、幼鳥ハ頭及ビ上頸部ハ茶色ニ、軀幹ノ白羽間ニ多少ノ茶色羽ヲ混ジ其他ハ略ボ親鳥ト同觀ナリ

此種ハ往時之ヲ稀ニ見タリ、是又其蕃殖地ハ西比利亞ニシテ冬間ハ西ノ方歐洲ニ至リ又南方本邦支那及印度北部ニ渡ル

(六) 姊羽鶴 又姊和鶴

あねはづる

*Grus virgo* L.

Demoiselle Crane 又 Nunidian Crane.

(第二版、六圖、縮小)

姊羽鶴 ハ他ノ諸種ニ比シ最モ小形ノ鶴ニシテ全身灰黒色ナリ、唯眼ノ後方ニ純白色ノ長羽總狀ヲナシテ生シ形貌頗フル美麗ナリ  
此種ハ往時ニ在テモ本邦ニ之ヲ見ルコト甚ダ稀ナリシガ如シ、其產地ハ中央亞細亞ニシテ冬期歐洲大陸、北亞弗利加、東亞細亞等ニ至ルマデ渡リ行ク







(八) 琉球燕

りうきうつばめ

*Hirundo javanica namiyei* (Stejn.)

Namiye's Bangalow-Swallow.

(第三版、八圖、全形ノ二分ノ一)

琉球燕

ハ沖繩諸島ニ棲息スルヲ以テ此名稱アリ、其形状、羽色共ニ通常ノ燕ニ酷肖タルモ之ニ比スレハ稍々小形ナリ又其異ナル點ハ尾羽ノ分又通常ノ燕ヨリ頗ル淺クシテ羽色ニ於テハ其上部ノ黒色ハ綠色ノ光澤ヲ帶ビ、栗茶色ノ咽喉ト胸トノ間ニ暗色帶ナク而シテ胸部以下腹部ハ灰白色ナリ

習性通常ノ燕ニ異ナラズ去來モ亦之レト共ニスルナラン、沖繩以北ニハ未タ此鳥ノ渡來スルヲ聞カズ、印度地方ニモ此種アリ但シ琉球ノモノニ比シテ體形一層小ナリト云フ

(九) 腰赤燕

こしあかつばめ又とつくりつばめ、あなくらつばめ

*Hirundo alpestris nipalensis* (Hodgs.)

Japanese Mosque-Swallow.

(第三版、九圖、全形ノ二分ノ一)

腰赤燕

ハ體軀通常ノ燕ニ酷肖タルモ頭ヨリ背部ニ亘リ黒クシテ青色ノ光澤ヲ呈ス而シテ腰部ハ頭側部ト共ニ赤茶色ナリ、下面ハ頗ヨリ腹部ニ至ルマデ淡茶色ヲ帶ビ且數多ノ黒色ノ細縦條アリ、翼及ビ尾羽ハ無光澤ノ黒色ナルモ尾羽ニハ通常燕ニ於ケル如キ白點ヲ存セズ、本邦ニ在テハ此種ハ餘リ多カラズ、通常燕ト同ジク春來リテ秋ニ至リ去ルモノナリ、此鳥ヲ德利燕ト謂フハ屋壁ノ高處ニ德利形ノ土巢ヲ作り雛ヲ育スルニ因テナリ

(十) しやうどう燕

又すなむぐりつばめ

*Cotyle riparia* T.

Sand-Martin.

(第三版、十圖、全形ノ二分ノ一)

しやうどうつばめ ハ燕族中ノ小形ノモノナリ、尾羽ハ僅ニ分又シ頭部ヨリ尾ニ至ルマデ暗褐色ナレ共背部ノ羽ノ縁邊ハ淡色ニ又胸部モ暗褐色ナルガ咽喉部及ビ腹部ハ白色ナリ、此種ハ通常燕ノ如ク普通ナラザルモ所ニ由リテハ群ヲ爲シテ飛翔シ海濱又ハ河岸等ノ砂土ニ穴ヲ穿チテ産卵ス、故ニすなむぐり燕ノ別稱アリ、他ノ燕類ト同ジク蕃殖期間ニノミ本邦ニ在リ



(附) 岩燕

いはつばめ 又ははまきつばめ

*Cheidon dasypus* Bp

*Black-clinned Martin.*

(第三版、十一圖、全形ノ二分一)

岩燕 ハ現行法律ノ保護スル所ニ非ズト雖モ法文中特ニ其名ヲ出ダスヲ以テ他種ト區別  
セン爲メ爰ニ記載センニ大サハ略ボ通常ノ燕ノ如ク、尾羽ハ短ク且ツ分叉極メテ淺ク殆ド分  
叉セサルガ如シ、頭ヨリ背部ニ亘リ光澤アル黒色ニシテ腰部ハ白ク、尾羽及ビ翼羽ハ黒色ナリ  
下面ハ頤ニ於ケル黒色小點ノ外ハ總テ白色ナリ又他種ト異ナリテ脚ノ諸趾ハ爪根ニ至ルマ  
デ小羽ヲ生ズ

此種ハ夏季本邦ノ深山ニ於テ無數ニ群ヲ爲シ絶壁ニ土巢ヲ懸ケテ産卵ス、秋季南方ニ渡リ、ボ  
ルチヲ島ニ於テ涉冬スト云フ、彼ノ日光華巖瀧ノ邊ニ夥シク見ルハ則チ此種ナリ、通常此種ノ  
居ル所ニハ雨燕及ビ針尾雨燕モ棲息ス、蓋シ此兩種ハ前ニモ記シタルガ如ク燕ノ名ヲ附スル  
モ燕屬ニハ非ズ、其外形ハ真正燕ニ酷肖スト雖モ體軀著シク大ナルガ故ニ識別スルヲ容易ナ  
リ

○から類

狩獵法施行規則第二十七條ニ謂フ所ノ小雀、日雀、四十雀、五十雀、柄長鷓鴣及ビ菊戴ハ動物學上  
同一部類ニ總括スベキモノニシテ爰ニ之ヲから類ト稱ス、尙ホ右ノ諸種ノ外ニモから類ニ屬  
スベキモノ數多アリ、其主ナルモノヲ舉グレバ山雀をうすとんがら、木走等はレナリ、皆小鳥ニ  
シテ小形ノ圓錐狀嘴ヲ有シ其鼻孔ハ嘴根ヨリ前方ニ向ヒ生スル羽毛ノ爲メニ多少隠蔽セラ  
ル、此類ニ隸屬スル鳥ハ悉ク皆草木ノ繁茂ヲ妨害スル小蟲ヲ啄ミ害ヲ致サルガ故ニ農  
林業上極メテ有益ナルモノナリ、現行法律ノ其一部分ヲ保護シ他ノ一部分ヲ保護外ニ措キタ  
ルハ其施行上ヲ斟酌シテ然ルノミ、左ニ保護ノ有無ニ拘ラズ本邦ニ産スルから類ノ主要ナル  
諸種ノ名稱索引表ヲ掲出ス

- 一、 喉黒ク或ハ灰黒ナリ……………ろニ移レ
- 二、 喉黒カラズ……………へニ移レ
- 一、 腹側ハ栗茶色ナリ……………はニ移レ
- 二、 腹側ハ栗茶色ニ非ズシテ白色乃至擬白色ナリ……………にニ移レ
- 一、 額及ビ頬ハ腹側ノ如ク栗茶色ニ非ズシテ淡茶色ナリ……………○山雀 (附)
- 二、 額及ビ頬ハ腹側ト同ジク栗茶色ナリ……………○ヲウストン雀(附)
- 一、 後頸ニ白色部アリ……………○日雀 (十二號)
- 二、 後頸ニ白色部ナシ……………ほニ移レ



- ほ 一、背ハ綠色ヲ帶ブ……………○四十雀(十三號)
- 二、背ハ灰褐色ナリ……………○小雀(十一號)
- へ 一、喉ハ全身ト共ニ黒茶褐色ナリ……………○鶺鴒(十七號)
- 二、喉ハ白色或ハ擬白色ニシテ背ト色ヲ異ニス……………○とニ移レ
- と 一、頭上白シ……………○ちニ移レ
- 二、頭上白カラズ……………○りニ移レ
- ち 一、眼上部黒シ……………○尋常柄長(十五號)
- 二、全頭白シ……………○島柄長(十六號)
- り 一、頭上ニ橙黄色ノ羽ヲ生ズ……………○菊戴雄(十八號)
- 二、頭上ニ橙色ノ羽ヲ欠ク……………○菊戴雌(十八號)
- ぬ 一、頭上ハ全背ト共ニ灰青色ナリ……………○五十雀(十四號)
- 二、頭上ハ背ト共ニ焦茶色ニシテ白點アリ……………○木走(附)

(十一) 小雀又十二雀

こがら又じうにから

*Parus palustris japonicus* Seeb.

Japanese Marsh-Tit.

(第四版、十二圖、全形ノ二分一)

小雀 <sup>スズメ</sup> ハ雀ヨリモ小形ニシテ四十雀ニ能ク似タリ、羽色ハ全頭上ヨリ後頸ニ亘リ無光澤ノ  
 黒色ナリ、頤及ビ咽喉ハ灰黒、頬ヨリ頸側ハ白色、背ハ灰褐色、腹ハ擬白色ヲ呈ス、翼及ビ尾ハ主ト  
 シテ黒色乃至黒褐色ナリ  
 此鳥ハ四時本邦ニ棲息シ夏季ハ多ク山地ニ在リテ營巢ス、秋ニ至レバ餌食ヲ逐フテ平原ニ下  
 リテ涉冬ス、所謂漂鳥ニシテ候鳥ニハ非ズ、或ハ小群ヲ爲シテ飛翔シ或ハ他ノから類ト群ヲ俱  
 ニスルコアリ

(十二) 日雀

ひがら

*Parus ater pekinensis* Seeb.

Eastern Cole-Tit.

(第四版、十五圖、全形ノ二分一)

日雀 ハ體容小雀ニ彷彿タルモ之ニ比シテ羽色稍華美ナリ、頭上ハ青キ光澤アル黒色ニシ  
 テ其ノ羽毛ハ生活ノキ直立シテ冠狀ヲ爲ス、咽喉ハ眞黒ニ、頬ヨリ頸側ニ亘リ純白ナリ、又後頸  
 ニ黒色ニテ圍ミタル白色部アリ、背ハ灰蒼色ニシテ腰部ニ至リ少シク綠色ヲ帶ビ、胸部以下腹



ハ擬白色ニシテ微ニ淡茶色ヲ帶ブ、尾羽及ビ風切羽ハ黒褐色ニシテ其縁邊ハ灰蒼又ハ擬白色ナリ、兩翼ノ小羽ヲ生ズル處ニ二條ノ白色帶ノ横斷スルアリ  
此鳥ハ歐洲、西比利亞及ビ支那ニモ之レ有リ、本邦ニ在テハ小雀ト同ジク漂鳥ニシテ習性モ又同ジ、平原ノ低地ニテハ只冬間ニノミ群ヲ爲シテ飛翔スルヲ見ル

(十三) 四十雀 又雀

しぎうから

*Parus atriceps minor* (T. & S.)

*Manchurian Great-Tit.*

(第四版、十三圖、全形ノ二分一)

四十雀 ハ前出二種ニ酷肖タリト雖モ、軀體稍大ナリ而シテ頭上ハ青色ノ光澤アル、黒色ニシテ冠ハ之レ無シ、咽喉モ亦濃黒ニシテ頬ハ純白ナリ、脊上肩ノ邊ハ黄綠色ナルモ、後方ニ至ルニ隨ヒ漸々ト灰蒼色ニ移ル、腹ハ擬白色ナルモ中央ニ不規則ナル黒條ヲ通ズ、尾羽ハ黒色ニシテ多少灰蒼色ヲ帶ビ、翼ノ諸羽モ亦黒色ナレドモ擬白色若クハ灰青色ノ縁邊ヲ有シ、翼ヲ横斷スル一條ノ白色帶アリ

此種及ビ前出二種ハ共ニ黒頭白頬ニシテ甚ダ種別ニ紛ラシキモノナルガ、四十雀ハ肩ノ邊黄緑ナルヲ、日雀ハ後頸ニ白斑アルヲ、又小雀ハ背面ニ右ノ如キ着色部ナキヲ注意セバ三種ヲ區

別スルヲ難カラサルベシ、四十雀ハ羽色華麗に舉動快活ニ、嘯聲愛スベキヲ以テ籠中ニ飼養セラル、モノナリ、本邦到ル處ニ四時共ニ見ル、普通ノ鳥ナリ、春季ヨリ初夏ニ至ルノ頃、樹木ノ空洞中ニ巢ヲ作り白色ノ小卵ヲ産シ、秋季ヨリ冬間ハ群ヲ爲シ其餌食タル小蟲ヲ逐フテ彷徨ス、此鳥ハ滿洲及ビ北支那ニモ産セリ

(十四) 五十雀

ごじうから又きめぐり、さまはり、さかほこ、さねすみ

*Sitta caesia* Wolf

*Nuthatch.*

(第四版、十四圖、全形ノ二分一)

五十雀 ハ大サ四十雀ニ比シテ少シク大ニ、嘴モ稍長大ニシテ、略ホ山雀ニ等シ、額ヨリ以下背部一跡ニ灰蒼色ニシテ、口角ヨリ眼部ヲ通ジテ黒條アリ、下面頤ヨリ胸部ニ亘リ白色ニ腹ハ淡茶色ヲ帶ビ、腹側及ビ尾根ニ至リテ焦赤色ヲ加フ、翼羽ハ黒色ニシテ灰蒼ヲ交ヘ、尾羽ハ中央ノモノ二枚ハ全ク灰蒼此レヨリ左右ニ次グ二枚ハ純黒ニシテ末端ノミ灰蒼ナリ而シテ、最外ノ二枚ハ末端淡黒ニ中間白ク根部純黒ナリ

以上ハ本邦内地ニ見ル所ノ五十雀ニ就キ記述シタルモノナルガ、北海道ニハ腹部淡茶色ヲ帶ビズシテ純白ナル(其他ノ羽色ハ同ジ)モノヲ産ス、北西比利亞ニ見ル所ノ五十雀之ニ同ジ、又東



塞加ニハ額部ノ白色ナルモノヲ産シ我ガ千島ニモ亦之ヲ見ルト云フ、以上述ブル如ク五十雀ノ羽色上少シク變化アリト雖モ未ダ以テ別種ト爲スニ足ラズ  
五十雀ハ四時共ニ我邦ニ在リ、夏季ハ多ク山地ニ在リテ營巢シ秋季群ヲ爲シテ平原ニ下リ食ヲ求ム其習性他ノから類ト一般ニシテ能ク歩シテ樹幹ノ周圍ヲ回旋シツ、上下ス、故ニきめぐり又きまわりノ名アル所以ナリ

(十五) 尋常柄長

ゑなが又ゑびしやく、まつさがり

*Acredula trivirgata* (T. & S.)

Japanese Long-tailed Tit.

(第四版、十六圖、全形二分一)

本邦ニ産スル柄長ニ二種アリ、通常ノ柄長及ビ鳥柄長是レナリ、通常柄長ハ我國ニ棲息スル極小鳥ノ一ナルガ尾ハ本體軀ノ一倍以上ノ長サアリ、額ヨリ頭上ハ純白ニシテ其兩側則チ眼上ヨリ後方ニ伸延シテ黒色部アリ、背ハ黒ト淡紫赤ヲ雜ヘ、頤以下々面ハ一體ニ白色ナルモ腹部ニ至リ淡白ナル紫赤色ヲ帶ブ、翼羽ニハ全羽黒色ノモノト一部分白色ノモノトアリ、尾羽ハ中央ノ四枚ハ全黒ナルモ外側ノ三枚ニハ多少白色部アリ且ツ其長サハ外側ニ至ルニ隨ヒ漸ク短シ

此鳥ハ多數ノから類ト同ジク夏季山地ニ於テ蕃殖シ秋季群ヲ爲シテ平原ニ下リ涉冬ス、時ニ四十雀若クハ鶉戴ノ群ニ混ジテ之ヲ見ルコトアリ、朝鮮ニハ此種アリト雖モ我ガ北海道ニハ未ダ産スルヲ聞カズ但シ該道ニハ別種ナル鳥柄長アリテ之ヲ代表ス

(十六) 鳥柄長

しまゑなが

*Acredula caudata* (L.)

Continental Long-tailed Tit.

(第四版、十七圖、全形二分一)

鳥柄長 ハ形狀羽色共ニ前出通常柄長ニ同ジ、唯ダ其通常柄長ト異ナルハ全頭純白ニシテ黒色部ヲ雜ヘザルニアルノミ  
此鳥ハ四時北海道ニ在リテ其中稀レニ冬季中津輕海峽ヲ横過シテ内地東北部ニ彷徨スルモノ之レアリ、但シ我ガ北海道ニ限リ産スルニ非ズシテ廣ク西比利亞及ビ歐洲ニモ亦産ス

(十七) 鷓鴣

みそさゞい、又さゞい、さゞい、さゞい、みそぬすみ、みそくゝり、  
みそつく、みそつどり

*Troglodytes fumigatus* T.

Japanese Wren.



(第四版、十八圖、全形ノ二分一)

鷓鴣 ハ極メテ小形ノ鳥ナリ、羽色華美ナラザルモ舉動輕快ニシテ鳴聲甚ダ愛スベシ、全身焦茶色ニシテ腰、翼、尾及腹ノ各羽ニハ細少ノ黒キ横條(所謂鷹文)アリ、尾羽ハ短ク生活ノ片ハ其末端ヲ少シク上方ニ向ハシム、千鳥ニ産スル鷓鴣ハ其嘴内地産ノモノニ比シ少シク長大ナルヲ常トス

此種モ四時本邦ニ在リ、多クハ山地ニ於テ蕃殖シ冬間平原ニ出ヅ、其巢ハ囊狀ニシテ一端ニ小口ヲ開キ苔蘚、羽毛等ヲ以テ巧ミニ作り樹木ノ空洞、家屋ノ空隙等ノ中ニ在リ、餌食ハ總テ他ノから類ト一般ニ蜘蛛及ビ其他小蟲ニアリ、亞細亞大陸及ビ歐洲ニ見ル所ノ鷓鴣ハ本邦産ト種ヲ異ニセリ

(十八) 菊戴

きくいたゞ

*Regulus cristatus orientalis*, Seeb.

Eastern Goldcrest.

(第五版十九圖(雄)二十圖(雌)全形二分ノ一)

菊戴 ハみそさゞいヨリ尙小ニシテ名ノ如ク頂上ニ橙黄色ノ毛冠アルヲ以テ他ノ鳥類ト容易ニ區別スルヲ得ルナリ背部ハ一體ニ橄欖綠色ニシテ胴及上尾筒ニ黄色ヲ帶ブ雨覆并

第二風切羽ハ茶褐色ニシテ尖端ニ白斑アリ其外瓣ハ黄綠色ニ縁トラレ基部ハ白ク中央部ハ黒色ニ其他ノ部分ハ茶褐色ナリ故ニ翅ノ尖端ハ白ク中央ニ大ナル黒斑アリテ前部ハ大雨覆ノ白キ尖端ニ因テ縁トラル尾ハ茶色ニシテ外瓣ハ黄綠色ニ縁トラル、ナリ腹部ハ灰白色ニシテ多少黄綠色ヲ帶ブ雄ニ在リテハ頂上ノ橙黄色鮮明ニテ雌ニ於テハ單ニ黄色ヲ呈シ橙黄色ヲ欠ク此橙黄色ノ兩側ニ尙黒色ノ條斑アリ脚及爪ハ淡褐色ヲ呈ス全長約二寸七八分翅ノ長さ約一寸八分トス此種ハ冬春ノ候多ク群ヲナシ松林ニ來リ昆蟲ノ小卵、蠅、蛹等ノ松梢ニ在ルモノ若クハ小蟲ノ嫩葉萌芽等ニ居ルモノヲ嗜食スルヲ以テ山林ニハ頗ル有益ノモノナリ高山ノ喬木ニ營巢シ産卵スト云フ

(附)

爰ニ現行法ノ保護ニ漏レタルから類諸種ニ就キ其性状羽色等ヲ略記センニ

○山雀 (*Parus varius* T. & S.) ハ性伶俐ニシテ人ニ馴レ易キヲ以テ普通ノ籠鳥トス、額ヨリ頬ニ亘リテ淡茶色、後頸ニモ同色部アリ、其他頭上及ビ咽喉ハ黒色ニ肩ハ栗茶色、自餘ノ上面部ハ灰青色ナリ、胸腹ノ側部ハ栗茶色ナルモ中央部ハ淡色ナリ

○をうすとん雀 (*Parus owstoni* J.) ハ伊豆七島ニ産スル山雀ナリ、其前記ノ山雀ト異ナルハ額、頬、後頸及ビ全胸腹トモニ皆栗茶色ニシテ淡茶色ノ部ナキニアリ、其他ハ大略通常ノ山雀ニ等シ、籠鳥家ノ所謂相山雀ナルモノ或ハ是レナラン乎

○木走 (*Certhia familiaris*) ハ四十雀ヨリモ稍、小ナル鳥ニシテ嘴細ク少シク彎曲シ尾ノ末端ハ



二尖頭ニ分レリ上面一體ニ焦茶色ニシテ白點ヲ雜ヘ下面ハ全ク白色ニシテ絹ノ光澤アリ  
以上三種ハ皆餌食ノ點ニ於テモ又棲息地ノ點ニ於テモから類ニ通有ノ習性ヲ有シ有効無  
害ノ鳥ナルカ故ニ人々宜シク其濫殺ヲ慎ムベキナリ

○雪加

雪加ハ又雪下トモ云フ只一種ニシテ次ノ蟲喰類ト同一部類ニ屬スルモノナレモ狩獵法施行  
規則第二十七條中列記ノ順序ニ從ヒ此所ニ記述ス

(十九) 雪加

せつか

*Cisticola cisticola bruniceps* (T. & S.)

Fan-tailed Warbler.

(第五版、二十一圖[羽夏]二十二圖[羽冬]全形ノ二分)

雪加 ハ背部淺黄色ニシテ各羽ノ中央黑色ナルタメ條斑ヲ呈ス胸部ハ一體ニ錆色ナリ翼  
羽ノ羽軸部黑色ニシテ邊縁ニ錆色ヲ帶ブ上尾筒ハ褐色ニシテ黒ノ條斑アリ尾羽ハ其中央ニ  
アルモノ褐色ニシテ最モ長ク其左右ノモノ漸次短ク之ヲ滿張スルキハ恰モ羽扇ノ如シ且各  
羽ノ周邊ニ淺黄色ヲ帶ビ其尖端ハ白クシテ黑色ノ橫斑鮮明ナリ冬季ハ頭部ニ背部ノ如キ條  
斑アレモ夏季ハ之ヲ見ス白頬白眉ニシテ眼ノ周圍ハ淺黄ナリ喉下ハ稍白ク頸部ハ錆色ナリ  
胸部ノ兩側ニ濃褐色ノ條斑アリ嘴ノ内面ハ黒ク脚趾ハ肉色ヲ帶ブ翼長約一寸六七分尾ノ長  
サ約八九分アリ



本邦西南部ニハ常ニ棲息シ北海道ニ居ラサル如シ初夏ノ候山野ノ雜草中若クハ水邊ノ葎ヲ編ミテ營巢シ巢中ニ敷クニ草ノ花穂ヲ用ユト云フ

○蟲喰類

狩獵法施行規則第二十七條ニ謂フ所ノ蟲喰トハ仙台蟲喰センタイコウジ小蟲喰コウジ目細メコシノ總稱ナリ其形狀色澤等多少驚ニ似タル小禽ニシテ細長ノ小嘴ヲ有シ初列風切羽ノ第一ハ第二ノ長ニ達セス此類ニ屬スルモノハ皆昆蟲ノ幼蟲卵等ヲ啄食スルヲ以テ農事林業上頗ル有益ナルモノナリ三種ノ索引表ヲ左ニ掲ク

- 一、 翼長約二寸……………ろニ移レ
- 二、 翼長約二寸三分……………ハニ移レ
- 三、 翼長約二寸四五分……………ハニ移レ
- 一、 頂上ニ灰白色ノ條斑アリ……………○仙台蟲喰(二十二號)
- 二、 腹部白色ニシテ胸及腋部灰白ナリ……………○小蟲喰(二十號)
- 三、 腹部黃綠色ニシテ胸及腋部灰色ナリ……………○目細(二十一號)

(二十) 小蟲喰

こむしくひ

*Phylloscopus borealis*, Blas.

Arctic Willow Warbler.

(第五版、二十四圖、全形ノ二分一)

小蟲喰 ハ背部全體橄欖色ニシテ胸ニ少シク黃色ヲ帶ブ灰白色ノ眉ハ明瞭ニシテ眼后

ニ及ベリ耳部及眼后ノ橄欖色ハ濃厚ナリ雨覆モ亦橄欖色ニシテ各羽ノ先端ニ灰白色ノ斑點アリ大雨覆ノモノハ太ク中雨覆ノモノ細ク恰モ兩翼ニ二條ノ斑紋アル如キ觀ヲ呈ス(夏期ニハ此條斑不明瞭トナル)翼ハ褐色ニシテ尖端ニ灰白色ヲ帶ビ初列風切羽ノ外瓣ハ黃綠色ヲ呈スレモ次列風切羽ニハ全ク此彩色ヲ缺ケリ尾羽ハ褐色ニシテ外瓣ハ黃綠色ニ内瓣ハ中央ノ二羽ヲ除キ灰白色ヲ呈ス腹部ハ色體殆ンド白色ニシテ胸及脇部ニ灰色ヲ帶ブ翼長約二寸二分尾ノ長サ約一寸五六分ナリ

本種ハ南東西比利亞及蒙古地方ニ棲息シ春秋ノ候ニ際シ大群ヲナシテ北地ヨリ支那日本台灣等ニ往來シ冬季ハ馬來群島ニ栖ムモノアリト云フ本邦ニ於テハ初夏ノ候山地ノ斷崖ニ横穴ヲ穿チ營巢シテ産卵スト云フ



(二十一) 目細

めほそ

*Phylloscopus xanthodryas* Sw.

Swinhoe's Willow Warbler.

(第五版、二十三圖、全形ノ二分一)

目細 ハ橄欖色ニシテ胸ニ少シク黄色ヲ帯ビ眉ハ黄白色ニテ後頭部ニ達ス耳部眼後并雨覆等ノ羽色ハ小蟲喰ニ全ジク大中雨覆ノ先端ニ在ル斑點ハ黄白色ニシテ前種ノ如ク二個ノ條斑ヲ呈ス上斑ハ不明瞭ニテ下斑ハ鮮明ナリ翼尾ノ羽色前種ニ異ナラス腹部ハ一體ニ黄綠色ニシテ胸及脇部ハ灰色ナリ翼長約二寸四五分尾ノ長サ約一寸六七分ナリ  
本種ハ支那ノ東南部及日本ニ棲息シ冬季ハぼるねをニ至ル初夏千島北海道及本道ノ山地ニ於テ前種ノ如ク營巢シテ産卵蕃殖スト云フ

(二十二) 仙台蟲喰

せんだいむしくひ

*Phylloscopus coronatus* T. & S.

Temminck's Crowned Willow-Warbler.

(第五版、二十五圖、全形ノ二分一)

仙台蟲喰 ハ背部一體ニ橄欖綠色ニシテ灰白色ノ細眉ハ嘴ノ基部ヨリ后頭ニ到リ頂上ニ灰白色ノ條斑アリ此條斑ト白眉トノ間ハ濃橄欖綠色ニシテ雨覆モ亦橄欖綠色ヲ呈ス大中雨覆ニ在ル灰白色ノ二條ノ斑紋ハ前種ノ如ク夏季ニ於テハ上斑殆ント消失シテ下斑亦不明瞭トナル翼ハ褐色ニシテ尖端灰白色ヲ帯ビ其外瓣ハ黄綠色ニ縁トラル尾羽ノ彩色前種ニ全ク腹部ハ白色ニシテ黄色ヲ帯ビ胸及脇部ハ灰色ニシテ肩下雨覆等ハ淡黄色ヲ呈ス翼長約二寸尾ノ長サ約一寸六分アリ  
此種ハ南東西比利亞地方ヨリ日本支那臺灣等ニ來往スル種ニシテ冬季ニハ馬來諸島ニ到ル本邦ニ於テハ夏季最モ普通ニシテ到ル所ニ見ル種ナリ初夏ノ候前種ノ如ク山地ニ於テ産卵蕃殖スト云フ



○瑠璃

此類ニおほるり、こるりノ邦名アルヲ以テ狩獵法施行規則列記ノ順序ニ從ヒ此所ニ記述スト  
雖モ此等ハ動物學上全類異屬ニシテ前種ハ鶺鴒屬ニ近ク後種ハ駒鳥屬ナリトス左ニ識別表ヲ  
掲ク

- 一、翼長約三寸内外……………ろニ移レ
- 二、翼長約二寸四五分……………ろニ移レ
- 三、背部瑠璃色ニシテ胸部黒色ナリ……………○大瑠璃(二十三號)
- 四、背部藍色ニシテ胸腹部純白ナリ……………○小瑠璃(二十四號)

(二十三) 大瑠璃

おほるり

*Nilkava cyanomelaena* (L.)

Japanese Blue-Flycatcher.

(第六版、二十八圖、雌全、二十九圖、雄全形ノ二分一)

大瑠璃ハ竹林鳥トモ云フ他ノ鶺鴒類ニ比シテ稍大形ナリ翼長三寸内外雄ハ上面一体ニ瑠璃色  
ヲ呈シ甚タ美麗ナリ喉胸部ハ黒ク腹ハ白シ雌ハ羽色黃鶺鴒若クハ瑠璃鶺鴒ノ雌ニ彷彿タルモ大

形ニシテ腰部ハ綠色ニモ非ズ青色ニモ非スシテ一種ノ黒茶色ナリ

此種ハ夏季本邦ノ山地ニ多ク見ル支那ニモ産シ冬季ハぼるねを等ニ至ルト云フ

(二十四) 小瑠璃

こるり

*Erythacus cyanus* (Pall.)

Siberian Blue Robin.

(第六版、二十六圖、雌全、二十七圖、雄全形ノ二分一)

本種ハ駒鳥屬ニシテ其大サ瑠璃鶺鴒ニ近ク嘴較強大ナリ雄ハ背部藍色ナレバ大瑠璃ノ如キ碧  
色并光澤ヲ欠キ頂部ハ稍鮮カナリ嘴ノ基部、眼前、頬及耳部等ハ黒色ニシテ雨覆翼及尾ハ褐色  
ヲ呈シ各羽ノ外瓣ニ少シク藍色ヲ帯ビ咽喉ヨリ胸腹部一體ハ純白ナリ翼長約二寸五分雌ハ  
其羽色大瑠璃ノ雌ニ彷彿シ背部ハ一體ニ暗褐色ニ橄欖色ヲ帯ビ上尾筒ハ藍色ニシテ下尾筒  
ハ殆ンド白色ナリ

此種ハ貝加爾湖ヨリ黒龍河口邊ノ東部西比利亞地方ニ於テ蕃殖シ冬季ハ印度支那馬來等ニ  
移動シ本邦富士山等ニ於テモ稀レニ蕃殖スト云フ



○鵒

爰ニ鵒類ト稱スルハ邦名ニヒタキノ稱ヲ附スル諸種ヲ一括シタルモノニテ其相互ノ類縁甚ダ近ク保護規則ニ謂フ所ノ「鵒」トハ此等諸種ヲ指シタルナリ、皆小禽ニシテ翼ノ外側即チ第一ノ風切羽ハ第二ノモノニ比シ甚ダ小形ニ脚ノ脛部ハ前後兩面共ニ鱗狀ヲ呈セズシテ平骨ナリ、嘴ハ或ハ細クシテ直或ハ根部幅廣ク末端彎曲セリ、口角邊ニ僅少ノ髭狀毛ヲ列生スルヲ常トス、雌雄概ネ羽色ヲ異ニシ雄ハ能ク鳴嚙シ甚ダ愛スベシ、皆有害ノ小蟲ヲ以テ餌食トスルガ故ニ充分之ヲ保護セサル可カラス、今左ニハ此類トシテ六種ヲ掲グト雖モ後ニ掲出スル三光鳥丹一號並ニ小燕ノ二種モ亦此類ナリトス、但シ此最後ノ一種ハ保護鳥ニハ屬セズ

- い 一、尾ハ主トシテ黑色乃至黒褐色ニシテ他色ヲ帶ビズ……………ろニ移レ
- 二、尾ハ主トシテ焦茶或ハ暗色ニシテ青又ハ茶色ヲ帶ブ……………ヘニ移レ
- ろ 一、翼ニ大形ノ純白色部アリ……………ハニ移レ
- 二、翼ニ大形ノ純白色部ナシ……………ニニ移レ
- ば 一、喉胸共ニ濃黄色ナリ……………○黄鵒雄 (二十七號)
- 二、喉ハ黑色或ハ擬白色ニシテ胸ハ茶色ナリ……………○野鵒夏羽(二十八號)
- に 一、腰ハ茶色上面一体ニ茶色ニ富ム……………○野鵒冬羽(二十八號)
- 二、上面一体ニ黒褐色茶色ナシ……………ハニ移レ

- ほ 一、翼長二寸七分以上……………○鮫鵒 (二十九號)
- 二、翼長二寸四分以下……………○小鮫鵒 (三十號)
- へ 一、腰尾根ハ青色尾モ青色ヲ帶ブ……………トニ移レ
- 二、腰部ハ焦茶或ハ綠色ナリ……………ちニ移レ
- と 一、頭ヨリ背ニ亘リ青色ヲ帶ブ……………○瑠璃鵒 (二十六號)
- 二、頭ヨリ背ニ亘リ黄綠色ヲ帶ブ……………○瑠璃鵒雌 (二十六號)
- ち 一、腰部綠色脊モ同色ヲ帶ブ……………○黄鵒 (二十七號)
- 二、上面ニ綠色アリ腰部ハ焦茶色ナリ……………リニ移レ
- り 一、咽喉黑色ナリ……………○上鵒雄 (二十五號)
- 二、咽喉黑色ニ非ズ……………○上鵒雌 (二十五號)

(二十五) 上鵒

じやうびたき又てりびたき、ちやびたき、ばかびたき

*Buteo aurora* (Gm.)

Daurian Redstart.

(第七版、三十圖、前ナルハ雄、全形ノ二分一)

此鳥ハ形狀駒鳥ニ似タリ、雄ハ頭上灰蒼色咽喉黒ク脊及ビ翼ハ主トシテ黑色ヲ呈シ、翼ニ純白ノ大形紋アリ、腰部及尾羽ノ多數ハ胸腹部ト共ニ焦茶色ナリ、上鵒及ビ照鵒ノ稱ハ元ト此雄ニ



當テタル名ナリ

雌ハ俗ニ茶鷓或ハ馬鹿鷓ト稱ス、總身茶褐色ニシテ下面ハ淡ク、腰以下尾根ハ焦茶色ニ、尾ハ雄ト同シ、但シ兩翼ニ呈セル白紋ハ雄ヨリモ小ナリ

此種ハ四時我邦ニ在リテ夏季ハ山地ニ於テ營巢蕃殖シ秋季ヨリ低地ニ下リテ涉冬シ、山中ナラザルモ普通ニ見ル所ナリ、其性樹枝ニ止マリテ尾ヲ上下シ且ツ「カチカチ」ト聞ユル音ヲ發シ恰モ燧石ヲ打ツニ似タリ、びたきノ名此レヨリ出ヅト云フ、東西比利亞、滿洲及ビ北支那ニモ亦此種アリ

(二十六) 瑠璃鷓

るりびたき

*Tarsiger cyaneus* (Pall.)

*Siberian Blue-tail.*

(第七版三十一圖上ナルハ雌全形ノ二分一)

形狀ハ前種ニ似タリ、雄ハ頭ヨリ上面一體ニ灰青色尾根ニ至リテ鮮明ナル青色トナル、尾ハ黑色ニシテ多少青色ヲ帶ベリ、眼上ニ白色ノ短キ眉アリ、頤及ビ咽喉ノ正中ハ擬白色、胸ハ淡ク茶褐色ヲ帶ビ腹ハ白色ナリ而シテ胸腹ノ兩側部ハ赤茶色ヲ呈ス

雌ハ上面一體ニ橄欖綠色ヲ帶ビタル茶褐色ナルガ尾根ニ至リ灰青色トナル、其他尾及ビ下面ハ略ボ雄ト同シ但シ眼上ニ白色ノ眉ヲ缺ク、雌ノ羽色ハ黄色若クハ大瑠璃ノ雌ニ彷彿タルモ

上面尾根ノ青色ナルト腹側ノ茶色ナルハ本種ニ限ルヲ以テ直ニ區別スルヲ得ベシ  
此種ハ前種ト同シク四時本邦ニ在リ夏ハ山地ニテ蕃殖シ冬季平原ニ出ヅ、尙ホ此種ハ西比利亞ニモ産シ秋季南方ニ渡リ支那、臺灣等ニ於テ涉冬スルナルベシ

(二十七) 黃鷓

きびたき雌ヲめだいびたきト云フ

*Xanthopygia narvissina* (T.)

*Narcissus Flycatcher.*

(第七版三十二圖上ナルハ雌全形ノ二分一)

黃鷓 トハ元ト此種ノ雄鳥ノ名稱ナリ、其羽色ハ下面頤ヨリ胸及ビ腹側ニ亘リ美麗ナル黄色ニシテ腹ノ正中部ハ白色ナリ、黄色ノ眉ヲ有シ腰部モ黄色ナリ、其他ハ翼ニ大ナル純白紋アルノ外黑色ナリ

雌ハ眼大鷓ト稱ス蓋シ眼ノ大キク見ユルガ故ナリ又往々上鷓ノ雌(茶鷓或ハ馬鹿鷓ト同稱スル)アリ、色ハ上面頭上ヨリ脊ニ至リ一體ニ橄欖色ニシテ腰ニ至リ黄緑ヲ帶ビ尾羽ハ茶色ヲ帶ヒタル黒褐色ナリ、翼ニ白紋ナク諸羽黒褐色ニシテ縁邊茶色ナリ、下面ハ一體ニ多少灰茶ヲ帶ビ腹及ビ下尾筒ノ方ニ白色トナル、羽色大體ニ於テ上鷓若クハ大瑠璃ノ雌ニ酷肖タルモ腰部ノ綠色ヲ帶ビタルニ依リ一目シテ區別スルヲ得ルナリ

本種ハ夏季本邦山地ノ森林ニ多ク該地ニ在テ蕃殖シ秋季ヨリ平原ニ下リテ涉冬ス、支那ニモ



此種アリ、該邦ニハ又別ニ一種アリテ其雄ハ唯眉ノ白色ナル點ニ於テ通常黃鶉ト異ナレリ、此種本邦ニモアルベケレドモ未ダ審ナラズ

### (二十八) 野鶉

のびたき又こあがり

*Pratincola mauro* (Pall.)

Siberian Stonechat.

(第七版三十三圖、前ナルハ夏羽全形ノ二分一、後ナルハ冬羽全形ノ二分一)

野鶉　ハ雌雄共ニ略ボ同色ナルガ如シト雖モ冬季ト夏季ニヨリ著シク羽色ヲ異ニス、是レ冬季ニ在テハ諸羽ノ末端部完備スルモ夏月ニ至レバ摩耗シ去リテ根部ヲ露出スルニ由ル、先ヅ冬羽ヨリシテ記サンニ頭上ヨリ脊ニ至ル部ノ各羽ハ末端部赤ニ根部黒色ナリ、腰ニ在テハ每羽末端部赤ナルモ根部ハ白色ナリ、故ニ上面ハ一體ニ赤ニ富メリ、下面上喉ハ淡茶色ナルガ每羽ノ根部ハ黒色ナリ、下喉ヨリ胸腹ニ互リ赤色ニシテ尾下ニ至リテ淡シ、翼ニ中大ノ白紋アリ其他翼羽及ビ尾ハ黒色ナルモ多少茶色ヲ以テ綠取ルアリ  
夏季ハ上面ニ於ケル鋪赤部ハ摩耗シテ腰ハ白色ニ其他ハ一體ニ黒色ニ變ズ、又下面ニ在テハ頤及ビ上喉ハ多少黒色ヲ露出シ、下喉ハ茶色ヲ存スルモ腹ノ方ニ至テ漸々淡茶色トナル、以上夏羽ハ晩夏ノ候ニ至リ毳ヲ經ルトキハ又冬羽ニ變スルモノナリ  
此種亦他ノ鶉類ト同シク夏月山地ニ於テ蕃殖シ秋ヨリ平原ニ下リテ棲息ス、歐洲東部及ビ西

比利亞ニモ之ヲ産シ冬間南方ニ移ル

### (二十九) 鮫鶉

さめびたき

*Muscicapa sibirica* Gm.

Siberian Flycatcher.

(第七版三十四圖、全形ノ二分一)

此鳥ハ上面總ベテ黒褐色、唯翼羽ノ數羽ハ擬白色ニテ綠取リアルノミ、下面ハ一體ニ擬白色ニシテ黒褐色ノ斑點アリ但シ尾下ニハ之ヲ欠ク、翼長ハ二寸七分乃至八分、雌雄同色ナリ  
四時本邦ニ留リ夏季ハ山地ニ冬季平原ニ在リ、秋他ノ鶉類ト共ニ村里ノ人家近クニ來ル、亞細亞大陸ニモ此種ヲ産シ印度、ビルマ、馬來半島等ニ於テ涉冬ス

### (三十) 小鮫鶉

こさめびたき

*Muscicapa latirostris* Rafles.

Brown Flycatcher.

(第七版三十五圖、全形ノ二分一)

前種ニ酷肖タルモ稍々小形ニシテ翼長ハ二寸三分内外ニ過ギズ上面ハ總ベテ灰色ヲ帶ベル



黒褐色、下面ハ總ベテ擬白色ナルモ胸邊ニ於テ灰色ヲ帶ビ斑點ナシ、雌雄色ヲ異ニセズ  
習性他ノ鶇類ト同シ其亞細亞大陸ニ於ケル分布ハ略ボ前種ト同一ナリ

(附)

左ノ一種ハ動物學上ヨリ言ヘバ鶇類中ニ編入スベキモノナルガ鶇ノ稱ナキヲ以テ附記ス  
○小燕 (Siphia Intecola (Pall.)) 凡ソ小鮫鶇ノ大サニシテ雄ハ上面一體ニ灰黒、雌ハ橄欖色ナリ  
雄ニハ白色眉アルモ雌ニハ少ナシ兩性共ニ尾羽ハ黒褐色ニシテ根部白ク翼モ同色ナルガ其  
前部ニ多少判然タル白斑點アリ又其數羽ハ擬白色ヲ以テ縁取レリ下面ハ願ヨリ以下光澤ア  
ル茶色ニシテ腹ニ至リ淡ク尾下ニ及ビテ白色トナル、此鳥ハ大陸ヨリシテ夏季稀ニ本邦ニ渡  
リ來ルモノナリ、

○三光鳥

三光鳥ハ只一種アルノミ前出ノ鶇類ニ屬スルモノナルガ狩獵法施行規則第二十七條中列記  
ノ順序ヲ逐フテ此所ニ記述ス

(三十一) 三光鳥

さんくわうてう又さんじやく

*Terpsiphone princeps* Tr.

Japanese Paradise Flycatcher.

(第十版、四十三圖、甲ハ雌全形ノ二分一)

三光鳥 ハ其體軀鶇類ヨリモ稍大ニシテ其雄雌ハ羽色ト尾羽ノ長短ヲ異ニス、先ツ其兩性  
ニ通有ナル點ヨリ記センニ嘴ハ中大ニシテ其根元ニ於テ橫幅廣ク尖端ハ鈎曲セリ、嘴根ニハ  
僅數ノ毛ヲ列生シ其狀髭ニ似タリ、頭上ノ羽ハ長クシテ多少著明ナル羽冠ヲ形成ス、尾羽ハ中  
央ノ二枚最モ長ク兩側ノ方ニ至ルニ隨ヒ漸々短少トナル腹ハ雌雄共ニ純白ニシテ嘴脚及ビ  
眼ノ周圍ナル裸出部ハ青色ナリ、其他雄ニ在テハ全頭及ビ咽喉ハ眞黒ニシテ少シク紺青色ノ  
光澤ヲ帶ビ背部ハ一體ニ光澤アル紫黑色ヲ呈ス、翼羽ハ尾羽ト共ニ黒色ナリ而シテ尾羽中々  
央ノ二枚ハ甚ダ長クシテ尺許ニ達ス、其羽色ノ鮮麗ナルト共ニ鳥體モ亦甚ダ優雅ナリ



之ニ比シ雌ハ華美ナラズ其頭上及ビ後頸ハ纒ニ光澤アル黒色ニシテ頤及ビ咽喉ハ灰黒色ナリ背ハ全部赫色ヲ呈シ翼羽及ビ尾羽ハ主トシテ暗茶色ナリ而シテ尾羽ハ雄ニ於ケルガ如ク著シク長カラズ

三光鳥ハ食蟲性ニシテ樹木ノ害蟲ヲ除クノ効アリ春季本邦ニ渡來シ地方ニヨリ多ク之ヲ見ル殊ニ山林ニ多ク夏月中樹梢ニ樹皮枯草蘚苔蛛絲等ヲ以テ巢ヲ營ミ産卵ス俗説ニ此鳥ノ鳴聲月星日ト聞ユルガ故ニ三光ノ名アリト云フ秋季ニ至リ本邦ヲ去リ支那ノ沿岸ヲ通過シ馬來半島ニ達シテ涉冬ス

○ 鶺鴒

鶺鴒 ハにはたゝき、いしたゝき、かわらすめ、はますめ、いもせどり等ノ別名アリ雀ヨリモ瘦形ノ小鳥ニシテ普通ニ見ル所ナリ其嘴細ク尾ハ比較的ニ長ク之ヲ動搖スルノ性アリ此類ノ一部分ハ本邦内地ニ於テ營巢シ他ノ一部分ハ北海道以北ノ地ニ在テ蕃殖シ秋季其以南ノ地ニ群ヲ爲シテ渡リ涉冬ノ後再ビ北ニ走ル食餌ハ蟲類ヲ以テ主トナスモ亦小魚ヲ食スルヲモアリ本邦ニ見ル鶺鴒類ニ六種アリ左ニ其索引ヲ出ダス

- い、 腹部純白ニシテ黄色ヲ帯ビズ……………ろニ移レ
- 二、 腹部或ハ腹側ハ多少黄色ヲ帯ブ……………にニ移レ
- ろ、 頬眼ノ下黒色ナリ、眼ノ前後モ同シ……………○脊黒鶺鴒(卅三號)
- 二、 頬部白色ナリ……………はニ移レ
- は、 眼ノ前後ニ黒條アリ……………○白 鶺鴒(卅二號)
- 二、 眼ノ前後、頬ト共ニ白シ……………○頬白鶺鴒(卅五號)
- に、 後趾ノ爪ハ尋常ノ長サナリ……………はニ移レ
- 二、 後趾ノ爪長キヲ雲雀ノ如シ……………○爪長鶺鴒(卅六號)
- ほ、 頤及ビ喉ハ黒シ或ハ此邊ニ黒色部全クナシ……………○黄 鶺鴒(卅四號)
- 二、 喉ニ黒色ノ横條アリ而シテ其前後ハ白シ……………○岩見鶺鴒(卅七號)



(三十二) 白鵪鶉

はくせきさい又うすいみせきさい

*Motacilla lugens* Kiffi.

Kamtschakan Wagtail.

(第八版、三十六圖、全形ノ二分一)

白鵪鶉

ハ額、眉、頬、頤、上喉及び胸腹共皆白色ナリ、近似ノ種類ナル脊黒鵪鶉ニ在テハ頬部必ズ黒色ナルヲ以テ容易ニ識別スルヲ得、尙ホ本種ハ兩翼ニ年齢ニ依リ多少ノ白色部アリ而シテ尾羽ノ兩外側ナル二枚モ亦純白ニシテ自餘ノ尾羽ハ黒色ナリ、眼部ヲ通ジテ黒條ヲ呈シ下喉ニ黒色部アルヲ常トス、頭上ヨリ尾根ニ至ル諸部ハ或ハ全ク灰黒或ハ多少ノ純黒ヲ混ス、是レ季節、年齢、雌雄等ニヨリ異ナルナリ

此種ハ北海道、千島、東塞加等ニ於テ蕃殖シ、秋季群ヲ爲シテ南方ニ渡リ冬間ハ本邦ニ留マレリ

(三十三) 脊黒鵪鶉

せぐろせきさい

*Motacilla japonica* Swinh.

Japanese Wagtail.

(第八版、三十七圖、全形ノ二分一)

脊黒鵪鶉

ハ前種ニ酷肖タリト雖モ純白ナル額、眉及び頤ヲ除ク外ハ全頭黒色ナリ、咽喉ハ胸ニ至ルマデ黒ク頭上ヨリ尾根ニ至ルマデ亦同シ但シ幼鳥ニ在テハ此等諸部ハ寧ロ灰黒色ト云フベシ然レドモ頬部ノ白色ナルコト決シテ之レ無シ、胸腹純白ニ尾羽ハ白鵪鶉ニ同シ兩翼ノ白色部モ亦彼種ト一般ニ老鳥トナルニ隨ヒ益々大ナリ

此種ハ四時本邦ニ在リ、河邊ノ石垣等ノ間隙ニ巢ヲ營ミテ蕃殖ス朝鮮、滿洲及ビ支那ニモ亦産スト云フ

(三十四) 黃鵪鶉

きせきさい

*Motacilla boarula melanope* (Pall.)

Eastern Grey Wagtail.

(第八版、三十八圖(冬羽)及ビ三十九圖(夏羽)全形ノ二分一)

黃鵪鶉

ハ頭上ヨリ背部一體ニ灰黒色ニシテ尾根ニ至リ少シク綠色ヲ帶ブ、眼上ニ擬白色ノ眉アリ、咽喉ハ冬間ハ擬白色(三十八圖)ナルモ夏季ハ黒色(三十九圖)ナリ、下面胸部ヨリ尾根ニ至ルマデハ鮮明ナル黄色ナリ、翼ハ黒色ナレトモ中翼羽ノミ纔ニ白色線ヲ有ス、尾羽ハ中央ノ四



枚黒ク兩外側ニ於ケル三枚ニハ白色多シ  
此種ハ本邦至ル所ニ在リテ稍普通ニ屬ス、夏季中ハ山地ニ在リテ蕃殖シ、秋季平原ニ下リテ涉  
冬ス、歐洲及ビ西比利亞ニモ黃鶺鴒アリ、之ヲ本邦産ニ比スレバ尾少シク長シト雖モ別種ト爲  
スニ足ラズ

(三十五) 頬白鶺鴒

ほゝじろせきれい

*Motacilla leucopsis* Gld.

White-cheeked Wagtail.

(第九版、四十圖、全形ノ二分ノ一)

羽色ハ脊黒鶺鴒ニ彷彿タレドモ眉以下顔部全ク白ク眼條ナシ、下喉ニ黒色部アリ、其他ハ脊黒  
鶺鴒ト同一ナリ  
此鳥ハ朝鮮及ヒ支那ニ産スルモノニシテ本邦ニテハ只之ヲ對州ニ見タルコアルノミ或ハ他  
州ニモ在ルナランカ、未タ確説ナシ

(三十六) 爪長鶺鴒

つめながせきれい

*Motacilla flava leucostriata* (Hom.)

Blue-headed Wagtail.

(第九版、四十一圖、幼鳥、全形ノ二分ノ一)

本種ハ形狀羽色共ニ黃鶺鴒ニ近似スルモ後趾ノ爪長ク三分餘ニ達スルヲ以テ容易ニ識別ス  
ルコト得ベシ、今第九版四十一圖ニ示シタルハ幼鳥ナリ、其羽色ハ頭上ヨリ尾根ニ及ブマデ黒  
褐色ニシテ脊ニ至リ灰蒼色ヲ帯ビ上尾筒ハ黒色ナリ、眼上ニ白色ノ眉アリ、下面ハ頤ヨリ尾根  
マデ白色乃至擬白色ニシテ胸部ニ於テ少シク灰黒ヲ雜ヘ腹部ニ於テハ微ニ淡黄ヲ帯ブ翼ノ  
諸羽ハ黒色ニ近ク多クハ擬白色ヲ以テ縁取ラレタリ、尾羽ハ最外側ノモノニ枚ハ白色ニ富ム  
モ其他ハ全ク黒色ナリ  
親鳥ハ頭上橄欖色ヲ呈シ胸腹部ハ一様ニ黄色ナリト云フ  
此種ハ東塞加地方ニ産ス而シテ本邦ニハ稀ニ渡リ來ルモノナルガ如シ

(三十七) 岩見鶺鴒

いわみせきれい 又よこふりせきれい、みやませきれい、しませきれい

*Ammodramus indicus* Gm.

Indian Wagtail.

第九版、四十二圖、全形ノ二分ノ一



頭上以下尾ニ至ルマデ一体ニ綠色ヲ帶ビタル茶褐色ニシテ尾根ニ少シク黒ヲ雜ユ、下面ハ一体ニ白色ニシテ腹ハ少シク黄ヲ帶ブ而シテ咽喉ニ黑色ノ橫帶アリ之ニ次テ尙ホ一帯アレド是ハ正中ニテ中絶セリ、翼ノ各羽ハ黑色多ク擬白乃至淡黄ノ縁ヲ有ス、尾羽ハ中央ノ二枚ハ背ト同色ナレドモ之ニ次クモノ黒ク最外ノ二枚ハ白色ニ富メリ

此種ハ元來印度地方ニ多ク棲息スルモノナルカ稀ニ我邦ニ渡來スルハ古來籠鳥家ノ知ル所ナリシガ如シ、他ノ鶺鴒類ハ皆尾ヲ上下ニ動搖スルモノナルガ此種ハ左右ニ動搖スルノ性アリ故ニよこふりせきれいノ名アリ、岩見鶺鴒ノ名アルハ多ク石見國ヨリ出ヅルガ故ナリト云フ果シテ該州ニ多キヤ否信シ難シ

(附)

田鵲及ビびんずい ノ二種共ニ鶺鴒族ニ屬シ習性相似タル鳥類ナリトス

○田鵲 (Anthus japonicus (T. & S.)) はいぬひばり又うしひばりトモ云フ、羽色雲雀ニ酷肖タルモ異ナレリ、上面頭ヨリ尾ニ至ルマデ暗褐色ニシテ少シク茶色ヲ帶ビ不判然タル黒斑點アリ、下面ハ一体ニ淡茶ニシテ胸部ニ黒斑點アリ、後趾ノ爪著シク長シ、雲雀ニ比シテハ小形ナリ、此種ハ千島、東西比利亞等ニ於テ蕃殖シ秋季本邦ニ渡來シ冬間小群ヲ爲シテ、田圃ニ棲息ス

○びんずい (Anthus maculatus Hodgk.) ハ木鶺鴒トモ云フ、形狀羽色共ニ前種ニ彷彿タレトモ上面ハ綠色ヲ帶ヒ腹部ハ純白ナリ而シテ上面及ビ胸部ニ見ル黒斑點ハ田鵲ニ於ケルヨリモ大且ツ判然タリ、此種ハ歐洲ヨリ西比利亞ヲ經テ本邦ニ至ルマテ之レアリ、本邦ニ在リテハ夏季

山地ニ於テ蕃殖シ冬季ハ多ク平原ノ森林ニ棲息ス





○杜鵑類

杜鵑類 ニシテ本邦ニ産スルモノ四種アリ、ほとゝぎす、くわつこう、つゝどり、及じういち、是レナリ、皆鳩ヨリモ稍々小形ノ鳥ニシテ樹木ノ綠葉ヲ食害スル毛蟲類ヲ食餌トナスガ故ニ有益ノ鳥ナリトス、諸種トモニ甚ダ相似タル形状、羽色ニシテ上面ハ灰黒ニ或ハ赤茶色ニシテ黒キ横條ヲ雜ヘ、下面ハ概テ白色、若クハ擬白色ニシテ黒横條鷹文<sup>タカガフ</sup>アリ、其着色上或鷹類ニ似タル所アルモ猛禽ニハ非ズ、嘴ハ中大ニシテ少シク彎曲シ末端尖銳ナリ其根部黄色ニ末端ノ方ニ擬黒色トナル、足ハ全部黄色ニシテ恰モ啄木鳥ニ於ケルガ如ク二趾ハ前方ニ二趾ハ後方ニ向ヘリ尾ハ中大ニシテ形状ハ所謂角尾ナリ、此類ノ諸種ハ自カラ巢ヲ作ルヲナク、<sup>ホ、シロ</sup>黄達雀鶯等ノ如キ他鳥ノ巢中ニ産卵シ其鳥ニ孵育セシムルノ奇性ヲ有ス、目下保護シアルハ杜鵑及ビ郭公ノ二種ノミナルガ他ノ二種モ亦保護スルノ價值アリ、但シ天蠶業ニ取リテハ總テ杜鵑屬ハ有害ナリト云ハザルヲ得ズ、如何トナレバ毛蟲、いもむし等ヲ啄ムト同時ニ天蠶兒<sup>ヤ、ヒ、カ、ヒ、コ</sup>ヲモ食、スルカ故ナリ、斯ル場合ニハ狩獵法中特ニ示定シアル手續ヲ踏ミテ驅除セサルベカラズ、左ニ本邦産杜鵑類ノ索引ヲ掲グ

- 一、胸腹部ハ白色ニ近クシテ黒キ横條數多アリ……………ろニ移レ
- 二、胸腹部ニ黒キ横條ナシ……………ヘニ移レ
- 一、背部ハ灰色ナリ……………ハニ移レ
- 二、背部焦赤茶ニシテ黒條アリ……………ハニ移レ

- 一、翼長五寸六分以下……………○杜鵑<sup>ホトトギス</sup>(卅八號)
- 二、翼長五寸六分以上……………ニニ移レ
- 一、翼長六寸六分以上……………○郭公<sup>ウツドリ</sup>親(卅九號)
- 二、翼長六寸六分以下……………○筒鳥<sup>ウツドリ</sup>親 (附)
- 一、腰部ハ無地ノ焦赤茶ナリ……………○郭公<sup>ウツドリ</sup>幼(卅九號)
- 二、腰部モ背ト同様ニ黒條アリ……………○筒鳥<sup>ウツドリ</sup>幼 (附)
- 一、胸ハ淡赤茶色ヲ帶ブ……………○じういち<sup>ウツドリ</sup>親(附)
- 二、胸白ク擬黒色ノ縦條アリ……………○じういち<sup>ウツドリ</sup>幼(附)

(三十八) 杜鵑

ほとゝぎす又ときはどり、いもせどり

*Cuculus poliocephalus* Lach.

Little Cuckoo.

(第十版、四十六圖、全形ノ凡三分一)

杜鵑 ハ夜陰空中ニ鳴キ渡リ人々能ク其聲ヲ知り殊ニ歌人等之ヲ愛賞スルモ其體容ヲ識ル人甚ダ尠シ、此鳥ハ頭上ヨリ尾根ニ至ルマデ全背部ハ灰黒色ナルガ頤頰及ビ咽喉ノ全部ハ灰



蒼色ナリ、胸及ビ腹ハ白ク數多ノ横行黒條アリ、此黒條ノ幅ハ一分ニ達セズト雖モ半分ヨリハ廣シ(郭公にては其幅凡そ半分ナリ)尾下ノ羽(下尾筒ト曰フ)ハ白色又ハ擬白色ニシテ黒條アリ或ハ之レ無シ、翼羽ハ黒褐色又ハ擬黒色ニシテ風切羽ハ其内側ニ多少ノ白色部ヲ有ス、尾羽ハ黒色ニシテ其中央ナル者ハ正中僅ニ小白點ヲ列シ又其外側ナル者ハ白色部ヲ具有シ鷹ノ羽ノ觀ヲ呈ス、眼瞼及ビ脚ハ黄色ナリ又嘴ハ根部黄色ニ末端ノ方ニ至テ擬黒色トナル、此種ハ杜鵑屬中ノ最小ナルモノニシテ大サハ較々鴨ニ等シク而シテ翼長翼角即チ翼ヲ折リタ、ミタルキ胸側邊ニ於テ前方ニ向ヒタル角ヨリ風切羽ノ末端ニ至ルマデノ長ハ五寸二分乃至五寸五分ノ間ニアリ

羽色上郭公若クハ筒鳥ニ酷肖タルモ鳴聲ハ著シク異ナレリ、地方ニヨリぶっかいかけたか或ハほんぞんかけたか或ハほりんかけたか等ノ俗稱アルハ其鳴聲ニ擬シタルナリ

此鳥ハ晩春ニ本邦諸州ニ渡リ來リ夏月中他鳥ノ巢ニ産卵シ初秋南方ニ向テ去ル、支那、印度等ニモ亦此鳥アリ

(三十九) 郭公

くわくこう 又かぼう、かこく、さんごどり、たねまきどり

*Cuculus canorus* L.

Common Cuckoo.

(第十版、四十四圖甲、凡ソ全形ノ三分ノ一)

羽色完成シタル郭公ハ羽色上ニ於テ前出杜鵑ト區別スルヲ殆ド難シ、唯鳥體ノ彼レニ比シ稍大ニシテ翼角ヨリ翼端ニ至ルマデノ長サ六寸七分乃至七寸六分ナルヲ及ビ胸腹ノ横行黒條ノ甚ダ細クシテ其幅凡ソ半分ナルヲニ於テ差別シ得ルノミ

幼鳥ハ老鳥ト著シク羽色ヲ異ニス、則チ上部ハ頭ヨリ尾ニ至ルマデ一體ニ焦赤茶色ニシテ許多ノ横行黒條アリ但シ腰部ハ此黒條ヲ欠キ無地ノ焦赤茶ナリ而シテ下部ハ願ヨリ尾根ニ至ルマデ淡黄ヲ帯ビタル白色ニシテ老色ニ見ル所ト同ジキ横行黒條アリ、其觀第四十五圖乙ニ示シタル筒鳥ノ幼鳥ト彷彿タリ

郭公ハ本邦ニ在テハ他ノ同類ト共ニ春來リ秋去ル所ノ候鳥タリ、夏月殊ニ山地ニ多ク此鳥ヲ見ル、其鳴聲ハ「カッコウ」ト聞ユ、是レ其名アル所以ナリ、西比利亞ヲ通ジ歐洲ニモ亦此種ヲ産ス

附

○筒鳥 (*Cuculus intermedius*, Vahl) ハ又ぼんくどり、をほむしくひ、たねまきどり等ノ名稱アリ今之ヲ第四五圖甲乙ニ示セリ、親鳥ハ羽色杜鵑若クハ郭公ニ彷彿タルモ胸腹ノ横行黒條ハ最モ幅廣ク充分一分ニ達ス又翼角ヨリ翼端ニ至ル長サハ、杜鵑ト郭公ノ中間ニ在リテ五寸七分乃至六寸五分ナリトス

幼鳥(四五圖乙)ハ郭公ノ幼鳥ニ酷似タルモ腰部ハ背部ト一般ニ黒キ横條ヲ有ス、此鳥又春來リ秋去ルノ候鳥ナリ、鳴聲ボンク、ボンクト聞ユ恰モ竹筒ヲ吹キテ發スル音ノ如シ



○じういち (Heteroceryx hyperythrus, (Ged.) ハ其鳴聲「ジウイチ」ト聞ユルヲ以テ名ツク又ますはかり、じゝんてう等ノ別稱アリ、じゝんてうハ慈悲心鳥ノ轉訛ナルベシ、慈悲心鳥ハ俗ニ日光山ノ特産ナルガ如クニ傳フル所ナルガ日光ニテ慈悲心鳥ナリト云ヘルハ普通ノじういちニ外ナラザリキ、大サ及ビ形狀ハ郭公ニ同ジク上部ハ全ク灰黑色ナリ、頤及ビ頬モ亦同ジ、咽喉、胸及ヒ腹ハ淡赤茶ヲ帯ビ、下尾筒ハ白ク、尾羽ハ灰褐色ニシテ數條ノ黒帶アリ而シテ、末端ハ赤茶色ナリ、此鳥モ亦他ノ同類ト一般ニ夏季産卵ノ爲メ我邦ニ來ル候鳥ナリ

○蚊母鳥

蚊母鳥ハ只一種ナリ、雨燕内裏燕等ト全類異屬ニシテ類中最大ナルモノナリ、嘴平潤、翼長大ナルニ比シ脚ハ甚タ纖弱ナリ、現行法規ニ於テハ特ニ此種ノミヲ保護スト雖モ、全類ニ屬スル諸種ハ皆有益ノモノナレバ、一時ノ私利ニ惑ヒ或ハ快樂ノ爲メニ之ヲ濫殺スルハ、慎ムベキナリ

(四十) 蚊母鳥

よたか又かすひどり

Caprimulgus jotaka (T. & S.)

Japanese Gootsucker.

(第十一版、四十七圖、前ナルハ雌、後ナルハ雄、全形ノ二分一)

蚊母鳥 ハ體形燕ニ似テ雨燕ヨリ大ナリ、上嘴ノ兩縁ニ粗鬚ヲ具ヘ、眼大ナリ、體ノ上部ハ灰白色ニシテ茶褐色ノ細キ波紋アリ、頭及背部ノ羽ニ黒キ縦斑アリ、雨覆ニ褐色ノ圓キ斑點アリ、后頸部ニ在ルモノ條斑ヲナス且頸ノ兩側ニ金色ノ羽アリ、又風切羽ハ濃黒褐色ニシテ第一風切羽ノ内瓣ニ白色ノ圓斑アリ、羽軸ニ達セス而シテ次ノ三枚ニハ羽軸ノ兩瓣ニ白斑アリ、雌ニ於テハ茶色ヲ呈ス、尾羽ノ中央二枚ハ黒褐色ニシテ太キ、灰褐色ノ横斑アリ、他ノ尾羽ニ在ルモノハ較細クシテ茶褐色ヲ帯ブ、且中央ノ二羽ヲ除キ他ノ尾羽ノ先端ニ近ク太キ、白色ノ横斑



ヲ有ス雌ニハ白斑ヲ存セス喉部ニ白色ノ條斑アリ中央途絶シ下縁ニ錆色及黑色ノ斑點アリ腹部并ニ下尾筒ハ灰褐色ニ暗褐色ノ橫斑アリ下尾筒ニ到ルニ從ヒ橫斑太ク其數ハ減少ス蚊母鳥ハ黄昏ヨリ湖邊河上等ニ飛翔シ蚊、虻、羽蟻等ヲ捕食シ晝間ハ森林中ニ潛伏シテ出デス枝上ニ靜止スルヤ杜鵑、郭公ノ如ク體ヲ枝ト平行ニナス習性アリト云フ春夏ノ候渡來シ岩上又ハ平地ニ營巢シ夏季ハ北海道滿洲あむゝる地方ニ到リ冬季ハ南方緬甸ねばゝる等ニ涉冬スルト云フ

○鷯鳥類

鷯鳥類中本邦ニ往來シ或ハ常ニ棲息スルモノ凡三十二種ニシテ或ハ有益ナル家禽小鳥ヲ捕殺シ或ハ有害ナル小獸ヲ捕食スルモノ或ハおほたかノ如ク人之ヲ飼養シテ他ノ鳥類ヲ擒拿セシメテ樂ムモノアリ又鷯鳥類ノ如ク山野ニ蕃殖スル鼠類ヲ拿シテ食餌トナスモノハ吾人ニ直接ノ害アル鼠類ヲ驅除スルヲ以テ間接ニ有益ナリトス故ニ裨益アル此等鷯鳥類ヲ保護シテ其種類ノ減少ヲ防キ自然ノ蕃殖ヲ完カラシメ以テ該鳥類ヲシテ山林田圃ヲ害スル小獸ヲ驅逐セシムルキハ費ヲ要セスシテ其効頗ル多シトス今鷯鳥類ヲ鷯類鷹類ノ二類ニ區別シ其保護スベキ種類ヲ左ニ記スベシ

○鴉類

此類ノ兩眼ハ前面ニ駢列シ眼ノ周縁ニ粗剛ナル毛圈アリ漏斗狀ヲナシ圓大ナル眼ハ恰モ其底ニ在ルカ如シ鼻孔ハ普通粗毛ニ潜ンテ露出セス外趾ハ後方ヘ旋轉スルヲ自由ナリ羽毛ハ柔軟ニシテ飛翔ノ際羽音ヲ發セス月夜、黄昏飛翔シテ他鳥獸ヲ襲フテ之ヲ捕食シ晝ハ概森林又ハ樹木ノ朽洞中ニ潛ミテ出テス類中本邦ニ産スルモノ十餘種アリ其形狀ニ大小アリテ其嗜好モ自ラ異ナレリ彪木兔、小耳木兔及鴉等ハ専ラ小獸野鼠類ヲ捕食スルヲ以テ之ヲ保護スルヲ緊要トス左ニ索引表ヲ掲ク

い  
二、

毛角アルモノ

毛角ナキモノ

○鴉

(四十三號)



一、毛角長サ約一寸四五分……………○彪木兔(四十一號)  
二、毛角長サ約五分……………○小耳木兔(四十二號)

(四十一) 彪木兔

とらふづく

*Strix otus* Linn.

Long-eared Owl.

(第十二版、四十八圖、全形ノ三分一)

此種ハ鴞ヨリ較小ニシテ翅ノ長サ尺餘毛角ノ長キト背部ノ色彩黑褐色ニ白色ト橙黄色トヲ雜  
ユルヲ以テ他種ト容易ニ識別スルヲ得ヘシ且初列風切羽ニ太キ黑褐色ノ横斑アリテ其各横  
斑ノ中間ニ橙黄色ヲ配シ基部ハ一體ニ橙黄色ニシテ初列雨覆ノ黑褐色ト相照合シテ殊ニ鮮  
明ナリ次列風切羽ハ灰白色ヲ帯ビ暗褐色ノ雲紋アリ上尾筒ハ橙黄色ニシテ其尖端ニ暗褐色  
ノ雲紋ヲ呈ス尾羽ハ灰褐色ニシテ其基部ニ橙黄色ヲ帯ビ中央ノ羽ニハ七個ノ太キ暗褐色ノ  
横斑ヲ有シ兩側ノ各羽ニハ拾個ノ細キ横斑アリ頭部ハ淡キ橙黄色ニシテ各羽ノ中央ハ黑褐  
色ヲ呈シ其周縁ニハ白色ヲ雜ユ額部ノ羽ハ灰白ニシテ褐色ノ細微ナル斑點アリ毛角ノ長サ  
約一寸四五分黑色ニシテ外瓣ニハ橙黄色内瓣ニハ白色ヲ帯ブ顔面ハ灰白色ニ黒毛ヲ雜エ眼邊  
ニハ黒毛ヲ生ジ耳羽ハ黄色ヲ帯ビ微細ナル斑點ヲ雜ユ圈毛ハ基部白色ニシテ尖端ハ黑色ナ

リ胸部ハ白色ニ下腹腋下及脚部ハ橙黄色ニシテ各羽ノ中軸ニハ太キ褐色ノ條斑アリ雌ニハ内  
外ノ兩瓣ニモ褐色ノ斑紋アリ  
本種ハ本道及北海道等ニ棲息スレモ饒多ナラズ南西比利亞及歐洲ニモ産ス稀レニ雀等ノ小  
鳥ヲ捕殺スレモ常ニ鼠類ヲ食餌トナス

(四十二) 小耳木兔

こみづく

*Strix brachyotus* Forst.

Short-eared Owl.

(第十二版、四十九圖、全形ノ三分一)

此種ハ毛角ノ短キヲ以テ一見シテ他ト區別スルコトヲ得レモ尙羽色ニ就キ略記スレハ背部  
ハ淡赭色ニシテ各羽ノ中央ニ濃褐色ノ條斑アリ肩羽ノ外瓣ハ稍淡褐色ニシテ不正ナル横斑  
ノ間ニ大ナル卵圓形ノ白斑アリ雨覆ハ背部ヨリ黒色ヲ帯ビ赭色強ク内瓣ニ在ル不正ナル横  
斑ハ濃褐色ニシテ或ルモノハ外瓣ニ白色ノ大ナル斑點ヲ有ス初列雨覆ハ其基部ニ紅赭色ノ  
斑紋アリ初列及次列風切羽ノ或ルモノハ尖端白色ニ基部ハ赭色ニシテ全體ニ褐色ノ横斑ア  
リ内瓣ノモノ一層細シ上尾筒ハ一體ニ赭色ヲ呈シ先端少シク褐色ヲ帯ブ尾羽ハ赭色ニシテ  
其末端ニ白色ヲ彩シ中央ノモノハ褐色ノ横斑七個ヲ有シ兩側ノモノハ五個ヲ算スレトモ細



クシテ基部ニ於テ消失ス額部ハ暗褐色ニシテ赭色ヲ以テ細ク縁取ラレ且微細ナル褐色ノ斑點ヲ雜ユ顔貌ハ灰白色ニシテ頰部ハ褐色ヲ帯ビ耳部ハ黒キ箭狀ノ細毛ヲ生シ眼邊ハ褐色ナリ毛角ノ長サ約五分毛圈ノ下部ハ白色ニシテ尖端少シク黒ク其外縁ハ額部ノ褐色ト全様ナリ胸下腹及脚部ハ黄白色ニシテ胸并脇部ノ各羽ニハ褐色ノ條斑アリ下面雨覆ハ白色ニ淡赭色ヲ帯ビ外傍ノ大雨覆ハ黒色ノ特殊ノ斑點ヲ有ス翅ノ長サ約尺餘  
本種ハ本邦ニ普通ナルノミニアラス歐米等ニモ亦全種ノモノ棲息シ北半球ニハ各地ニ産ス専ラ鼠類ヲ捕殺シテ食餌トナス

(四十三) 鴞

ふくろ又ふくろふ

*Strix uralensis* Pall.

Ural Owl.

(第十三版、五十圖、全形ノ三分一)

背部ハ全體ニ灰白色ニシテ褐色ノ條斑アリ是レ各羽ノ中央褐色ニシテ其周圍白色ニ縁ドラル、ニ由ル肩部ノ羽ハ外瓣白ク中央ノ褐色細キタメ他ノ背部ト際立テ白色ニ見ユ羽覆ハ背部ヨリ一層褐色ヲ呈シ周縁ノ白色太カラス其大ナルモノハ之ニ淡褐色ノ橫斑アリ翼ハ褐色ニシテ尖端ハ白ク淡褐色ノ橫斑アリ此等ノ橫斑ハ外瓣ニ至リ一層淡ク灰白色トナリ殊ニ初

列風切羽ニ於テハ外瓣ノ白斑甚タ大ニシテ翼ノ外貌ニ鹿ノ子ノ如キ觀ヲ呈ス上尾筒ハ淡褐色ニシテ灰白色ノ不規則ナル斑點アリ尾羽ハ淡褐色ニシテ灰褐色ノ六個ノ太キ橫斑アリ其終ノモノ殆ンド尾端ニ近シ而テ尾羽ノ末端ハ白色ニ終ル頂部ハ濃褐色ニシテ頸背部ノ如キ條斑ナシ顔貌ハ灰白色ニシテ耳部ハ濃褐色ノ條斑不明瞭ニ頰部ノ羽軸ハ黒ク眼邊ニ在ル灰白色ノ圈毛ハ其周縁ニ褐色ノ細小ナル斑點アル羽ニ圍繞セラル腹部ハ白色ニシテ其或ルモノ黄色ヲ帯ビ其太キ條斑ハ濃褐色ヲ呈ス脚羽ハ一體ニ黄白色ナリ全長約二尺三寸翼長約一尺三寸アリ春季樹木ノ朽洞中ニ産卵ス

本種ハ歐洲西比利亞等ニモ棲息シ日本ニ於テハ本道及北海道ニ産シ九州ニ産スルモノハ較少ニシテ羽色モ亦白色ヲ加倍ス故ニ九州鴞ト稱シ別種トナスモノアリ又巧者ニ之ヲ飼育スルキハ夜中廚房ニ放チテ家鼠ヲ驅除スルヲ得ベシ



○鷹類

鷹 ハ其嘴強大ニシテ上嘴ハ鈎狀ヲナシ尖端頗ル銳利ナリ其兩縁ニ齒アリ或モノハ缺刻ヲナシ或モノハ波狀ヲナス嘴根ハ蠟皮ヲ以テ被ヘリ翅脚共ニ強健ニシテ趾ニ銳爪ヲ具ヘ獲物ノ捕捉ニ便ス股毛ノ跗蹠部ヲ覆被スル多少ハ種類ニ因テ異同アリ類中本邦ニ往來スルモノ拾五種(鷲類ヲ除キ)アリ多クハ利害相半スト雖モ左ノ二三種ハ之ヲ保護スルヲ至當トス今三種ノ索引表ヲ掲ク

- い 尾端少シク又狀ヲナス.....ろニ移レ
- 尾端又狀ヲナサズ.....ろニ移レ
- ろ 背部紫黑色アリ.....○鷲トビ(四十四號)
- 背部淡褐色ナリ.....○はニ移レ
- は 翼長一尺五寸八分.....○大鷲オホノスリ(四十六號)
- 翼長一尺二寸六分.....○鷲ウツトリ(四十五號)

(四十四) 鷲

とび

*Milvus ater melanotis* T. & S.

Black Kite.

(第十四版五十一圖全形ノ四分一)

鷲 ハ滿身所謂ル鷲色ニシテ各羽軸ハ黑色ナル爲メ背部ハ紫黑色ヲ呈ス翼ノ風切羽ハ黒ク前頭頰咽喉部邊ハ白色ニシテ羽軸ニ少シク黑色ヲ帶ビ耳部ハ濃褐色ナリ胸部ハ濃赤褐色ニシテ腹部及下尾筒ハ淡赤色ヲ帶ブ尾ハ較淡褐色ニシテ外側ノ羽ハ其外瓣濃ク中央ノ羽ハ淡赤色ニ暗褐色ノ横斑アリ此横斑ハ他ノ尾羽ニ於テハ特ニ内瓣ニノミ顯ハル下面ハ白色或ハ灰褐色ニシテ横斑モ亦多少認ラル蠟皮ハ淡綠黄色ニシテ嘴ハ藍黑色ナリ脚ハ暗黄色ニシテ趾ハ黃綠色ナリ

本種ハ西比利亞種ノ大ナルモノニシテ翼長一尺六寸内外アリ尾端少シク又狀ヲナスヲ以テ容易ニ他ノ鷹類ト判別シ得ベシ本邦到ル所ニ棲息シ擇捉島地方ニ於テハ漁期ニ頗ル多ク本邦西比利亞及西歐洲等ニ於テ蕃殖シ冬季印度地方ニモ見ルヲアリト云フ

(四十五) 鷲

くそとび又のすり

*Buteo vulgaris* Leach.

Common Buzzard.

(第十四版五十二圖全形ノ四分一)



猛鷲 ハ 鷹 ヨリ 較 小 ニ シ テ 體 肥 へ 背 部 ハ 淡 鷹 色 ヲ 呈 シ 頭 部 ノ 各 羽 ハ 外 瓣 ニ 褐 色 ヲ 帶 ビ 背 部 ノ 各 羽 ハ 全 體 ニ 其 基 部 ト 上 尾 筒 ノ 内 瓣 ニ 白 色 ヲ 帶 プ 頭 及 後 頸 部 ニ 白 キ 條 斑 ア リ 頰 眉 耳 羽 ハ 白 ク 亦 耳 羽 ノ 外 瓣 ニ ハ 褐 色 ヲ 帶 プ 頰 ノ 鷹 色 ナ ル 條 斑 ハ 恰 モ 八 字 髭 ノ 如 キ 觀 ヲ ナ ス 腹 面 ハ 白 色 ニ シ テ 喉 下 及 胸 部 ノ 兩 側 ニ アル 鷹 色 ノ 條 斑 ハ 下 腹 部 ニ 至 ル ニ 從 ヒ 太 ク 股 部 及 下 尾 筒 ハ 一 體 ニ 白 色 ナ リ 腹 面 ニ 白 色 多 キ ハ 若 鳥 ニ シ テ 腹 面 一 體 ニ 暗 褐 色 ヲ 呈 ス ル ハ 老 鳥 ナ リ ト 云 フ 翼 裡 ノ 兩 覆 ハ 黃 白 色 ナ レ 老 成 ノ モ ノ ハ 鷹 色 ヲ 呈 ス 初 列 風 切 羽 ハ 背 部 ノ 如 ク 濃 鷹 色 ニ シ テ 各 羽 ノ 尖 端 ハ 稍 白 色 ヲ 帶 プ 尾 羽 ハ 淡 褐 色 ニ シ テ 尖 端 ニ 至 ル ニ 從 ヒ 濃 厚 ナ リ 且 其 基 部 ハ 白 色 ニ シ テ 鷹 色 ノ 斑 紋 ア リ 此 彩 色 ハ 尾 羽 ノ 内 瓣 ニ モ 擴 リ 尾 ノ 背 面 ニ ハ 不 明 瞭 ナ ル 濃 鷹 色 ノ 橫 斑 ア リ (若 鳥 ニ ハ 其 數 多 ク 老 鳥 ニ ハ 消 失 ス)

本 邦 ノ 中 央 以 南 ニ 常 棲 ス ル 種 ニ シ テ 夏 季 ハ 北 海 道 千 島 群 島 ニ 至 ル モ ノ ア リ 常 ニ 野 鼠 等 ノ 小 獸 ヲ 捕 食 ス ル ヲ 以 テ 之 ヲ 保 護 ス ル ト キ ハ 野 鼠 類 ノ 蕃 殖 ヲ 豫 防 ス ル コ ト ヲ 得 ベ シ 春 夏 ノ 候 山 野 ノ 樹 上 ニ 巢 ヲ 營 ミ 蕃 殖 ス ト 云 フ

### (四十六) 大鷲

おほのすり

*Buteo hemilasius* T. & S.

Siberian Buzzard.

(圖ヲ示サズ)

此 種 ハ 前 種 ヨリ 大 ニ シ テ 全 體 ニ 濃 鷹 色 ヲ 帶 ビ 眉 及 耳 羽 ハ 白 ク 頰 ハ 鷹 色 ヲ 呈 シ 爲 メ ニ 髭 ノ 如 キ 觀 ア リ 腹 面 ハ 一 體 ニ 白 ク 股 部 及 下 尾 筒 亦 白 色 ニ シ テ 喉 部 ニ 濃 鷹 色 ノ 條 斑 ア リ テ 胸 部 ニ 於 テ ハ 淡 鷹 色 ト ナ リ 脇 部 ハ 鷹 色 ヲ 帶 ビ 尾 ハ 全 體 ニ 鷹 色 ニ シ テ 尾 端 ハ 淡 ク 鷹 色 ノ 橫 斑 ヲ 存 ス 尾 ノ 下 面 ハ 白 ク 尾 根 亦 上 部 ハ 白 色 ヲ 呈 ス 翼 長 約 一 尺 五 寸 八 分 本 種 ハ 西 比 利 亞 地 方 ノ 常 棲 種 ニ シ テ 稀 レ ニ 本 邦 ニ 渡 來 ス ル コ ト ア リ ト 云 フ



(第二部) 季節ヲ限リ保護スベキ鳥類

○雉

雉ハ鷄ニ近キ禽屬ニシテ形狀習性ニ於テ略ボ相似タリ、本邦ニ産スルハ尋常雉子キツカワライキ、高麗雉子キツ、尋常鷄キツ及ビ赤鷄アカキツ雉ノ四種ナリ、皆雌雄ニヨリ羽色ヲ異ニシ雄ハ華美ニシテ顔部赤ク足ニ距キツメヲ有シ、雌ハ華美ナラズシテ距ヲ欠ク尾羽ハ至テ長ク末端尖レリ、翼ハ肥大ノ體軀ニ比シテ短小ナルヲ以テ飛力強カラズト雖モ足ハ頗ル疾走ニ適ス、專ハラ地上ニ棲ミ穀類、嫩葉、蟲類等ヲ食トナシ春季三月初旬ノ頃ヨリ孳尾ヲ始メ其レヨリ夏季ニ至リテ地上雜草ノ間ニ巢ヲ營ミ産卵ス、而シテ秋季十月ニ至ルモ尙ホ雛鳥ヲ見ルヲ往々之レ有リ、雉子ハ耕地ニ在リテハ農産物ヲ食害スルヲ以テ害鳥タルヲ免レズト、雖モ亦獵鳥トシテハ最モ貴重ナルモノニシテ且ツ其性廣ク漂流セズ即チ外邦ニ渡リテ蕃殖スルヲナキガ故ニ之ヲ保護セザルキハ忽チ捕獲シ盡シ其類ヲ滅スルノ虞アリ、此故ニ其蕃殖期中ハ捕獲ヲ禁止スルハ當ヲ得タリトス、況ヤ其害甚キハ縦令ヒ保護期中ト雖モ之ヲ驅除シ得ル規定ノ設ケアルニ於テヲヤ、左ニ本邦産雉類ノ索引ヲ掲グ

- 一、 距ハ良ク發達セリ(雄).....カニ移レ
- 二、 距ナシ、或ハ之レ有モ只痕跡ニ留マル(雌).....ホニ移レ



- ろ 一、頸ノ上部ハ光澤アル紺色乃至綠色ナリ……………ハニ移レ
- 二、頸ノ全部銅赤色ナリ……………ニニ移レ
- は 一、胸腹ハ主トシテ黒ク綠色ノ光澤アリ……………○尋常雉子雄(四十七號)
- 二、胸腹ハ主トシテ銅赤色、頸ニ判然タル白色ノ環アリ……………○高麗雉子雄(四十八號)
- に 一、肩、腰及ビ尾羽ニ白色斑ヲ雜ユ……………○尋常鷓雉雄(四十九號)
- 二、總身ニ白色斑ナシ或ハ之レ有ルモ甚ダ少シ……………○赤鷓雉雄(五十號)
- ほ 一、尾羽ノ末端白カラズ……………ヘニ移レ
- 二、多數ノ尾羽ハ末端白シ……………○鷓雉雌 (四十九號)
- 三、胸腹ニ大形ノ黒斑アルノミニシテ小紋ナシ……………○尋常雉子雌(四十七號)
- へ 一、胸腹ニ微細ナル暗色ノ小紋多シ……………○高麗雉子雌(四十八號)

(四十七) 尋常雉子

きじ 又ぢきじんす

*Phasianus versicolor* Vieill.

Japanese Green Pheasant.

(第十五版、五十三圖、雌雄全形ノ五分一)

尋常雉子

ハ人ノ能ク知ル所ノ鳥ニシテ雄ニ在テハ兩眼ノ周圍ニ大ナル赤色部アリ頸ノ

全部並ニ胸腹ハ黒色ニシテ紺色乃至綠色ノ燦爛タル光澤アリ、後頭部ノ左右二箇所ニ羽毛耳狀ノ總ヲ爲シテ起立ス、肩ハ純黒、黃茶、銅赤等ノ複雑ナル色彩ヲ呈シ、腰ハ灰蒼ヲ帶ビ尾ノ方ニ至テ黃綠トナル、尾羽ハ長ク上面灰綠色ニシテ純黒ノ横紋ヲ列シ下面ハ黒色ヲ呈ス

雌ハ上面一體ニ茶色ニシテ黒色、赤褐色等ノ斑紋アリテ少シク紫色乃至綠色ノ光澤ヲ帶ブ、下面ハ淡茶色ニシテ唯黒色ノ斑點アルノミ、尾羽ハ暗赤褐色ニシテ黒色ノ横斑許多ヲ列ス

此種ハ本邦ニノミ産ス、大陸ニ見ル所ノ雉ハ皆別種ナリ、本邦ト雖モ北海道ニハ元來絶エテ雉類ノ在ルナシ、其習性ハ人ノ能ク知ル所ニシテ獵鳥トシテ最モ貴重セラル、近時ハ歐洲及ビ北米ニモ移殖シ人爲保護ノ下ニ在テ大ニ繁殖スルノ狀況アリト云フ

(四十八) 高麗雉子

かうらいきじ

*Phasianus torquatus* Gm.

Chinese Ring-necked Pheasant.

(第十五版、五十四圖、雌雄全形ノ五分一)

高麗雉子

ハ形狀通常雉子ニ異ナラズ大サモ亦略ボ同シ但シ通常ノ雉子ニ比シテ羽色一層華美ナリ

雄ニ在テハ頭ノ全部通常雉子ニ同シク唯頭上青茶色ヲ呈シ擬白色ノ眉アリ、頸ノ周圍ニ純白



ノ輪アリテ甚ダ著明ナリ、胸腹ハ頗ル光澤アル銅赤色ニシテ腹ノ中央ハ黒シ、肩ハ黄色ニシテ  
黒斑點ヲ雜ヘ、脊ハ銅赤色ニシテ且ツ白斑アリ、尾ハ甚ダ長ク下面暗黒色ナレ共上面ヨリ見ル  
トキハ每羽焦茶色ノ幅廣キ縁ヲ有ス、其他羽色ハ通常雉子ト略ボ同シ  
雌ハ通常雉子ノ雌ニ形狀羽色共ニ酷肖ス、唯胸腹部ニ大形ノ黒斑點少クシテ一面ニ暗色ノ微  
細ナル小紋アルヲ見ル

此種ハ北支那及ビ朝鮮ニ普通ナル雉子ニシテ本邦中唯對馬島ニノミ棲息ス、但シ昔時朝鮮ヨ  
リノ移殖ニ係ルトノ説アリ、習性ハ内地産ノモノト異ナル所ナシ

(四十九) 鶴雉

やまどり

*Phasianus scintillans* Gld.

Hondo Copper Pheasant.

(第十六版、五十五圖(雄)、五十六圖(雌)、全形ノ五分一)

鶴雉 ハ雉子ト屬ヲ同ウス、雄ハ顔ニ赤色部アルモ頭上ニ毛耳ナシ、總身光澤アル銅赤色ニシ  
テ黒斑ヲ雜ヘ背部ハ金光ヲ放ツ、肩部、腰部及ビ腹部ニ白斑點アリ、尾羽ハ甚ダ長ク約三尺ニ達  
スルモノアリ而シテ黒色、栗色、茶色及ビ白色ノ横條交互ニ存在シ一見節狀ヲ爲ス

雌ハ暗色ニシテ光澤ナク一般ニ雌雉子ニ似タル色彩ナルガ尾ハ比較的ニ短ク中央ノ二枚ヲ

除ク外ハ每羽主トシテ焦茶色ニシテ次ニ黒色部アリ而シテ末端ハ白色ナリ  
右ニ記載シタルハ本邦津輕海峽以南ニ産スル通常ノ鶴雉ナリ北海道ニハ此種ナシ彼地ニテ  
俗ニやまどりト稱スルハ松鷄ナリ外邦ニモ本種ト同一ノ者ヲ産セズ其習性雉子ニ似タレド  
モ之レニ比スレバ稍、深山ニ棲息スルヲ以テ耕地ニ害ヲ爲スコト少ナシ

(五十) 赤鶴雉

あかやまどり

*Phasianus soemmeringi*, T.

Copper Pheasant.

(第十七版、五十七圖(雄)、全形ノ五分一)

形狀大小共ニ通常ノ鶴雉ニ同ジト雖モ雄ハ其羽色一層濃赤色ニシテ極メテ美麗ナリ而シテ  
背部若クハ腹部ニ白斑點ヲ雜ヘズ又尾羽ハ通常種ニ於ケルヨリモ稍、幅廣ク且ツ淡色部少ナ  
クシテ一層赤色ヲ呈ス、時ニ背上ニ多少ノ白斑ヲ有シ尾ノ色稍、通常種ニ近似スルモノアリ斯  
ハ兩種ノ間ニ生ジタル雜種ト看做シテ可ナランカ

雌ハ通常鶴雉ノ雌ト羽色上識別シ難シト云フ  
本種モ本邦ニノミ見ル所ニシテ通常種ト習性ヲ同ウシ棲息較、稀ナリ九州及ヒ伊豆ニ此種ヲ  
産スルヲ知ル尙ホ他ニモ産地アルナルベシ



○ 鶇

鶇ハ凡ソ鶇大ノ鳥ニシテ普通人ノ能ク知ル所ナリ、食餌ハ主トシテ樹實、花蜜等ニシテ害ヲ致サズ、近時銃獵者ノ爲メニ濫殺セラル、ノ故アルヲ以テ其蕃殖期間之ヲ保護セサルヲ得サルニ至レリ此鳥ノ本邦ニ棲息スルモノ三種アリ、左ニ索引ヲ出ダス

- い、 鶇茶ハ頰及ビ喉ニ限ル……………○通常鶇鳥 (五十一號)
- 二、 鶇茶色ハ頰及ビ喉ニ限ラズ胸部ニ及ブ……………○小笠原鶇鳥(五十二號)
- ろ、 小笠原島ニ限り産ス……………○琉球鶇鳥 (五十三號)
- 三、 沖繩島ニ限り産ス……………

(五十一) 通常鶇鳥

ひよどり

*Hypsipetes amaurotis* (T.)  
*Brown-eared Bulbul.*

(第十九版、六十六圖、全形ノ三分二)

雌雄共ニ頭上ニ生ズル羽ハ末端尖リ灰蒼色ナリ背ニ至リ灰蒼ヲ帯ベル黒褐色トナリ、翼及ビ尾ハ純粹ノ黒褐色ナリ、下面ハ灰褐色ニシテ白斑點ヲ有シ腹側ハ少シク茶色ヲ帯ブ頭側頰部

ハ鶇茶色ナリ、尙ホ同色部ハ狭キ帯ヲ爲シテ咽喉ニ横フ、翼長ハ四寸乃至四寸四分五厘ナリトス

此鳥ハ夏季、北海道及ビ内地ノ山地ニ於テ蕃殖ス、冬期ハ北海道ヨリ多ク内地ニ渡リ又内地ニ在テハ山地ヨリ平原村落ニ出デ涉冬シ或ハ朝鮮及ビ沖繩諸島ニ渡ルモノモアリ好ンデ樹實、山茶花ノ蜜液等ヲ食シ鳴聲喧噪ナリ其巢ヲ營ムハ叢林中ニ於テシ小枝草根、苔蘚等ヲ以テ之ヲ作ル、卵ハ淡紅色ヲ帯ビ綠色ニテ縁取リタル赤褐色ノ斑點アリ

(五十二) 小笠原鶇

をがさはらひよどり

*Hypsipetes squamiceps* (Kirtl.)  
*Bonin-Island Bulbul.*

(圖ヲ出サズ)

此種ノ内地産通常鶇鳥ト異ナルハ只喉部ノ鶇茶色部廣クシテ胸ニ及ブノ一點ニアリ鳥體ノ大サモ又同シ(翼長四寸乃至四寸六分)其產地ハ小笠原諸島ニ限り他ニ産スルヲ聞カズ

(五十三) 琉球鶇鳥



りうさうひよどり

*Hypsipetes Pteryi, Stejn.*

*Loochoo Bulbul.*

(圖ヲ出サズ)

羽色ニ於テハ小笠原鶉鳥ト毫モ異ナル所ナシ故ニ同種ト看做ス人モアリ但シ體軀較小ニシテ翼長三寸七分五厘乃至四寸一分ナリトス鳴聲ハ通常鶉ト異リ喧噪ナラズシテ稍聰クニ堪ヘタリ此種ハ沖繩諸島ニノミ産シ他ニ之ヲ見ズ冬間ハ該地方ニモ内地産ノ通常鶉鳥ノ渡リ行クモノアルヲ以テ混同スベカラズ

○椋鳥

椋鳥類ハ體軀中大或ハ中大ヨリモ小ナリ、嘴直ニシテ圓錐狀ヲ爲シ尾ハ比較的ニ短ク、脚ハ強壯ニシテ地上ニ行クハ歩ム、樹實アルハ之ヲ食スト雖モ其他ハ樹木蔬菜ニ有害ナル蟲類ヲ食餌トナスヲ以テ有効鳥ニ屬ス、本邦ニ見ル所ノ椋鳥ニ三種アリ、左ニ索引表ヲ掲グ

- い、 頭上ハ脊ト色ヲ異ニス……………ろニ移レ
- 二、 頭上ハ脊ト色ヲ全フス……………はニ移レ
- ろ、 頭ハ黒色ニシテ少シク白ヲ雜ユ足ハ黄色ナリ……………○通常椋鳥ムクドリ親(五十四號)
- 三、 頭ハ擬白色足ハ黒青色ナリ……………○小椋鳥ムクドリ雄(五十五號)
- は、 頭上ハ茶色ヲ帶ビタル暗褐色ナリ……………にニ移レ
- 二、 頭上灰黒ナリ……………はニ移レ
- に、 嘴及ビ足ハ黄色ナリ……………○通常椋鳥幼(五十四號)
- 三、 嘴及ビ足ハ黒青色ナリ……………○小椋鳥ムクドリ雌(五十五號)
- ほ、 翼ノ白色部中大ニシテ前縁マデ達セズ……………○唐椋鳥カラムクドリ雌(五十六號)
- 三、 翼ノ白色部大ニシテ前縁マデ達ス……………○唐椋鳥カラムクドリ雄(五十六號)

(五十四) 通常椋鳥 又噪林鳥、吉弔

むくどり



*Sturnus cineraceus* T.

Grey Starling

(第十八版、六十一圖、全形ノ三分一)

此鳥ハ凡ソ鶺鴒大ノ體軀ナルガ尾ハ稍短シ、全頭並ニ頤ヨリ胸ニ至ル間ハ黒色ニシテ額及ビ頭側ニ白羽ヲ混ズ、脊翼尾ハ共ニ茶色ヲ帯ビタル黒褐色ニシテ尾根ハ白ク腹ハ灰黒色ナリ、但中央部ハ尾下ト共ニ白色ナリ、嘴ハ黄色ニシテ末端ノ方ニ黒色トナル、脚ハ黄色ナリ、雌雄羽色ヲ異ニセズ、幼鳥ニ在テハ全頭及ビ胸ハ脊ト一般ニ茶色ヲ帯ビタル暗褐色ト稱スベク腹モ又老鳥ノ如ク黒カラズ

椋鳥ハ四時本邦ニ在リ多ク原野ニ群棲シ時々地上ニ下リテ食ヲ求ム、其鳴聲甚ダ噪シ、春季樹木ノ空洞中ニ巢ヲ營ミテ産卵スルヲ常トス、滿洲及ビ北支那ニモ此種ヲ産ス

### (五十五) 小椋鳥

こむくどり又しまむくどり

*Sturnia pyrrhogena* (T. & S.)

Red-cheeked Starling

(第十八版、六十二圖、上ナルハ雌、下ナルハ雄、全形ノ三分一)

小椋鳥ハ前種ヨリモ小形ナリ、雄ニ在テハ全頭上及ビ頤ハ少シク茶色ヲ帯ビタル白色ニシテ頰部ハ栗赤色ヲ呈ス、肩並ニ脊ハ光澤アル紫黒色、尾根白色ニ尾ハ黒ク綠光澤アリ、下喉部ヨリ腹側ニ五リ灰黒ナルガ胸腹ノ中央部ハ尾下ニ至ルマデ白色ナリ、翼ハ主トシテ綠色ノ光澤アル黒羽ヨリ成ルモ亦著大ノ白色帯ヲ有ス

雌ハ雄ト異リ頭上ヨリ尾根ニ至ルマデ茶褐色ニシテ尾根ニハ白色部ナシ、下面ハ一体ニ淡茶褐色ナルモ胸腹ノ中央部ハ擬白色ニシテ下尾筒ハ淡茶色ヲ帯ブ、雄ハ頭部ニ栗赤色羽アレトモ雌ニハ之レナシ、翼及尾ハ概シテ黒褐色ニシテ纒ニ綠色ノ光澤ヲ帯ビ翼ニ純白帯ナシ、雌雄共ニ嘴及ビ脚ハ黒青色ナリ

此種ハ夏季即チ蕃殖期中本邦中至ル所ニ在リト雖モ未ダ何レノ地ニ於テ營巢スルヤヲ審ニセズ、八九月頃往々大群ヲ爲シテ飛翔シ鳴聲通常椋鳥ニ異ナラズ、冬ハ渡リテ、フヒリビン群島ボル子ヲ、セレベス等ニ至ルヲ知ルト雖モ未ダ曾テ亞細亞大陸ニ發見シタルコトヲ聞カズ

### (五十六) 唐椋鳥

からむくどり

*Sturnia sinensis* (Gm.)

Chinese Starling.

(第十八版、六十三圖、上ナルハ雌、下ナルハ雄、全形ノ三分一)



唐椋鳥 ハ前種ノ大ニシテ雌雄共ニ頭上ヨリ尾根ニ至ルマデ灰黑色ナリ、但シ尾根ハ稍白シ、下面ハ頤以下一体ニ灰白色ニシテ腹部ニ至リ白色ニ移ル、尾羽ハ中央ノ二枚ト其他ノ尾羽ノ根部ハ無光澤又ハ綠光澤ノ黑色ニシテ其外ハ擬白色ナリ、翼ノ大羽ハ多少綠色ノ光澤ヲ帶ベル、黑色ニシテ雄ニ於テ其光澤最モ明ナリ、尙ホ翼ノ前部ニ當リ白色部アリテ此部雄ニ在テハ甚ダ大ナルモ雌ニ在テハ小ナリ

本種ハ元來多ク支那ニ産ス本邦ニテハ往々之ヲ小椋鳥ノ群ニ混ジ見ルコトアリ

○雲雀

雲雀ハ鶉又ハ告天子トモ書ス、其羽色體貌及ビ習性ニ於テ自ラ一類ヲナス、主トシテ平原ニ栖息シ又高ク空中ニ飛翔ス、春季叢中又ハ隴畝ニ巢ヲ營ミ其鳴聲可憐ニシテ春時郊遊ノ人ヲシテ聽テ樂シマシメ大ニ愛賞セラレ、穀類ヲ食スルモ大害ヲ爲スニ至ラズ多ク小蟲草實等ヲ以テ食餌トナスガ故ニ効益アリトス本邦ノ雲雀ニ三種アリ左ニ索引ヲ掲ク

- 一、頭上左右ニ耳狀ヲ爲シテ起立スル羽アリ……………○濱雲雀 (五十九號)
- 二、頭上ニ耳狀羽起立セズ……………○大雲雀 (五十八號)
- 三、大ナリ、翼長三寸五分五厘乃至四寸……………○通常雲雀 (五十七號)
- 四、較小ナリ、翼長三寸乃至三寸四分……………○通常雲雀 (五十七號)

(五十七) 通常雲雀

ひばり

*Alauda japonica* (T. & S.)

*Small Japanese Sky-lark*

(第十九版、六十四圖、全形ノ二分一)

雲雀 ハ上面総ベテ茶色ニシテ數多ノ黒斑點アリ、夏季ハ茶色部多ク摩耗シテ黑色部大ニ現



ハル、下面ハ淡茶色ニシテ喉及ビ胸ニ小形ノ黒點アリ而シテ腹部ニ至リ白色ニ移ル、後趾ノ爪ハ五六分ノ長キニ達ス

此鳥ハ多ク原野及ビ耕地ニアリ、春四月頃ヨリ營巢ヲ始メ四時共ニ我國ニ留マル

(五十八) 大雲雀

おほひばり

*Alauda blakistoni* Stejn.

Large Japanese Sky-lark,

形状羽色ニ於テハ毫モ通常雲雀ト異ナラズ故ニ其圖ヲ略セリ、唯鳥體ノ一層大ナルニ於テ異ナルノミ前種トノ翼長ニ於ケル差異ハ索引表ニ就キテ觀ルベシ)

此種ハ千島及ビ東塞加<sup>カムツカ</sup>ニ産シ冬間ハ北海道ニモ在ルガ如シ、津輕海峽以南ニハ渡ラザルニ似タリ

(五十九) 濱雲雀

はまひばり

*Otocorys alpestris* (L.)

Shore-lark.

(第十九版、六十五圖、幼、全形ノ二分一)

此種ハ稍々小形ニシテ羽色ノ大概ハ通常雲雀ニ似ルモ額、頬及ビ上胸部ノ黒色ナルニヨリ識別スルヲ得ベシ、頭上左右ニ耳狀ヲ爲シテ起立スル羽總アルヲ雄雉ノ如シ、今第六十五圖ニ示スハ幼鳥ニシテ曾テ本邦ニテ獲タル一標品ヲ畫キタルナリ、親鳥ニ於ケル黒色部ハ未ダ發達セズシテ羽色上通常雲雀ニ酷肖タリ

此種ハ歐洲、亞細亞及ビ北米ノ北部ニ普ク産スル所ナルガ本邦ニハ極メテ稀ナルガ如シ



○ 鴟

鴟 ハ通例鶇ヨリモ小ナリ頭大ニ、嘴強壯ニシテ特異ノ形狀ノミナラズ各地ニ之レアルガ故ニ人ノ能ク知ル所ナリ、食餌ハ蝗、毛虫及ビ其他昆蟲類ヲ以テ主トナスモ性質猛鷲ニシテ蛙、小鳥等ヲモ捕ヘ食スルコアリ、近時狩獵者之ヲ濫獲スルノ傾向アルヲ以テ今ニシテ幾分力カカ保護ヲ加ヘザルベカラズ、本邦ニ於ケル鴟ハ五種アルヲ知ル左ニ索引表ヲ出ダス

- 二、 頭上灰色ナリ……………ろニ移レ
- 三、 頭上灰色ニ非ス……………ほニ移レ
- 一、 脊モ又灰色ナリ……………はニ移レ
- 三、 脊ハ灰色ニ非ズ……………ニニ移レ
- 二、 腰モ又灰色ナリ……………○大唐鴟オホカラモス (附)
- 三、 腰ハ白色ナリ……………○大鴟オホモス (六十四號)
- 一、 腰部ニ至リ赤茶色トナル……………○琉球鴟リュウキウモス雄(六十三號)
- 三、 脊腰共ニ黒ト赤茶ノ虎文ナリ……………○兒鴟コモス親(六十二號)
- 二、 頭上ハ黒ト黒茶ノ虎文ナリ……………○兒鴟コモス幼(六十二號)
- 三、 頭上虎文ヲ示サス一様ニ赤茶乃至茶褐色ナリ……………ヘニ移レ
- 一、 額部白若クハ灰白……………トニ移レ
- 三、 額ハ白ヲ帯ビズ……………○通常鴟モス (六十號)

- 二、 頭上茶褐色……………○琉球鴟リュウキウモス雌(六十三號)
- 三、 頭上赤茶色……………○赤鴟アカモス (六十一號)

(六十) 通常鴟

もす

Lanius bucephalus T. & S.

Bull-headed Shrike.

(第二十版、六十七圖上ナナルハ雄、全形ノ二分一)

雄ハ頭上赤茶ニシテ脊ニ至リテ灰褐色ナリ、尾ハ主トシテ黒褐色ニ翼モ亦同シ、但シ翼ニハ小形ノ白色點アリテ其中數羽ハ茶色ニテ縁取ラル、眼ノ前後及ビ下部ハ黒クシテ白色ノ眉アリ、額ハ白ク胸ノ方ニ至リ漸々淡茶色ヲ呈シ胸腹ノ兩側部ハ赤茶色ナリ、下面ニ少許ノ横行細條ヲ見ル

雌ハ雄ニ似タルモ脊及ビ尾ノ大ニ赤茶ヲ帶ブルコ眼ノ近傍黒カラザルコ、下面ニ許多ノ鱗形ヲ爲セル細條ノ存スルコ翼ニ白點ナキ等ノ諸點ニ於テ異ナレリ

此鳥ハ四時共ニ本邦ニ留リテ夏季ハ山地ニ多ク冬ハ平原ニ多シ、營巢ハ概テ山地ナレ共平原ニ於テモ營巢スルモノ無キニ非ス、春四月ノ頃雛鳥ヲ出ス、秋十月初旬ヨリシテ山地ニ於テ、夏シタルモノ多ク平原ニ下リ喧噪ナル鳴聲ヲ放チ寒氣加ハルニ及ビテ又其聲ヲ聞カズ、此鳥ハ滿州、支那等ニモアリ



(六十一) 赤鴟

あかもず

*Lanius superciliosus* Lath.

Japanese Red-tailed Shrike.

(第二十版、六十八圖、雄全形ノ二分一)

雄ハ眼ノ前後黒ク、額部ハ白ク同色ノ眉ト連續ス、頭上ヨリ尾根ニ至ルマデ一體ニ赤茶色ニシテ尾ハ少シク暗黒ヲ帯ビタル赤茶色ナリ、翼ニ白點ナシ其他ハ通常鳴ト同シ  
雌ハ大體ニ於テ雄ト同色ナリ、但シ雄ノ如ク鮮明ナラザルノミ、兩性共ニ額白クシテ上部ノ尾ニ至ルマデ赤茶色ナルハ此種ノミナルガ故ニ識別スルヲ易カルベシ  
此種ハ春南方ヨリ來リ夏日本邦ニ於テ蕃殖シ秋季再ビ南方ニ渡リ馬刺加半島ニ達ス而シテ冬季中本邦ニ留マルモノ有ルヤ否未ダ審カナラズ

(六十二) 兒鴟

ちごもず

*Lanius magnirostris* Less.

Thick-billed Shrike.

(第二十版、六十九圖、雄全形ノ二分一)

雄ハ頭上ヨリ後頸ニ亙リ灰蒼色ナリ、眼ノ前後黒ク眉ナシ、脊ハ一體ニ焦赤茶色ニシテ横行ノ

黒條ヲ有シ所謂虎文狀ヲ呈ス、尾ハ翼ト共ニ黒色ナリ、下面ハ頤ヨリ尾下ニ至ルマデ白シ、雌ハ雄ト略ボ同色ナリ

幼鳥ハ頭上ニ灰蒼色ナク額ヨリ尾根ニ至ルマデ焦茶及ビ黒ノ虎文ナリ而シテ下面兩側部ニモ黒色ノ横横多シ

此種ハ本邦ニ甚ダ少シ、其蕃殖地ハ亞細亞大陸ノ日本海沿岸ニ在リ秋南方ニ渡リ冬ハ馬刺加半島ニマデ達ス

(六十三) 琉球鴟

りうきうもず

*Lanius incionensis* L.

Chinese Red-tailed Shrike.

(標品缺乏ノ爲メ圖ヲ出サズ)

頭上ヨリ後頸ニ亙リ老鳥ニ在テハ灰色、幼鳥ニ在テハ暗褐色ヲ呈シ、此色ハ後方ニ至ルニ隨ヒ漸次茶色ヲ加ヘ腰及ビ尾ニ至リテハ赤茶色トナル、翼ニ白點ナク、額ハ灰白、眼ノ前後ハ雄ニ在テハ黒ク雌ニ在テハ茶褐色ナリ、頤ヨリ喉ニ亙リ白ク、其レヨリ以後尾下ニ至ルマデ多少茶色ヲ帯ブ

此種ハ元來北支那ニ産スル鴟ナルガ冬季我が沖繩諸島ニ渡ルモノナリ、或ハ四時該島ニ留マル者ナキヲ期セズ、内地ニハ此種ヲ見ルヲ無キガ如シ



(六十四) 大鵂

おほもず

Lanius major Pall.

Pallas' Grey Shrike.

(第廿一版、七十圖雄、全形ノ二分一)

是ハ以上ノ諸種ヨリモ大形ナリ、翼長三寸七分許、頭上ヨリ脊ニ亘リ灰色ニシテ額白ク、眉アリ、眼ノ前後ハ黒シ、兩肩及ビ腰部ハ白色ニ、尾羽ハ多少黒色部ヲ有シ其末端白シ、翼ハ主トシテ黒ク一ノ白斑點ヲ具フ、下面ハ總ベテ白ク唯腹側部ニ於テ少シク灰色ヲ帶ブルノミ、雌ハ雄ニ同ジ但シ、胸部ニ於テ灰色ノ細キ横條ヲ散布ス、此種ノ本產地ハ西比利亞ノ南部ニシテ本邦ニ於テモ極メテ稀レニ之ヲ見ルコトアリ

(附)

○大唐鵂

(Lanius sphenocercus Cab.) ハ前出大鵂ヨリモ一層大ニシテ翼長ハ四寸、尾羽ハ四寸

七分ノ長キニ達ス、羽色大鵂ニ酷肖タルモ腰部白カラズシテ脊ト一般ニ灰色ナリ而シテ翼ニ白色部甚ダ多シ、元來南支那ノ産ナルガ本邦ニ於テモ其一標品ヲ購ヒタルコトアリ、是レ果シテ本邦ニテ獵獲セラレタル鳥ナルヤ否疑ナキヲ得ズ

○鶉

鶉 ハ其形態甚矮小ニシテ鳴禽類ニ似タレ、嘴脚殊ニ后趾ノ位置ヲ檢スルハ其鶉類タルヲ判別スルヲ得ベシ、本邦ニ産スル鶉ニハ支那地方ヨリ渡來スルモノト本州ニ常棲スルモノト二種アリ左ニ識別表ヲ掲クルモ往々中間ノ標徴ヲ具ヘテ孰レトモ判明シガタキモノアリ

- 一、 喉部白色ニシテ雌ノ頤及喉側部ノ羽細長ナリ……………鶉 (六十六號)
- 二、 喉部赤褐色ニシテ雌ノ頤及喉側部ノ羽短圓ナリ……………赤喉鶉(六十七號)

(六十五) 鶉

うづら

Coturnix communis Bonn.

Common Quail.

(第十七版、五十八圖、雌、五十九圖、雄)

鶉 ハ其大サ雞雛ニ近ク脚ハ短クシテ短尾ナリ、頭部ハ黒クシテ各羽ノ尖端ハ褐色ヲ帶ビ頭ノ中央ニ白色ノ條斑アリ、背部ハ赤褐色ヲ帶ビ各羽軸ハ白ク兩瓣ニ黒斑ヲ有シ肩、背、腰及上尾筒ニ至ルマテ皆全様ノ羽色ヲ呈ス併シ地色ハ一體ニ黒クシテ赤白色ノ細キV狀ノ横斑ハ羽軸ニ添フテ走り太キ白條ニ因テ區劃セラレ一定ノ斑紋ヲナス兩覆ハ黃褐色ニシテ羽軸ノ條斑ハ纖ク且黒ク縁ドリタル褐色ノ横斑アリ翼羽ハ黒褐色ニシテ初列風切羽ノ外瓣ト次列風



切羽ノ内外兩瓣ニ褐色ノ斑紋アリ類ハ白ク黒褐色ノ條斑鼻孔ノ上部ヨリ眼部ヲ超ヘテ走ル  
喉部ハ白色ニシテ胸部トハ黒色ト錆色ノ亂雜ナル斑條ニ因テ區分セラル雄ノ老鳥ニハ喉部  
ニ錨狀ノ黒斑アリ胸部ハ橙黄色ニシテ羽軸白ク其他腹部ハ白黄色ニシテ兩脇ハ赤褐色ニ黒  
キ斑點ヲ有シ羽軸ノ白條ハ太ク或ハ黒ク縁ドラル尾羽ハ黒クシテ尖端ハ白ク且ツ黄斑アリ  
本種ハ所謂移栖鶉ニシテ冬季東部西比利亞及北支那地方ヨリ日本海ヲ超ヘテ渡來シ本邦中  
央以南ノ諸州ニ於テ涉冬シ四五月ノ候産卵蕃殖シ夏期ハ北方大陸ニ徙動スト云フ

(六十六) 赤喉鶉

あかのどうづら

*Coturnix japonica* Seeb.

Eastern Common Quail.

(第十七版、六十圖、雄、全形ノ二分一)

本種ハ全體ノ羽色前種ニ異ナラズ、形態較小ニシテ雄ハ頭部ノ兩側頤及喉部ニ赤色ヲ帶ビ老  
成ノ雌ハ頤喉部ノ羽短圓形ナリ又本種ノ雄ハ老成ニ至ルモ前種ノ如ク喉部ニ錨狀ノ黒斑ヲ  
具ヘスト云フ、然レモ數多ノ標品中ニハ此種ニシテ喉部ニ黒斑アルモノアリ

本種ハ九州薩南地方ニ於テ避冬シ四五月ノ候該地方并駿州地方ニ於テ蕃殖シ初夏ノ候ヨリ  
本道ノ北部、北海道等ニ徙動スト云フ

鶉ハ鶉類ニ屬スレモ飛行力強ク其遷移ノ季節ニハ頗ル遠隔ノ地ニ徙動スルノ習性アリ、歐  
洲ノ鶉ハ地中海ヲ超ヘテ亞非利加ニ避寒シ本邦ノ鶉ハ日本海ヲ超ヘテ滿洲西比利亞等ニ往  
來ス、且其徙動スルヤ概夜中群ヲ成シテ飛翔スルヲ以テ人目ニ觸ル、稀ナリト云フ  
凡テ鶉類ハ草木ノ種實及昆蟲ヲ食餌トナスヲ以テ蕃殖時期ニ之ヲ保護スルヲ緊要ナリトス



○松鷄類

松鷄及ビ雷鳥ヲ併稱シテ松鷄類トナス、其体ハ鳩ヨリモ稍大ニシテ形狀ハ鶉若クハ雉ニ近ク習性モ亦相似タリ、實際鶉鷄類ト目ヲ同ウス然レドモ尾ハ所謂角尾ニシテ尖ラズ雄ニ距ナシ、兩眼ノ上ニ小形ノ肉冠アリ、専ラ地上ニ棲息シ巢モ地上ニ營メリ、本邦ニハ只タ二種ヲ産スルノミ、左ニ識別表ヲ掲ク

- (一) 足ハ趾端ノ爪根ニ至ルマデ羽毛ヲ生ズ、翼ハ常ニ白色ナリ……………雷鳥(五十三號)
- (二) 脛ハ羽毛ヲ被ルモ諸趾ハ之ヲ生ゼズ翼ハ茶褐色ナリ……………松鷄(五十二號)

(六十七) 松 鷄

ゑぞやまどり又ゑぞらいてう

*Tetrao bonasia* L.

Hazel-grouse.

(第廿一版、七十二圖、雄、全形ノ四分一)

大サ雉鳩ヨリモ稍大ニ、嘴ハ雉子ノ如シ、上面ハ復雜ナル斑紋ヲ呈シ純白、灰白、焦茶、茶褐、黒等ノ諸色ヲ混ス、尾羽ノ中央二枚ハ全ク鷹文狀ナルモ其他ハ末端白ク次テ黒帶アリ、翼ノ風切ハ茶褐色ニシテ其外縁ハ白茶色ナリ、下面ハ擬白ニシテ數多ノ黒色ト黒茶色ノ斑點ヲ有ス、雄ニ在

テハ頤部黒色ナルガ雌ニ在テハ此黒色部ナシ、脛ハ其下端ニ至ルマデ白色ノ羽毛ヲ被ルモ諸趾ハ裸出セリ、眼上ノ肉冠ハ雌ニ在テハ甚ダ小形ナリ  
此鳥ハ廣ク西比利亞及ビ歐洲ニ産スルモ本邦ニテハ只北海道ニ之ヲ見ル而シテ津輕海峽以南ニハ絶テアルコナシ、之レト反對ニ雉子及ビ鶉類ハ該海峽以北ニナシ、北海道ニテ俗ニ此鳥ヲやまどりト稱スルハ習性ノ鶉雉ニ似タル所アルガ故ノミ、蓋シ該地ニ於ケル好獵鳥ノ一ナリ

(六十八) 雷 鳥

らいてう

*Lagopus mutus*, (Montin.)

Partridge.

(第廿二版、七十三圖、右ナルハ雄、左ナルハ雌、七十四圖、雄ノ全形ノ四分一)

前種ト同大ニシテ形狀モ亦同シ但シ、脚ハ趾頭ニ至ルマデ白色ノ羽毛ヲ生ズ、雌雄少シク色彩ヲ異ニス而シテ夏季ノ羽色ト冬季ノ羽色ハ大ニ異ナレリ、先ヅ夏季ノ羽色七十三圖ヨリシテ記載センニ、翼ノ風切ハ雌雄共ニ純白而シテ尾ハ中央ノ二枚ヲ除キ黒色ナルガ其他ハ雄ニ在テハ全頭頸及ビ咽喉ノ諸部並ニ背面一體ニ黒色ニシテ茶色ノ細カナル小紋數多アリ、腹ハ白色ナリ、雌ハ雄ニ比スレバ茶色ニ富ミ頭頸、咽喉、全背及ビ腹側ハ黒ト黄茶ノ横斑ナリ、其他ハ雄ニ同シ、秋季ニ至リ一旦毳ヲ經ルルハ雌雄共ニ總身純白トナル(七十四圖)但シ尾ノ外側羽ハ黒



色ヲ存シ又雄ニ限リ眼前ノ處黑色ナリ、之レヲ此鳥ノ冬羽トス、是レ大ニ意味アルコニテ冬間  
周圍ノ積雪ト色ヲ同ウスルハ敵ノ襲撃ヲ避クルニ便益アルヤ言ヲ待タズ、是レ所謂保護色ノ  
一例ナリトス

此鳥ハ歐洲及ビ亞細亞大陸ニモアリ、本邦中千島ニテハ平原ニ棲息スルモ本土ニ在テハ高山  
ニノミ産ス即チ飛彈信濃ノ境ナル乗鞍嶽槍ヶ嶽又木曾ノ御嶽等ノ如キ高山ノ雪線ニ接近シ  
タル地ニ棲息ス、御嶽講ノ信徒ハ頗ル此鳥ヲ崇重スト云フ、其本邦内産地ノ區域甚ダ狹隘ニ且  
ツ性質魯鈍ナルヲ以テ捕獲シ易ク其類ヲ絶滅スルノ虞アリ

○鳩 鴿

鳩鴿ハ其形状特異ニシテ他ノ鳥類ト混同セズ、嘴ハ末端ノミ角質ニシテ其他ハ軟皮ヲ被リ、鼻  
孔上ニ膨ミタル軟瓣ヲ垂ル、翼長大ニシテ能ク飛翔シ、足ハ赤色ニシテ短シ、此類ハ専ハラ樹上  
ニ棲息シ樹實、穀類ヲ食トナス、或ハ群ヲ爲シ或ハ雙棲シ單一ノ巢ヲ樹上ニ營ミテ産卵ス、其雛  
鳥ハ極メテ微弱ニシテ親鳥之ヲ哺育ス  
鴿トハ人ノ飼養ニ係ルモノニシテ元ト野生ノ川原鳩ヨリ變化シ來リタルコト明瞭ナリ、其羽色、  
形状共ニ種々雜多ニシテ枚舉スルニ遑アラス、往々半野生ノ有様ニテ群飛スルコトアルモ里落  
ヲ離ル、コトナシ、特ニ此類ヲ保護鳥中ヨリ除キタルハ飼養鳥ニシテ有主ト認メタルノミ鳩ト  
ハ野生ノモノヲ云フ、狩獵者ノ最モ好テ捕獲スルモノナルガ故ニ蕃殖期間之ヲ保護スルハ大  
ナル利益アルベシ本邦ニ産スル鳩ニ十一種アリ、先ヅ左ニ之レガ索引表ヲ示ス

- 一、 翼長五寸三分以下……………ろニ移レ
- 二、 翼長五寸三分以上……………ハニ移レ
- 一、 黑色ノ頸環アリ……………○紅鳩 (七十三號)
- 二、 頸環ナシ……………○金鳩 (七十四號)
- 一、 一體ニ黑色或ハ灰色ニシテ美麗ナル金屬様光澤ヲ帶ゾ……………ニニ移レ
- 二、 一體ニ黑色ニ非ズシテ金屬様ノ光澤ヲ帶ビス……………チニ移レ



- に 一、 一体ニ黒色ナリ……………ホニ移レ
- 二、 一体ニ灰色ナリ……………小笠原鴉鳩 (七十八號)
- ほ 一、 脊ハ其前後ノ部ヨリモ色淡シ、白色乃至灰色ナリ……………河原鳩 (七十號)
- 二、 脊ハ他部ト同様ノ色ナリ……………ヘニ移レ
- へ 一、 肩ニ弦月形ノ白色部アリ……………琉球鴉鳩 (八十號)
- 二、 肩ニ白色部ナシ……………トニ移レ
- と 一、 頭ハ脊ト異色ニシテ赤褐色……………赤頭鴉鳩 (七十九號)
- 二、 頭ハ脊ト同色ニシテ光澤アル黒色……………鴉鳩 (七十七號)
- ち 一、 一体ニ綠色ナリ……………リニ移レ
- 二、 綠色部ナシ……………ぬニ移レ
- り 一、 頭及ビ胸ハ黄綠色腹ニ白色部アリ……………緑鳩 (七十五號)
- 二、 頭胸及腹ハ殆ト一樣ノ暗綠色ナリ……………琉球緑鳩 (七十六號)
- ぬ 一、 肩及ビ脊ニ赤茶色ノ斑點アリ……………雉鳩 (七十一號)
- 二、 肩及ビ脊ハ一樣ニ灰褐色ナリ……………斑鳩 (七十二號)

(六十九) 河原鳩又野鴉

かはらばと

*Columba intermedia* Strickl.

Blue Rock-pigeon.

(第廿三版、七十五圖、全形ノ四分一)

河原鳩 ハ諸鳩中トバト最モ近キ一種ニシテ脊ノ中央部ノ白色又ハ灰白色ナルノ外ハ一体ニ暗黒ノ羽色ナリ、但シ腹部ハ他ニ比シテ淡ク頸及ビ胸ハ綠色乃至紫色ノ光澤ヲ有ス、今第七十五圖ニ寫シタル原標品ハ幼鳥ナルヤ此光澤ヲ欠キ其代リニ暗茶色ヲ雜ユトバト中ニモ右ニ記スル所ト同様ノ羽色ナルモノヲ見ルヲ往々之レアリテ區別シ難キアリト雖モ棲息ノ狀況ヲ知ルトキハ又容易ニ區別シ得ベシ則チ河原鳩ハ主トシテ海岸ノ巖窟ニ群棲スルモノニシテトバト鴉ノ如ク人家ノ近傍ニ棲息スルモノニ非ズ

往年相模國江ノ島ノ岩窟ニ多ク棲息セシガ今ハ其跡ヲ絶テリ、然レモ他地方ノ沿岸ニハ尙ホ往々ニシテ其群ヲ見ルヲアリ、此鳥ハ「ベルシヤ」ヨリ本邦ニ至ルマデノ亞細亞沿岸ニ産セリ

(七十) 雉鳩

さじばと又やまばと、よさうじばと

*Turtur orientalis* (Lath.)

Eastern Turtle-dove.

(第廿三版、七十六圖、全形ノ四分一)

是ハ頭、頸及ビ胸部ノ諸部、葡萄鼠色ニシテ頸側ニ黒色ト灰青色ヨリ成ル鱗狀ノ斑點アリ、肩及ビ脊ハ赤茶色ト黒色トヲ雜ユ、腰部ハ灰黒色ニ風切及ビ尾羽ハ黒褐色ニ尾羽ノ末端ハ白シ、胸



ハ淡白ナル赤茶色ヲ帯ヒ腹部ノ方ニ至テ淡シ  
此種ハ本邦ニ最モ多ク且ツ廣ク棲息スル鳩ニシテ四時本邦ヲ去ラス夏季間ハ殊ニ山地ニ多  
ク晩秋ヨリシテ平原ニ下ル但シ平原ト雖モ夏季中留リテ林叢中ニ營巢スルモノ尠カラズ此  
種ハ廣ク亞細亞ノ南部及ビ東部ニ分布スト云フ

(七十一) 斑鳩

しらこばと又じゆすかけばと

*Turtur risorius* (L.)

Indian Dove.

(第廿四版、七十七圖、全形ノ四分一)

此種ハ前種ニ比シテ稍小ニシテ全身ノ羽色淡白ナリ、頭頸及ビ下面ハ一体ニ灰白色ニシテ少  
シク赤味ヲ帯ビ、脊ハ尾ニ至ルマデ灰褐色ニ類似ノ色ヲ呈ス、風切ハ黒褐色ニ外側ノ尾羽ハ根  
本黒ク末端白シ、後頸ニ黒色ノ半輪環アリ念珠掛<sup>ビユズダ</sup>ノ名アル所以ナリ  
斑鳩ハ土耳其、印度、支那等ニアリ本邦ニハ蕃殖期中ニ在リテ冬季ハ去リテ在ラサルガ如シ  
但シ本邦ニモ北海道ニテハ未ダ曾テ此種ヲ見ス

(七十二) 紅鳩

べにばと

*Turtur humilis* (L.)

Chinese Red-Dove.

(標品缺乏ノ爲メ圖ヲ出サズ)

紅鳩 ハ小形ノ鳩ニシテ雌雄色ヲ異ニス、雄ニ在テハ背及ビ胸ハ一種ノ赤色ナリ、頭上及ビ腰  
ハ灰色ヲ呈ス、頤部ハ白ク後頸ニ暗黒ノ環アリ、腹部ハ擬灰色ニシテ尾下ニ至リテ白色トナル  
雌ハ雄ノ如ク美麗ナラズ、一体ニ淡白ナル茶褐色ヲ爲シ胸邊ハ淡紫ヲ帯ビタル灰色ナリ、雄ト  
同シク頸環ヲ有シ其前縁ハ灰白色ニテ縁取ラル  
此種ハ元來南支那、臺灣、比律賓等ノ産ニシテ本邦ニテ獲タルコアルモ果シテ本邦ノ鳥類トシ  
テ看做スベキモノナルヤ疑ナキ能ハズ、羽色美麗ナルヲ以テ時々籠中ニ飼養スルヲ見ルモ皆  
輸入ニ係ルモノナリ

(七十三) 金鳩

きんばと

*Chalcophaps indica* (L.)

Green-winged Dove.

(第廿四版、七十八圖、雄、全形ノ四分一)

金鳩 モ亦他種ニ比シテ小形ナリ、雄ハ額白ク頭上灰青色ニシテ白色ノ眉アリ、頸環ハナシ頤  
ヨリ胸ニ亘リ一種ノ赤色ニシテ腹部ノ方ニ至テ漸ク淡シ、背部ハ金綠色ヲ呈シ甚ダ美麗ナリ  
雌ハ額灰白ニシテ頸及ビ脊ハ茶褐色ニ、下部ハ赤褐色ナリ其他ハ略ホ雄ニ同シ



此種ハ廣ク亞細亞ノ熱帶地ニ産シ我邦ニテハ曾テ之ヲ沖繩縣下八重山島及ビ其附近ノ島嶼ニ發見セリ、前種ト同シク羽色華美ナルニヨリ往々籠鳥トシテ本邦ニ輸入セリ

(七十四) 綠鳩

あをばと又しやくはちばとやまばと

*Treron sieboldi* (T.)

Japanese Green Pigeon.

(第廿四版、七十九圖前ナルハ雌全形ノ四分一後ナルハ雄)

綠鳩 ハ前種ニ比シ稍大形ナリ上面殆ド一體ニ濃綠色ナルモ頭上及ビ下面ハ黃綠色ニシテ腹ニ白色部アリ、風切及ビ尾ノ外側羽ハ黒シ、雄ハ翼上ニ大ナル暗赤部アルモ雌ニハ之レ無し、此種ハ本邦何レノ地ニモ棲息シ殊ニ南方地方ニ多ク北海道ニハ唯夏期ノミ在リ、四時本邦内ニ留リテ蕃殖ヲ爲ス、其鳴聲ハ恰モ尺八ヲ吹奏スルニ類スルヲ以テ尺八鳩ノ別稱アリ又地方ニ由リ之ヲ山鳩ト云フ

(七十五) 琉球綠鳩

りうきうあをばと

*Treron permagna* Stejn.

Loo-Choo Green Pigeon.

(圖ヲ出サズ)

琉球綠鳩 ハ前種ニ比シ少シク大形ニシテ羽色ハ粗々同一ナリ、唯頭上及ビ下面ノ黃緑ニ非ズシテ殆ド一樣ニ暗綠色ナルノ點ニ於テ異ナルノミ、此種ハ沖繩諸島ニ棲息ス、其他該島ト九州ノ間ナル諸島ニモアルナラン、此他ノ地方ニハ産セザルモノ、如シ

(七十六) 鴉鳩

からすばと又うしばと

*Carpophaga janthina* (T.)

Japanese Fruit-pigeon.

(第廿五版、八十圖、全形ノ四分一)

鴉鳩 ハ形大ニシテ全身黒色ナリ故ニ此名アリ、頭、頸、背、胸等ノ諸部ハ綠色ト紫色ノ金屬的光澤ヲ有ス、此種ハ廣ク本邦ノ海濱又ハ沿岸ノ島嶼ニ産ス、所ニヨリテハ甚ダ多ク見ルコトアリ

(七十七) 小笠原鴉鳩

をがさはらからすばと

*Carpophaga versicolor* (Kittl.)



Bonin Fruit-pigeon.

(標品ナキガ爲メ圖ヲ出サズ)

前種ヨリモ稍大形ニシテ全身灰黒ナリ、下面ハ上面ヨリモ淡白ニシテ風切及ビ尾ハ暗黒ナリ、頭上ヨリ脊ニ亘リ美麗ナル主トシテ金紫色ノ光澤ヲ帯ビ、胸邊ノ各羽ハ綠色ニシテ紫色ノ光澤アル縁邊ヲ有ス

此種ハ小笠原群島ニ限り産ス、但シ稀レニ見ル所ノモノナリ

(七十八) 赤頭鴉鳩

あかゞしらからすばと

*Carpophaga nitens* (Stejn.)

Stejneger's Fruit-pigeon.

(第廿五版、八十一圖、全形ノ四分一)

赤頭鴉鳩 ハ羽色形状共ニ内地産ノ鴉鳩七十七號ニ酷肖タルモ頭ノ全部赤褐色ヲ帯ブルヲ以テ異レリトス

此種又小笠原群島ニ限り産ス、但シ前種ノ如ク稀レナルモノニアラズ

(七十九) 琉球鴉鳩

りうきうからすばと

*Carpophaga jonyi* (Stejn.)

Loo-Choo; Fruit-pigeon.

(第廿五版、八十二圖、全形ノ四分一)

琉球鴉鳩 亦羽色形状内地産ノ鴉鳩ニ彷彿タリ唯肩上ニ三日月形ノ白色部アルヲ以テ異レリトス

是ハ從來沖繩諸島ニ於テノミ見ル所ニシテ此他九州近傍ノ諸島ニモアランカナレドモ未ダ之ヲ詳ニセズ



○ 鶉

鶉類ハ嘴細長ニシテ頸部長ク脚ハ跗蹠部全ク露出ス本邦ニ渡來スルモノ頗ル多シト雖モ概  
春秋ノ候南北ニ往來移動ヲナスノ際通過スルモノニシテ本邦ニ於テ繁殖スルモノ割合ニ少  
シ故ニ獵鳥トシテ最モ適當ノ種トナス然レモ左ニ掲タル數種ハ春夏ノ候北海道又ハ本道九  
州等ニ於テ産卵蕃殖スルヲ以テ其期節ニ之ヲ保護シ蕃殖ヲ完了セシムルハ肝要ノコナリト  
ス且鶉類ハ沼澤田野ニ昆蟲蠕蟲類ヲ搜索シテ食餌トナスヲ以テ有益無害ノ鳥類ナリ左ニ保  
護スベキ種類ノ索引表ヲ示ス

- 一、胸及腹ニ一面横條ノ斑アリ純白ナラス……………ろニ移レ
- 二、腹ニ斑ナク純白ナリ胸腹側及其他ニ種々ノ色アリ……………はニ移レ
- ろ 嘴長約二寸二分……………ロニ移レ
- 一、嘴長約一寸五分……………ほニ移レ
- 二、嘴長約三寸餘……………に及トニ移レ
- に 翼長約五寸五分……………トニ移レ
- 三、翼長約六寸三分……………ヘニ移レ
- ほ 翼長約四寸六分……………リニ移レ
- 三、翼長約四寸餘……………ヘニ移レ

- 一、尾羽十二枚……………ちニ移レ
- 二、尾羽十四枚……………ちニ移レ
- へ 尾羽十六(八)枚……………地<sup>ヂ</sup>鶉<sup>シ</sup>(八十四號)
- と 尾羽十八枚……………青<sup>アヲ</sup>鶉<sup>シ</sup>(八十二號)
- ち 尾端鼠色ニシテ下面銀白色ナリ……………山<sup>ヤマ</sup>鶉<sup>シ</sup>(八十一號)
- 三、尾端白色……………リニ移レ
- 一、嘴長約二寸強……………田<sup>タ</sup>鶉<sup>シ</sup>(八十三號)
- 二、尾羽鉛色ニ黒ノ横斑アリ……………玉<sup>タマ</sup>鶉<sup>シ</sup>(八十五號)

(八十) 山鶉

やましぎ又ぼとしぎ

*Scolopax rusticola*, Linn.

Wood-cock.

(第廿六版八十三圖全形ノ三分一)

山鶉 ハ頸部太ク體肥ヘ脚短キヲ以テぼとしぎノ名アル如ク一見他ノ鶉類ト鑑別スルコト容  
易ナレモ其色彩ヲ記スレバ背部ノ地色ノ赭色ニシテ黒色或ハ灰色ノ斑點各羽ノ尖端ニアリ  
爲ノニ脊部ハ一體ニ赭黒灰等ノ錯雜セル斑紋ヲ呈ス亦風切等ハ暗褐色ニテ其外瓣ニ赭色ノ  
斑點アリテ羊齒狀ヲナス内瓣ノ先端ニモ往々淡キ赭斑アリ初列風切羽ノ第一二ノ外瓣ニア



ルモノハ淡クシテ白色ニ近シ腰部并上尾筒ハ赭色ニシテ灰茶ノ横斑アリ尾羽ハ十二枚アリ  
黒褐色ニシテ外瓣ニ赭色ノ斑点アリ尾端ニハ鼠色ノ横斑アレモ下面ヨリハ銀白色ヲ呈ス顔  
部ハ灰色ニテ粗ニ淡キ黒斑アリむぎと全シク嘴根ヨリ眼邊マテ黒線アリ后頭著シク黒ク  
シテ赭色及灰色等ノ斑紋ヲ雜ユ前頸及胸部ニ於ケル茶色ノ斑紋鮮明ナリ翼裏腋羽ニ箭カス  
リアルハ他ノモノト全シ嘴ハ暗褐色ニシテ長サ約二寸四五分下嘴ノ基部ハ鉛色ヲ呈シ脚ハ  
灰色ナリ翅ノ長サ約六寸三分ナリ

此種ハ歐洲印度支那滿州等ヨリ本邦ニ至ルマテ棲息シ春夏ノ候本邦山地ヨリ北海道千島黒  
龍江地方ニ於テ繁殖シ秋冬ノ候ハ本道ヨリ以南ノ地ニ移動ス

(八十一) 青鷺

あをしぎ

*Scolopax solitaria*, Hodgs.

Japanese Solitary Snipe.

(第廿六版、八十四圖、全形ノ三分一)

此種ハぼとしきに次ク大形ノモノニシテ概山地ニ棲息スルヲ以テやましぎトモ云フモノア  
リ全體ノ彩色ハ背腹共ニ褐色ニシテ背部ニ黒斑アレモ不正ニシテ一定セズ肩部ノ各羽ヲ縁  
ドレル白色ハ背上ニ縦線ヲ呈ス下腹并腰部ニハ黒褐色ノ横斑アリ上尾筒ハ黄褐色ニシテ先  
端ニ白斑アリ初列風切ノ第一羽ノ外瓣ハ白色ニ褐色ノ斑点アリ尾羽十八枚ニシテ其色彩ハ

ぢしぎト全シク外側ノ二枚ハ其幅二分ヨリ廣カラズ白地ニ四個ノ黒斑アリ頭部ハ煤黒色ニ  
褐色ノ斑点アリ頂部ノ中央ニ白色ノ條線アルモ箸シカラズ眉顏稍白ク頬ニ褐色ノ太キ條斑  
アリ眼ノ下邊ニ及ブ耳部ヨリ後頸部ニ赤褐色ノ條斑アリ下頤ハ白色ニ淡茶ノ斑点アリ胸部  
ハ褐色ニ白色ヲ雜ヘ下腹并下尾筒ニ褐色ノ横斑アリ翼裏腋部下ぢしぎノ如ク黒白ノ箭カス  
リアリ嘴ノ長サ約二寸二分餘尖端黒色ニシテ下嘴ノ基部黄褐色ヲ呈ス翅ノ長サ約五寸五分  
脚ハ黄綠色ナリ

此種ハ四季共ニ本邦各地ニ棲ムト雖モ概テ山地ニシテ平野水田等ニハ稀ナリト云フ西比利  
亞支那印度ヒマラヤ山等ニモ全種ノモノ棲息スレモ多少異ナル所アリト云フ

(八十二) 田鷺

たしぎ

*Scolopax gallinago* Linn.

Common Snipe.

(第廿七版、八十五圖、全形ノ二分一)

此種ハ背部黒色ニシテ其兩側ヲ通シテ黄赤色ノ太キ條斑アリ恰モ黒斑アル肩部ヲ廣ク縁取  
リタル如シ腰部及上尾筒ハ赤黄色ニシテ黒色ノ横斑アリ其長キ羽毛ノ尖端ハ白色ヲ呈ス雨  
覆ハ黒褐色ニシテ尖端ハ灰白色ヲ呈ス初列風切ノ第一羽ノ外瓣ハ白色ヲ帶ブ尾羽ハ十四枚



アリ赭色ニシテ尖端ニハ白色ニ次ニ暗褐色ノ波状ヲナセル斑紋アリ尙兩側ノモノニハ他ニ二三ノ横斑ヲ有シ基部ハ全体ニ黑色ヲ呈ス頭部ノ中央線ニ赤茶色ノ條斑アリ其兩側ニハ太キ黒條アリ眉部亦赤茶色ヲ呈ス頰部ハ白色ニシテ其中央ニ黒條走り眼邊ニ達ス下頤ハ白色ニ喉胸部ハ黄褐色ニシテ黒斑アリ腹部ハ白色ニ下尾筒ハ赤黄色ニ黒點アリ腋下ハ純白或ハ黑白段タラノ箭カスリアリ(白色ノ方太キハ老鳥ナリ)嘴ハ其長サ約二寸余暗褐色ニシテ嘴端ニ黑色ヲ帶ブ翼ノ長サ約四寸余アリ

本種ハ歐羅巴及亞細亞ヲ通シテ普通ナルモノニテ本邦ニ於テハ秋冬ノ候多ク渡リ來リ晚春南方ヨリ北歸スルモノ本邦ヲ通過スルヲ以テ再ビ多數ヲ見ルト云フ

(八十三) 地鷀

ちしぎ、又おほしぎ

*Scolopax australis*, Lath.

Latham's Snipe.

(第廿七版、八十六圖、全形ノ二分一)

地鷀 ハ大形ニシテ背部ノ斑紋等全體ニたしぎニ近似シ尾羽十六(八)枚ニシテ外側ニ在ルニ枚ハ殊ニ細ク其幅約二分其彩色ハたしぎト全シ腋下ハたしぎノ如ク段ダラノ箭カスリアレ且黒斑白色ヨリ太シ嘴ノ長サ約三寸餘其基部黄色ニ橄欖色ヲ帶ヒ先端ハ濃褐色ナリ脚モ亦黄色ニ橄欖色ヲ帶ブ翅ノ長サ約五寸五分此種ハ初夏ノ候本邦各地ノ平野ニ於テ營巢蕃殖シ

冬季ハ台灣ヨリ遠ク濠洲及タスマニア等ニ移動スト云フ

(八十四) 玉鷀

たましぎ

*Rhychnaea capensis* Linn.

Painted Snipe.

(第廿八版、八十七圖、雌、全八十八圖、雄、全形ノ二分一)

本種ハ雌雄ノ色彩非常ニ異ナリ雌ハ一体ニ灰褐色ニシテ橄欖綠色ノ光輝強ク上部ハ淡黑色ノ細キ横線アリテ所々ニ綠カ、リシ太キ黒斑アリ背部ノ兩邊ニ鮮黄色ノ縦斑アリ肩羽ハ純白ヲ呈シ角羽雨覆風切羽等ハ橄欖綠色ノ光澤アリテ暗色ノ細キ不正ノ波状ヲナセル横斑アリ、風切羽ノ外瓣ニ淡黄色ノ眼點アリ(雄ニハ内瓣ニモ全色ノ斑點ヲ見ル)腰、上尾筒及尾羽ハ鉛色ニ黑色ノ細キ横斑アリ其上尾筒ニ在ルモノハ斑點ニシテ尾ニ在ルモノ横斑ヲナス頂部ハ暗色ニシテ中央ニ淡黄色ノ縦斑アリ其左右ハ黒ミヲ帶ビ眼部ヲ圍繞スル帶紅白色ノ斑紋ハ耳ノ上部ニ及ブ頰ヨリ咽喉及頸部ニ亘リ濃栗色ヲ帶ビ胸部ニ於テハ一層黑色ニ綠色ノ光澤アリ下腹部ヨリ胸部ノ黒帶マテ白色ニシテ胸部ノ左右ニ綠色ノ光輝アル黒斑アリ翼裏及腋羽ハ白色ニシテ其外傍ニ在ルモノ灰色ニ暗色ノ横斑アリ嘴ノ長サ約一寸五分黄綠色ニテ尖端ハ肉色ナリ脚ハ淡綠色ヲ呈ス翼長約四寸六分アリ

雄ハ雌ヨリ其體較小ニシテ雌ノ喉頸部ニ有スル濃栗色ノ存セザルト雨覆ハ青銅色ニシテ淡



黄赤色ノ斑點ノ上下ニ黒線ヲ有スルヲ以テ容易ニ識別スルヲ得ベシ喉ノ上部ハ白クシテ暗色ノ斑點アリ下部ハ淡褐色ニシテ各羽ノ下縁ハ白色ナリ嘴ハ紫褐色ニ脚ハ灰藍色ナリ翼長約四寸二分アリ

此種ハ亞非利加、印度、馬來群島等ニ栖息スル熱帶種ニ屬シ春夏ノ候支那、日本等ニ渡來スルモノナリ故ニ本邦中央以南ニ在リテハ普通ナレモ以北ニ於テハ稀ナリト云フ

增訂 保護鳥圖譜終

○狩獵法令

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル狩獵法改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年四月十二日

内閣總理大臣 侯爵 伊藤 博文  
農商務大臣 林 有造

○法律第三十三號

狩獵法

第一章 獵具、獵法

第一條 本法ニ於テ狩獵ト稱スルハ銃器、網、鞆繩又ハ挾ヲ以テ鳥獸ヲ捕獲スルヲ謂フ

前項各獵具ノ種類及制限ハ農商務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第二條 爆發物、劇藥、毒藥、据銃又ハ危險ナル毘若ハ陷阱ヲ以テ鳥獸ヲ捕獲スルコトヲ得ス

前項ノ外ノ獵具、獵法ニシテ第一條ニ掲ケサルモノニ就テハ地方長官ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ便宜取締規則ヲ設クルコトヲ得

第三條 日出前、日没後又ハ市街、人家稠密ノ場所、衆人群集ノ場所ニ於テ又ハ銃丸ノ達スヘキ處アル建物、船舶若ハ汽車ニ向テ銃獵ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 左ニ掲ケル場所ニ於テハ狩獵ヲ爲スコトヲ得ス

- 一 御獵場
  - 二 禁獵區
  - 三 公道
  - 四 公園
  - 五 社寺境内
  - 六 墓地
- 第五條 柵、柵、圍障若ハ作物植付アル他人ノ所有地ニ於テハ所有者又ハ占有者、他人ノ共同狩獵地ニ於テハ免



許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ狩獵ヲ爲スコトヲ得ス  
第六條 地方長官ハ鳥獸ノ蕃殖保護ノ爲又ハ土地所有者ノ出願其ノ他ノ理由ニ因リ必要ト認ムル場合ニ於テハ十箇年以内ノ期間ヲ以テ禁獵區ヲ設クルコトヲ得

第七條 地方長官ハ必要ト認ムル場合ニ於テハ區域ヲ限リ銃獵ヲ禁スルコトヲ得  
第二章 狩獵免許

第八條 狩獵ハ地方長官ニ願出テ免狀ヲ受クルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ柵、柵又ハ圍障アル宅地内ニ於テ銃器ヲ使用セスシテ狩獵ヲ爲ス者ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 從來地方ノ慣行ニ依リ一定ノ區域内ニ於テ共同狩獵ヲ爲ス者ハ農商務大臣ニ願出テ免許ヲ受クルコトヲ得但シ其ノ出願ニ關スル規則ハ農商務大臣之ヲ定ム

第十條 免狀ヲ分テテ甲乙ノ二種トス  
甲種免狀ハ銃器ヲ使用セスシテ狩獵ヲ爲ス者ニ下付シ乙種免狀ハ銃器ヲ使用シテ狩獵ヲ爲ス者ニ下付スルモノトス

第十一條 免狀ヲ受クル者ハ甲乙各種ニ付左ノ區別ニ從ヒ免許稅ヲ納ムヘシ  
一等 所得稅百圓以上、地租五百圓以上若ハ營業稅百五十圓以上ヲ納ムル者又ハ其ノ家族 金二十圓  
二等 所得稅三十圓以上、地租三十圓以上若ハ營業稅二十圓以上ヲ納ムル者又ハ其ノ家族 金十圓  
三等 一等、二等以外ノ者 金二圓

第十二條 免狀ノ有効期限ハ十月十五日ヨリ翌年四月十五日マテトス但シ北海道ニ於テハ九月十五日ヨリ翌年四月十五日マテトス  
前項期間内ニ非サレハ狩獵ヲ爲スコトヲ得ス  
第十三條 免狀ノ使用ハ本人ニ限ルモノトス  
第十四條 獵者ハ出獵ノ際免狀ヲ携帯スヘシ

警察官、憲兵、森林官及市町村長ハ獵者ノ免狀ヲ検査スルコトヲ得

第十五條 免狀ヲ亡失シタルトキハ其ノ地ノ所轄警察官署及當初之ヲ下付シタル官廳ニ届出ヘシ  
免狀ヲ亡失シ若ハ毀損シタルトキハ其ノ再渡又ハ書換ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ手数料金二十五錢ヲ納ムヘシ

第十六條 未成年者ハ乙種免狀ヲ受クルコトヲ得ス  
第十七條 免狀ハ其ノ効力ヲ失ヒタル日ヨリ三十日以内ニ當初之ヲ下付シタル官廳ニ返納スヘシ  
第十八條 學術研究又ハ有害鳥獸驅除ノ爲其ノ他特別ノ理由ニ因リ保護鳥獸又ハ其ノ他ノ鳥獸ノ捕獲ヲ要スルトキハ地方長官ハ何時タリトモ特ニ之カ許可ヲ與フルコトヲ得但シ捕獲シタル鳥獸ハ之ヲ賣買スルコトヲ禁ス前項ノ場合ニ於テハ第十一條ヲ適用セス

第三章 鳥獸保護  
第十九條 保護鳥獸ヲ捕獲シ又ハ之ヲ賣買スルコトヲ禁ス但シ保護期間前ニ捕獲シタル鳥獸ハ其ノ期間ノ初日ヨリ二週間以内ニ於テ賣買スルハ此ノ限ニ在ラス  
飼養ニ係ル保護鳥獸ハ前項期日後ト雖農商務大臣定ムル所ノ規則ニ依リ賣買スルコトヲ得  
保護鳥獸ノ種類及保護期間ハ農商務大臣之ヲ定ム

第二十條 保護鳥類ノ卵又ハ雛ヲ取り若ハ之ヲ賣買スルコトヲ禁ス但シ學術研究ノ爲之カ採取ヲ要スルトキハ地方長官ハ特ニ其許可ヲ與フルコトヲ得  
第四章 罰則

第二十一條 第八條第一項第十二條第二項ニ違背シテ狩獵ヲ爲シ又ハ詐欺ノ所爲ヲ以テ狩獵免狀若ハ共同狩獵地ノ免許ヲ受ケ又ハ詐テ共同狩獵地ヲ表示シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處シ犯罪ノ用ニ供シタル器具ハ之ヲ沒收ス  
第二十二條 第二條第一項、第三條若ハ第四條ニ違背シタル者ハ罰前條ニ同シ  
前項ノ處罰ヲ受ケタル者ノ免狀ハ其ノ効力ヲ失フモノトス

第二十三條 第五條、第十四條第三項、第十九條第一項、第二十條ニ違背シタル者ハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス但



シ第五條ニ付テハ土地所有者、占有者又ハ共同狩獵地ノ免許ヲ受ケタル者ノ告訴ヲ待テ處斷ス  
第二十四條 第十四條第一項、第十五條第一項、第十七條ニ違背シタル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

附 則

第二十五條 本法ハ明治三十四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス  
第二十六條 本法施行前ニ免許ヲ受ケタル獵區及共同狩獵地ハ本法施行後ト雖其ノ免許期間仍從前ノ規定ヲ適用ス  
第二十七條 本法施行前ニ受ケタル狩獵免狀ハ本法施行後仍其ノ効力ヲ有ス  
第二十八條 本法施行前ニ明治二十八年法律第二十號狩獵法ノ罰則ヲ適用スヘキ行爲アリタルトキハ本法施行後仍其ノ罰則ヲ適用ス  
第二十九條 明治二十八年法律第二十號狩獵法第二十一條ノ處罰ヲ受ケタル者ハ滿一箇年ヲ經過スルニ非サレハ本法ニ依リ狩獵免狀ヲ受クルコトヲ得ス  
第三十條 本法中地方長官ノ職務ハ東京府ニ於テハ警視總監之ヲ行フ  
本法中市町村長ノ職務ハ北海道、沖繩縣ノ區ニ於テハ區長、町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ町村長ニ該當スヘキ者之ヲ行フ

○農商務省令第七號

狩獵法施行規則左ノ通改正シ狩獵法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十四年六月二十六日

農商務大臣

平田 東助

狩獵法施行規則

第一條 狩獵法第一條ノ網トハ罾罾、投網、霞網其他ノ張網ヲ謂ヒ繩網トハ流シ網、張網繩ヲ謂ヒ換トハ高換、千本換ヲ謂フ  
第二條 狩獵免狀ヲ受ケントスル者ハ願書ニ免狀ノ種類、等級及ヒ身分、職業、氏名、住所年齢等ヲ記載シ且狩獵法第二十二條又ハ明治二十八年法律第二十號狩獵法第二十一條ノ處罰ヲ受ケタルコトノ有無及處罰ヲ受ケタルコトアルトキハ其年月日ヲ附記スヘシ

前項ノ願書ニハ狩獵法第十一條ニ定ムル稅額ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ但一等免狀ヲ受ケントスル者ハ此限ニ在ラス(明治三十四年農商務省令第九號ヲ以テ本項中改正)

第三條 狩獵免狀ノ再渡又ハ書換ヲ請求スル場合ニ於テ納付スヘキ手数料ハ收入印紙ヲ以テ納ムヘシ  
收入印紙ハ請求書ニ貼付消印スヘシ

第四條 狩獵免狀ヲ受ケタル者其氏名ヲ變更シ又ハ住所ヲ移轉シタルトキハ三週間内ニ其旨ヲ地方長官ニ届出ヘシ身分ニ異動アリタルトキ亦同シ

新住所地カ他ノ地方長官ノ管轄ニ屬スルトキハ前項ノ期間内ニ免狀ノ種類、等級及ヒ身分、職業、氏名、住所、年齢ヲ記載シタル書面ヲ其地方長官ニ差出スヘシ

第五條 地方長官ハ其下付スヘキ免狀用紙ノ概數ヲ毎年七月十五日限り農商務大臣ニ申告スヘシ

第六條 地方長官ハ免狀原簿ヲ備ヘ置キ之ニ免狀ノ種類、等級、番號及ヒ獵者ノ身分、職業、氏名、住所、年齢ヲ登錄スヘシ

第七條 獵者其免狀ヲ喪失シタルトキハ直チニ其事由ヲ詳記シタル書面ヲ地方長官ニ差出スヘシ此場合ニ於テハ地方長官ハ其旨ヲ公告スヘシ

第八條 地方長官ハ第一號様式ニ依リ免狀統計表ヲ調製シ毎年十二月十五日マテニ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第九條 地方長官狩獵法第六條ノ規定ニ依リ禁獵區ヲ設ケタルトキハ其禁獵ノ期間、理由及ヒ時期ヲ記載シタル書面ニ圖面ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

禁獵ノ區域、期間若クハ時期ヲ變更シ又ハ禁獵區ヲ廢止シ若クハ繼續シタルトキハ其理由ヲ記載シタル書面ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ區域ヲ變更シタル場合ニ於テハ其變更ノ區分ヲ示ス圖面ヲ添附スヘシ

第十條 土地所有者禁獵區ノ設置ヲ出願セントスルトキハ願書ニ其禁獵ノ期間、理由及ヒ時期ヲ記載シ圖面ヲ添附シテ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

前條第二項ノ規定ハ土地所有者出願ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 前二條ノ場合ニ於テ禁獵區ヲ設ケタルトキハ地方長官ハ禁獵ノ區域期間及ヒ時期ヲ公告スヘシ

禁獵ノ區域、期間若クハ時期ヲ變更シ又ハ禁獵區ヲ廢止シ若クハ繼續シタルトキハ其旨ヲ公告スヘシ

第十二條 地方長官鳥獸ノ蕃殖保護ノ爲メ禁獵區ヲ設ケタルトキハ毎年九月三十日マテニ其禁獵區ニ於ケル鳥獸



蕃殖ノ狀況ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十三條 共同狩獵地ノ免許ヲ受ケントスル者ハ願書ニ其免許ヲ受ケントスル期間ヲ記載シ圖面及ヒ共同狩獵ノ慣行ヲ證スルニ足ル書類ヲ添附シ地方長官ヲ經由シテ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

免許ノ繼續ヲ出願セントスル場合ニ於テハ前項ノ圖面及ヒ書類ヲ添附スルコトヲ要セス

第十四條 共同狩獵地ノ區域ヲ變更セントスルトキハ願書ニ其變更ノ區分ヲ示ス圖面及變更ノ理由ヲ記載シタル書類ヲ添附シ地方長官ヲ經由シテ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第十五條 共同狩獵地ト爲サントスル土地ノ全部又ハ一部カ官有地ナルトキ又ハ他人ノ所有地ナルトキハ願書ニ主務官廳ノ許可書又ハ所有者ノ承諾書ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十六條 地方長官ハ第十三條又ハ第十四條ノ願書ニ狩獵ノ慣行ニ關スル意見ヲ附スヘシ

第十七條 免許期間内ニ共同狩獵地ヲ廢止シタルトキハ地方長官ヲ經由シ其旨ヲ農商務大臣ニ届出ヘシ

第十八條 農商務大臣公益ノ爲メ必要ト認ムルトキハ共同狩獵地ノ免許ヲ取消シ又ハ之ヲ制限スルコトヲ得

第十九條 共同狩獵地ノ免許ヲ受ケタル者ハ毎年五月十五日マテニ地方長官ヲ經由シテ各狩獵期間中ニ捕獲シタル鳥獸ノ種類、數及ヒ狩獵ノ狀況ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第二十條 地方長官ハ禁獵區ヲ表示スル爲メ六十間ヲ超ユサル距離毎ニ見易キ場所ヲ撰ヒ其周圍ニ木標ヲ建設スヘシ

土地所有者ノ出願ニ因リ禁獵區ヲ設ケタル場合ニ於テハ出願者ヲシテ木標設置ノ費用ヲ負擔セシムルコトヲ得  
木標ニハ其四面ニ雛形ニ掲ケタル事項ノ外禁獵區ノ方位ヲ示シ且禁獵ノ時期ヲ定メタルトキハ其時期ヲ記載スヘシ

第二十一條 共同狩獵地ノ免許ヲ受ケタル者ハ所轄警察官署ノ指揮ヲ受ケ前條ノ規定ニ準シテ木標ヲ建設スヘシ

前項ノ規定ハ狩獵法第二十六條ノ獵區及共同狩獵地ニ之ヲ準用ス

第二十二條 地方長官狩獵法第七條ノ規定ニ依リ銃獵ヲ禁シタルトキハ其場所ニ制札ヲ建設スヘシ

第二十三條 地方長官カ狩獵法第十八條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ鳥獸ノ捕獲又ハ保護鳥類ノ卵若クハ雛ノ採取ヲ許可セントスルトキハ豫メ其捕獲又ハ採取スヘキ鳥類又ハ卵雛ノ種類、數及ヒ捕獲採取ノ期間並ニ區域ヲ指定スヘシ

前項ノ期間ハ三箇月ヲ起ユルコトヲ得ス

第二十四條 法人其他ノ團體ニ於テ狩獵法第十八條又ハ第二十條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ鳥獸又ハ卵雛ノ捕獲又ハ採取ニ從事スル者ヲ指定スヘシ

第二十五條 狩獵法第十八條又ハ第二十條ノ許可ヲ受ケタル者鳥獸又ハ卵雛ヲ捕獲又ハ採取シタルトキハ指定期間内ニ其ノ種類及ヒ數ヲ地方長官ニ報告スヘシ

地方長官ハ前項ノ報告ニ基キ第二號又ハ第三號式ニ依リ前半年間ノ鳥獸捕獲表又ハ卵雛採取表ヲ調製シ毎年一月及ヒ七月之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第二十七條 左ニ掲ケル鳥類ハ捕獲スルコトヲ禁ス

一 鶴 一 燕岩燕チ 一 小雀 一 日雀 一 四十雀 一 五十雀 一 柄長 一 刺戴 一 雪加

一 蟲喰 一 琉璃 一 鴿 一 三光鳥 一 鴿鴿 一 鴿鷄 一 杜鵑 一 郭公 一 蚊母鳥

一 鳴鶴 一 鴉 一 鶯 一 鶯

第二十八條 左ニ掲ケル鳥類ハ三月一日ヨリ十月三十一日マテ捕獲スルコトヲ禁ス

一 雉 一 鶯

第二十九條 左ニ掲ケル鳥類ハ四月十六日ヨリ十月十四日マテ(北海道ニ於テハ九月十四日マテ)捕獲スルコトヲ禁ス

一 鶯 一 椋鳥 一 雲雀 一 鶯 一 雷鳥 一 鶯 一 松鷄 一 鳩 一 鶯

第三十條 農商務大臣ニ於テ前三條ニ掲ケサル鳥獸ノ保護ヲ必要ト認ムルトキハ其鳥獸ノ名稱、保護期間及ヒ區域ヲ告示スヘシ

第三十一條 狩獵法第十九條第一項但書ノ規定ニ依リ保護鳥獸ヲ賣買セントスル者ハ保護期間ノ初日マテニ其賣買セントスル鳥獸ノ名稱及ヒ數ヲ所轄警察官署ニ届出ヘシ

前項ノ鳥獸ヲ賣買シタルトキハ保護期間ノ初日ヨリ十五日内ニ其名稱及ヒ數ヲ所轄警察官署ニ届出ヘシ

第三十二條 保護鳥獸ヲ飼養スル者ハ保護期間ノ初日ヨリ二週間ヲ經過シタル翌日ニ於ケル現在ノ鳥獸ノ名稱及ヒ數ヲ十五日以内ニ所轄警察官署ニ届出ヘシ

七



前項ノ鳥獸ノ數ニ異動ヲ生シタルトキハ十五日内ニ其年月日及ヒ事由ヲ所轄警察官署ニ届出ヘシ  
 第三十三條 飼養ニ係ル保護鳥獸ヲ賣買シタルトキハ賣渡人ニ於テ十五日内ニ買受人ノ氏名、住所、賣渡ノ年月日及鳥獸ノ名稱、數ヲ所轄警察官署ニ届出ヘシ  
 第三十四條 第二十條、第二十一條ノ木標若クハ第二十二條ノ制札ヲ毀棄汚損シタル者又ハ第二十五條、第三十條乃至第三十三條ノ規定ニ違背シタル者ハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス  
 一 雛形様式略ス

○農商務省告示第二十六號  
 明治三十五年三月一日ヨリ同四十五年四月十五日マテ左ノ區域ニ於テ鹿ヲ捕獲スルコトヲ禁ス  
 農商務大臣 平田東助  
 明治三十五年二月二十一日  
 農商務大臣  
 秋田縣南秋田郡ノ内(男鹿中村 南鹿村 北鹿村 戸賀村 船川港町 五里合村 脇木村 湯西村 船越村 拂月村)

○農商務省告示第七十一號  
 左ノ區域ニ於テ毎年四月一日ヨリ十月三十一日マテ鹿ヲ捕獲シ又ハ其ノ卵雛ヲ採取スルコトヲ禁ス  
 農商務大臣 男爵 清浦 奎吾  
 明治三十七年六月二十八日  
 北海道廳色丹郡斜古丹村及其ノ海岸線ヨリ海上三海里以内  
 同廳花咲郡瑤瑤村ノ内海馬島及其ノ海岸線ヨリ海上三海里以内

### 鳥獸保護期一覽表

赤色ハ保護期トス

鹿	鳥	鷓鴣	鳩	松鷲	雷鳥	鷓鴣	雲雀	椋鳥	鶇
明治三十五年三月一日ヨリ同四十五年四月十五日マテ									
秋田縣南秋田郡ノ内(男鹿中村 南鹿村 北鹿村 戸賀村 船川港町 五里合村 脇木村 湯西村 船越村 拂月村)	全	全	全	全	全	全	全	全	全
北海道廳色丹郡斜古丹村及其ノ海岸線ヨリ海上三海里以内	全	全	全	全	全	全	全	全	全
同廳花咲郡瑤瑤村ノ内海馬島及其ノ海岸線ヨリ海上三海里以内	全	全	全	全	全	全	全	全	全

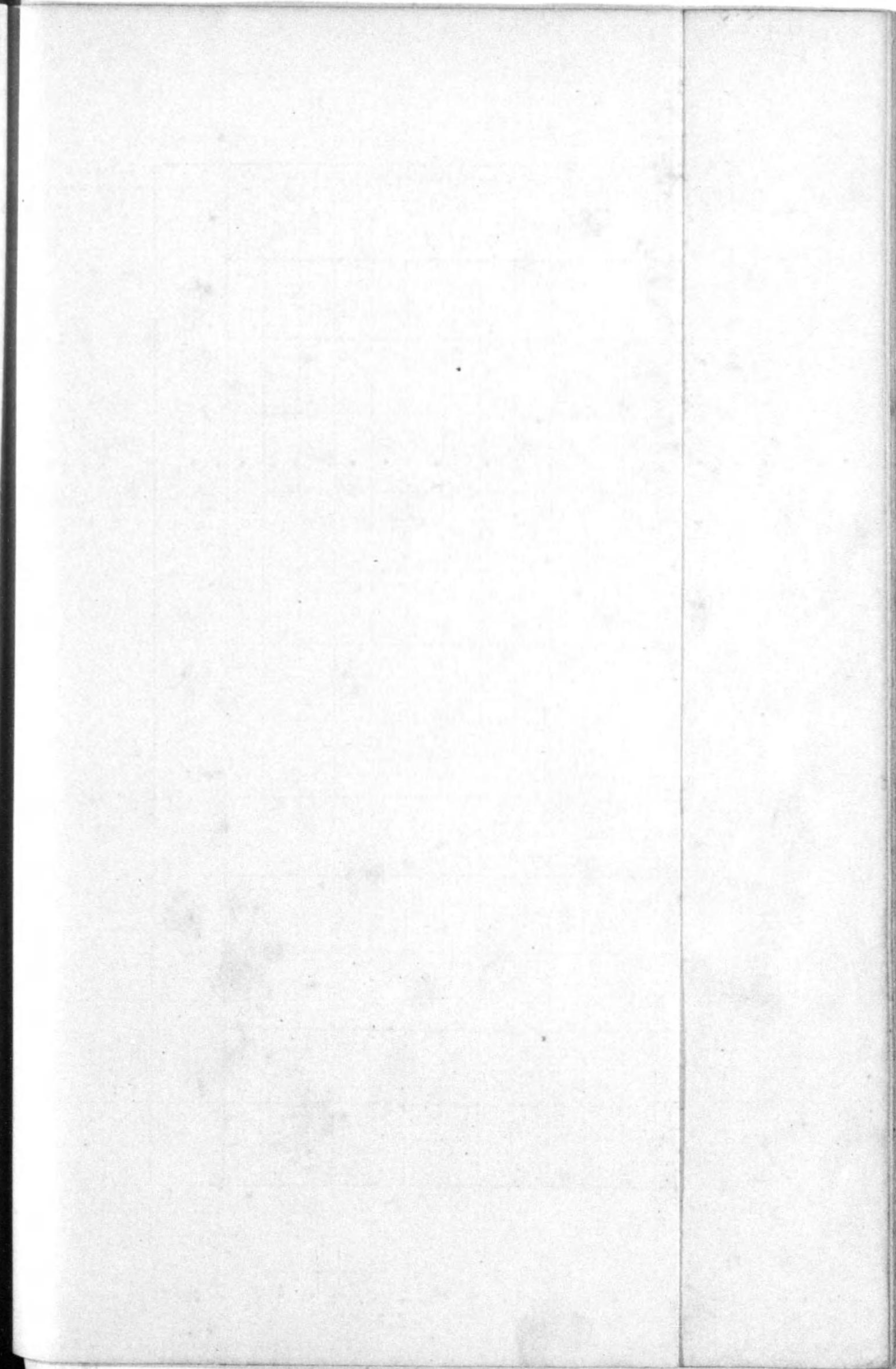
備考

鳥 椋鳥 雲雀 鷓鴣 雷鳥 鷓鴣 松鷲 鳩 鳥 鹿  
 北海道ニ於テハ四月十六日ヨリ九月十四日マテトス











圖

版



第 壹 版

- 一 (1) タンキヤウヅル Sacred Crane.
- 二 (2) マナヅル White-naped Crane.
- 三 (3) ナベヅル White-headed Crane.





(3) 圖

(1) 圖

(2) 圖



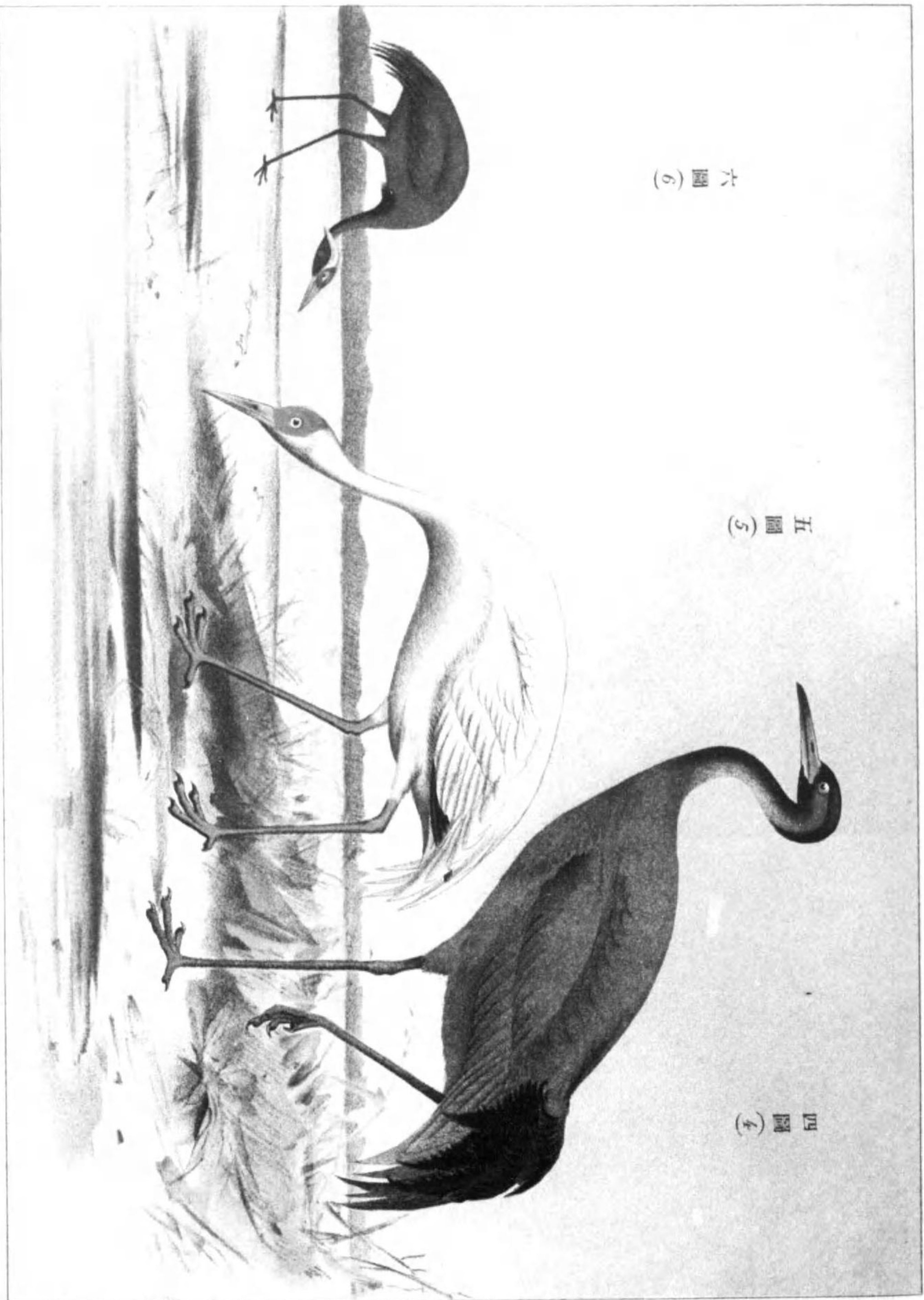
第 貳 版

四 (4) クロヅル Common Crane.

五 (5) ソデクロヅル Siberian White Crane.

六 (6) アネハヅル Demoiselle Crane.





四圖

五圖

六圖



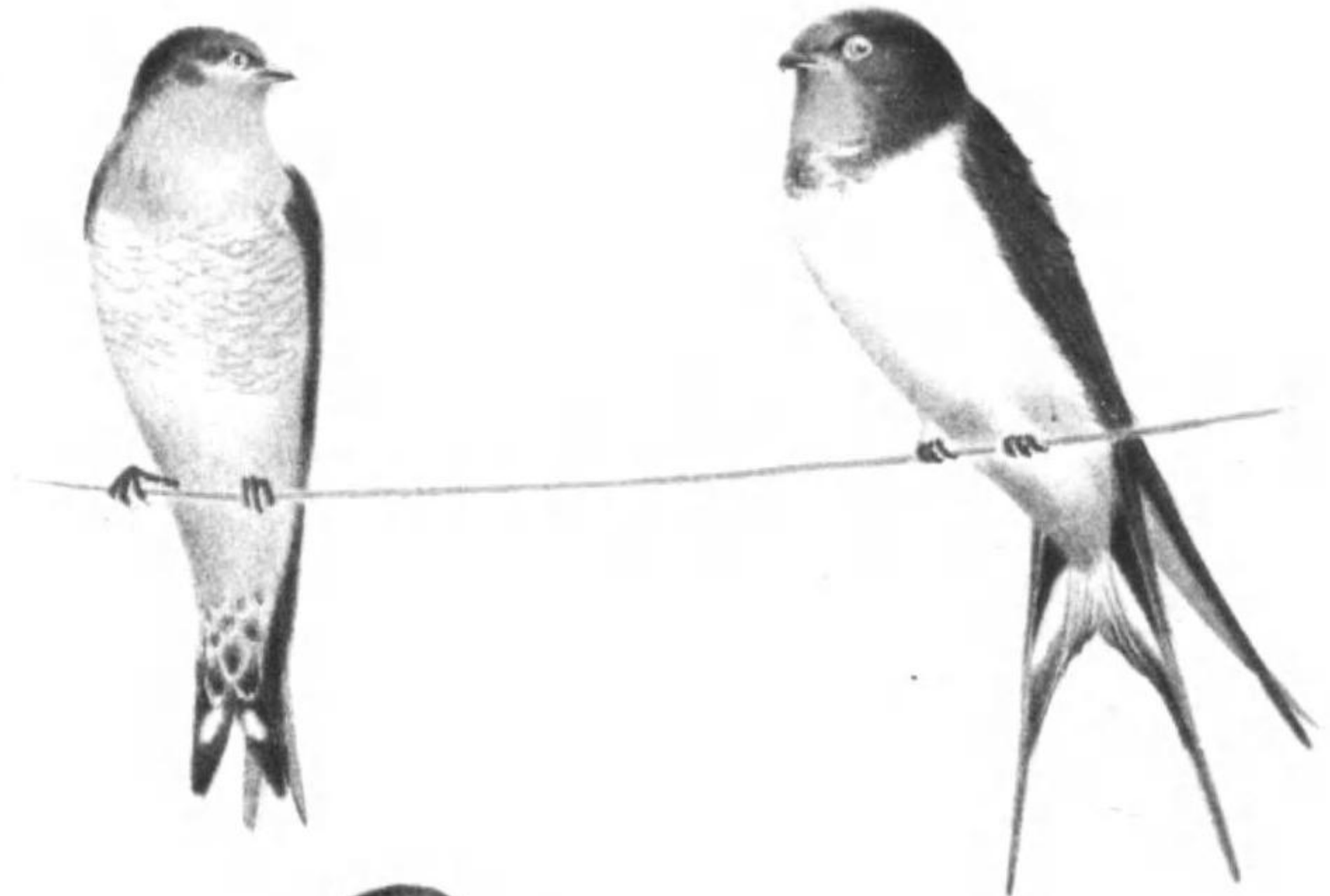
第 三 版

- 七 (7) ツバメ Eastern Chimney-Swallow.
- 八 (8) リウキウツバメ Namiye's Bungalow-Swallow.
- 九 (9) ヨシアカツバメ Japanese Mosque-Swallow.
- 十 (10) シヤウドウツバメ Sand-Martin.
- 十一 (11) イハツバメ Black-chinned Martin.



版 三 第

八圖(8)

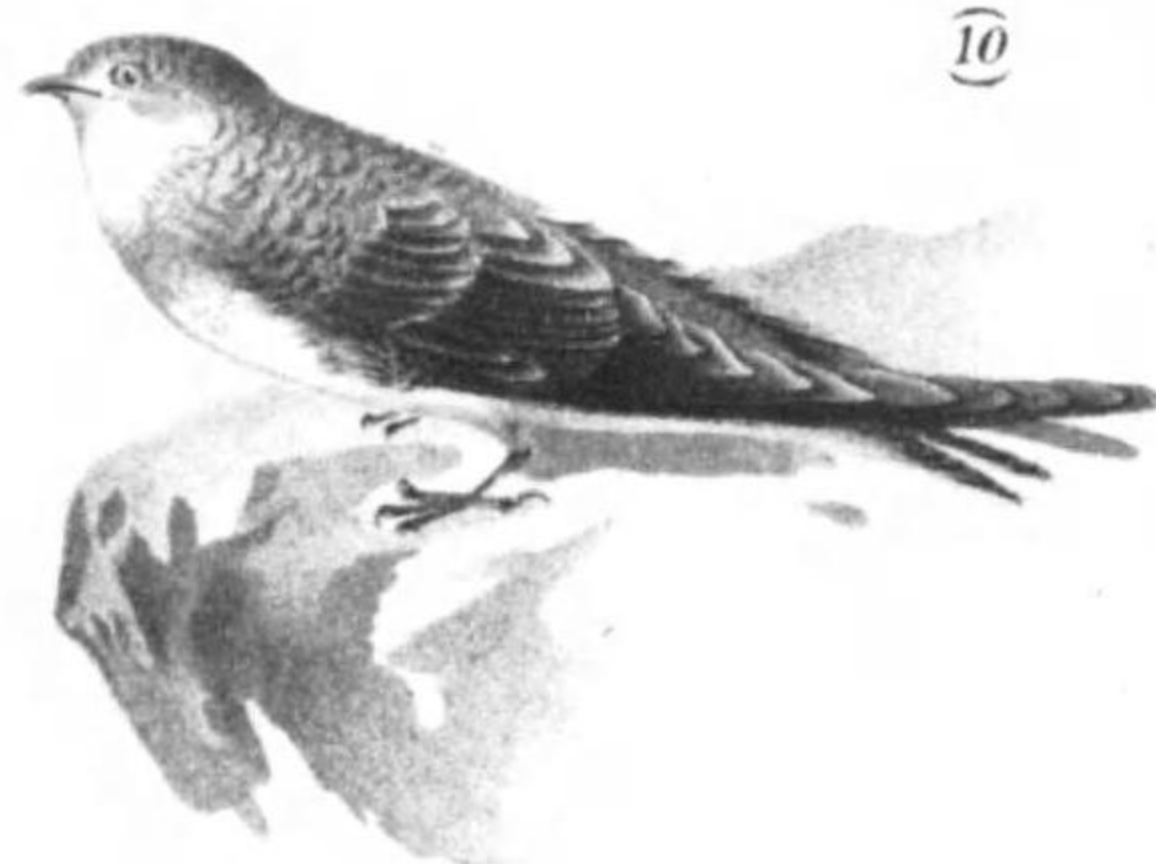


七圖(7)

九圖(9)



十圖(10)



十一圖(11)





第 四 版

- 十二 (12) ヨガラ Japanese Marsh-Tit.
- 十三 (13) シバウカラ Manchurian Great-Tit.
- 十四 (14) ゴシウカラ Nuthatch.
- 十五 (15) ヒガラ Eastern Cole-Tit.
- 十六 (16) エナガ Japanese Long-tailed Tit.
- 十七 (17) シマエナガ Continental Long-tailed Tit.
- 十八 (18) ミソサバイ Japanese Wren.





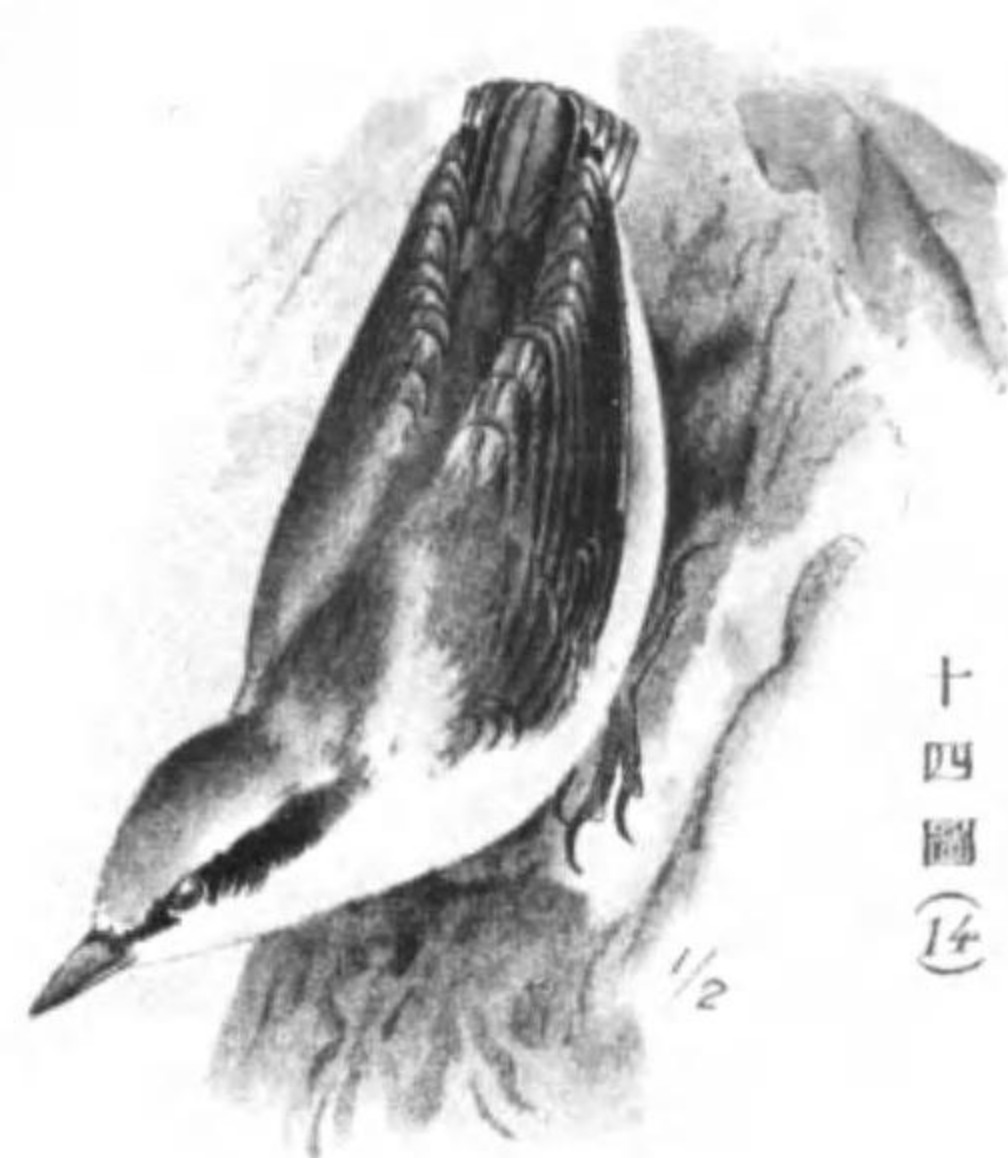
十三圖 (13)



十二圖 (12)



十五圖 (15)



十四圖 (14)

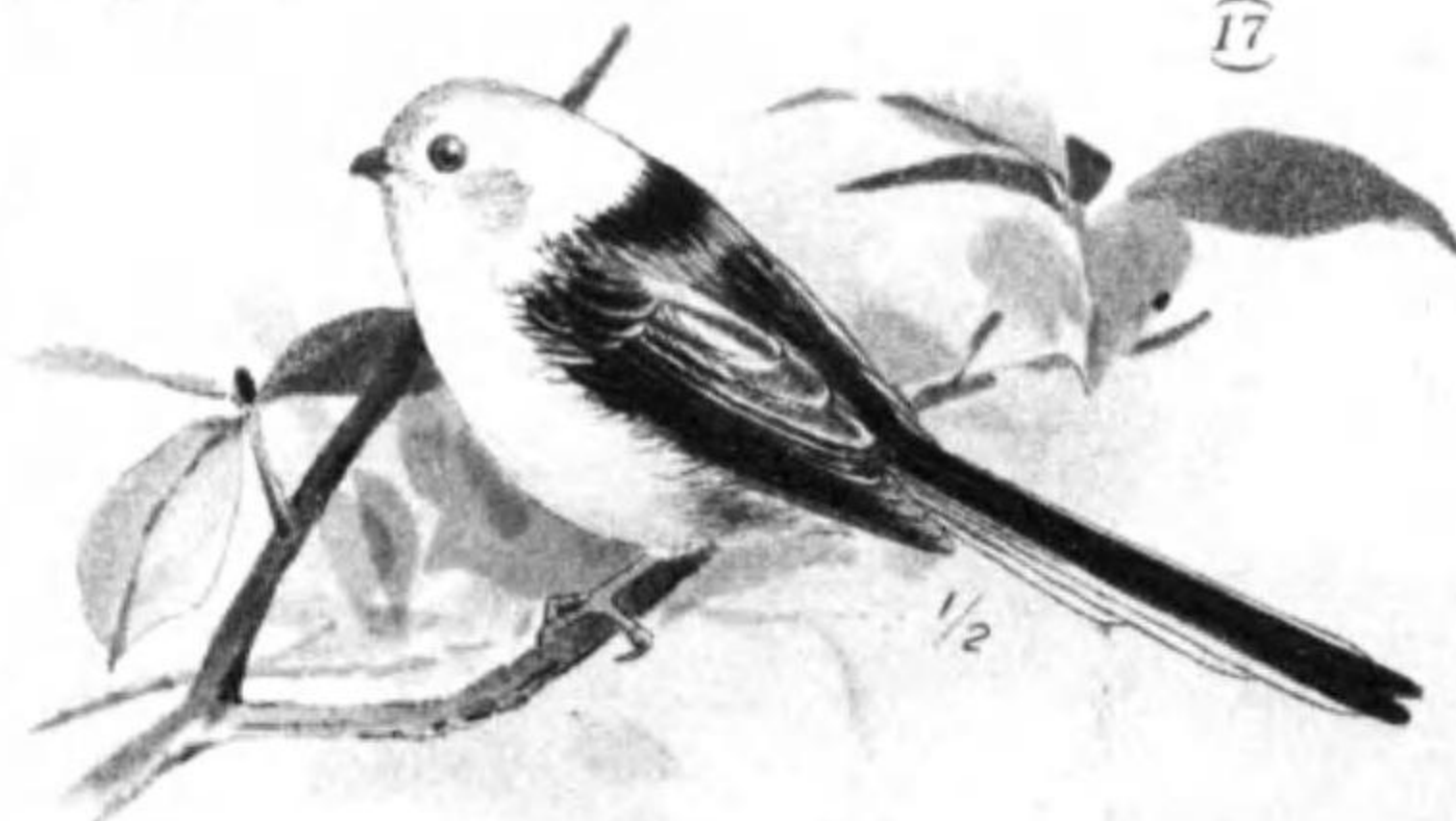


十六圖 (16)

十七圖 (17)



十八圖 (18)





第 五 版

- 十九 (19) キクイタバキ(雄) Eastern Goldcrest.  
二十 (20) 同 (雌) Eastern Goldcrest.  
二十一 (21) セツカ(夏羽) Fan-tailed Warbler.  
二十二 (22) 同 (冬羽) Fan-tailed Warbler.  
二十三 (23) メボソ Swinhoe's Willow-Warbler.  
二十四 (24) コムシクヒ Arctic Willow-Warbler.  
二十五 (25) センダイムシクヒ Temminck's Crowned Willow-Warbler





第 五 版

- 十九 (19) キクイタバキ(雄) Eastern Goldencrest.  
 二十 (20) 同 (雌) Eastern Goldencrest.  
 二十一 (21) セツカ(夏羽) Fan-tailed Warbler.  
 二十二 (22) 同 (冬羽) Fan-tailed Warbler.  
 二十三 (23) イボサ Swinhoe's Willow-Warbler.  
 二十四 (24) コムシクロ Apple Willow-Warbler.  
 二十五 (25) センダイムシクモ Tenimus's Crowned Willow-Warbler.



第 六 版

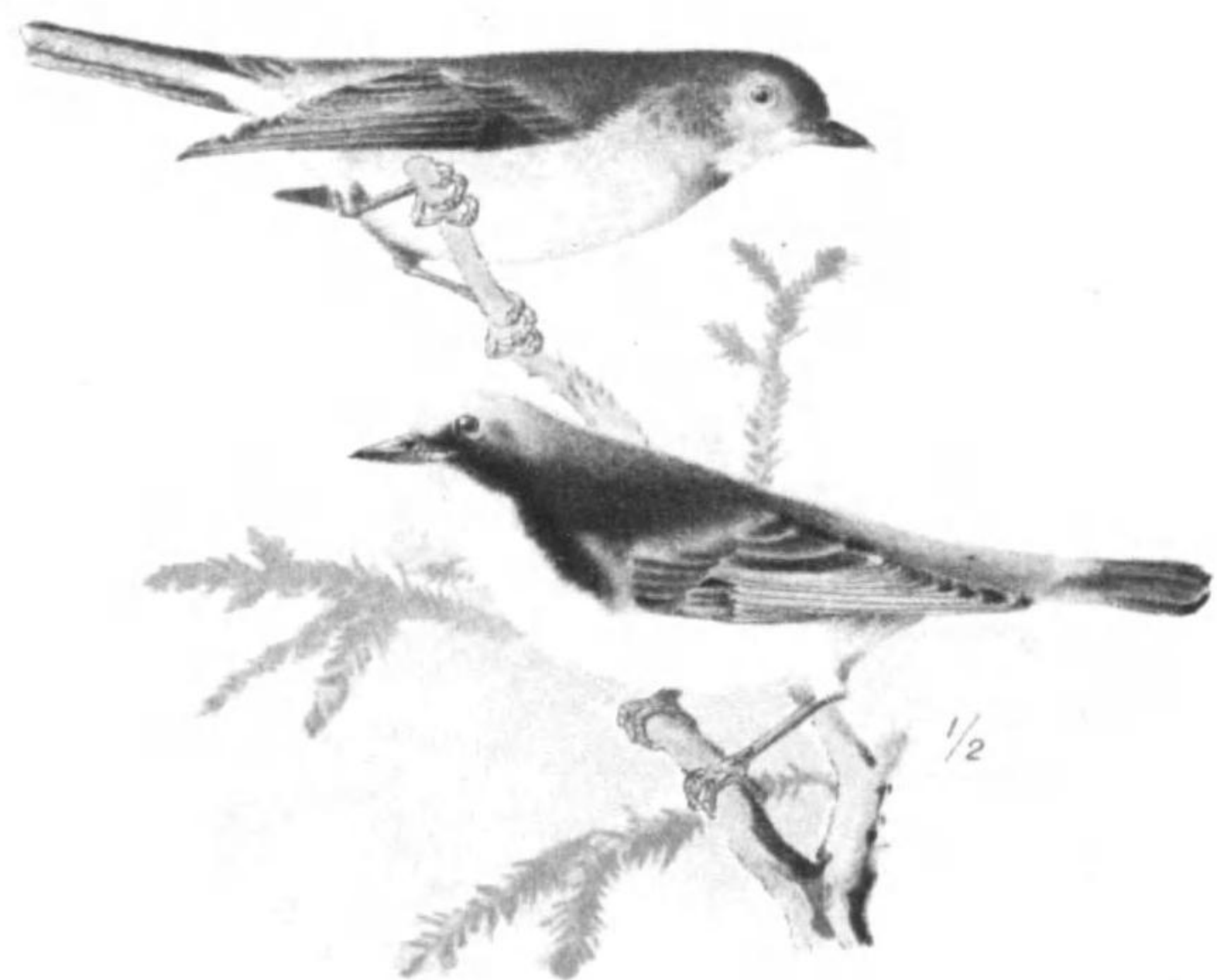
二十六 (26) コルリ(雌) Siberian Blue-Robin.

二十七 (27) 同 (雄) Siberian Blue-Robin.

二十八 (28) オホルリ(雌) Japanese Blue Flycatcher.

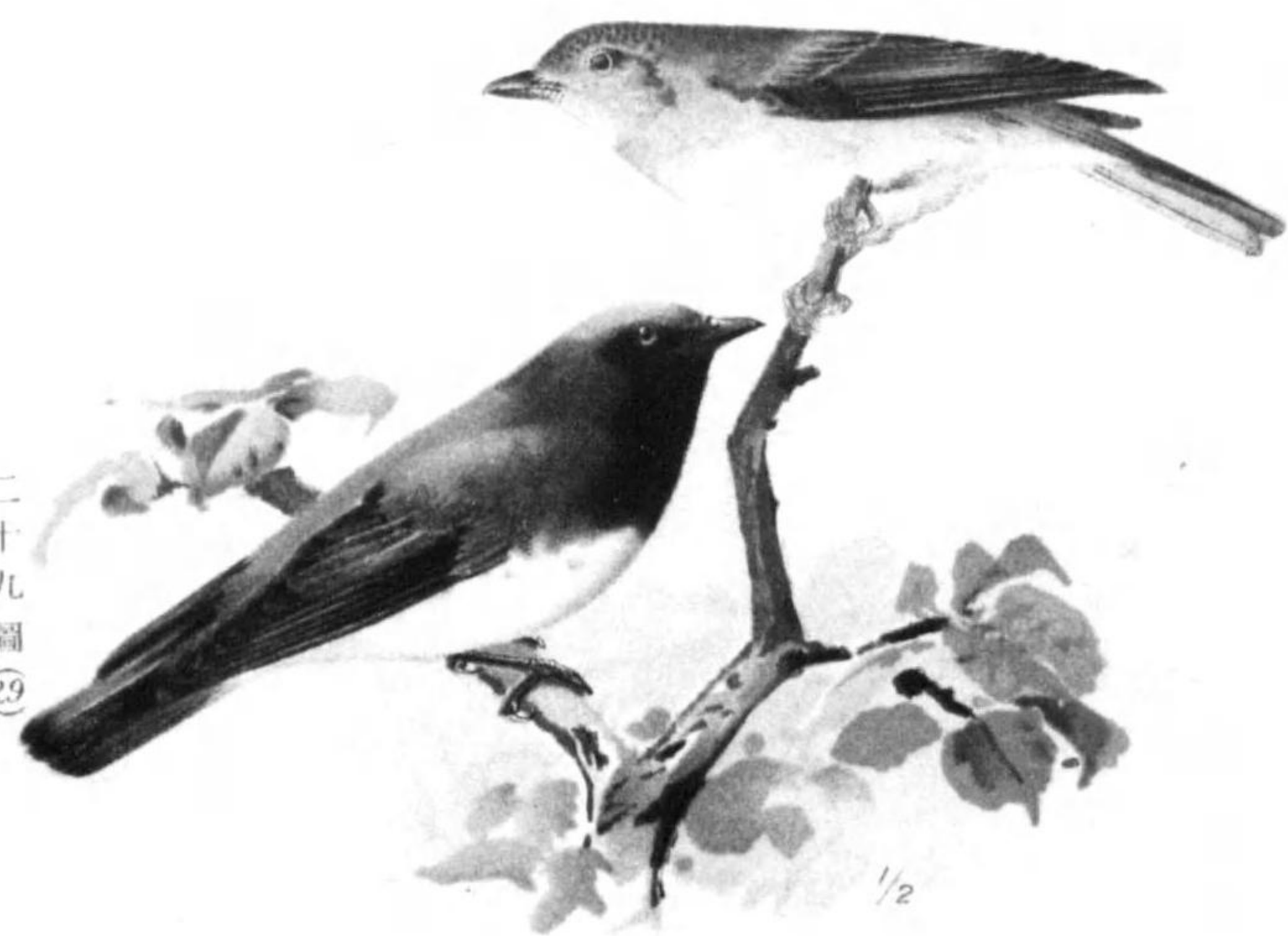
二十九 (29) 同 (雄) Japanese Blue Flycatcher.





二十六圖(26)

二十七圖(27)



二十八圖(28)

二十九圖(29)



第七版

- 三十 (30) シヤウビタキ Daurian Redstart.  
三十一 (31) ルリビタキ Siberian Blue-tail.  
三十二 (32) キビタキ Narcissus Flycatcher.  
三十三 (33) ノビタキ Siberian Stonechat.  
三十四 (34) サメビタキ Siberian Flycatcher.  
三十五 (35) コサメビタキ Brown Flycatcher.







第 八 版

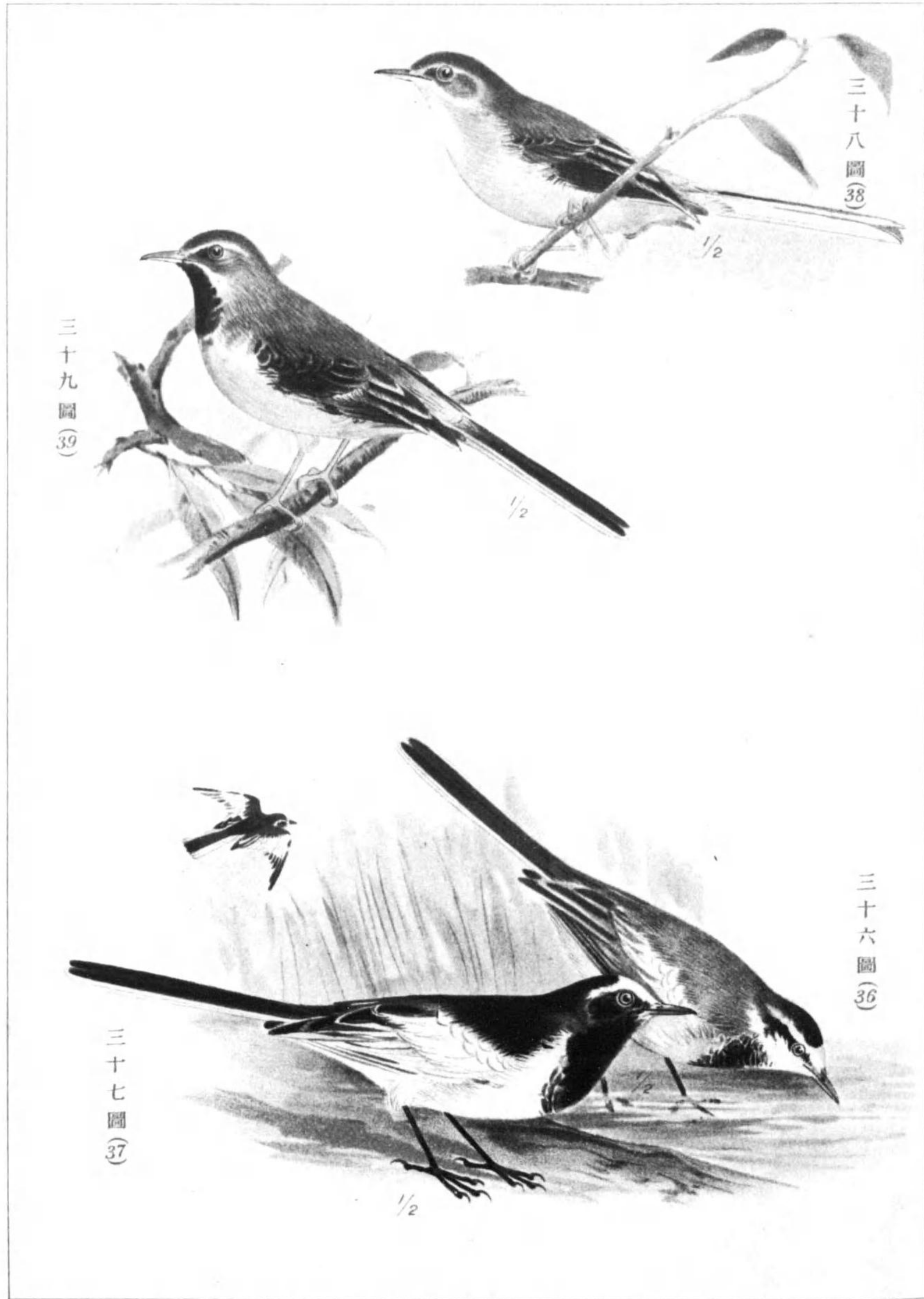
三十六 (36) ハクセキレイ Kamtschatkan Wagtail.

三十七 (37) セグロセキレイ Japanese Wagtail.

三十八 (38) キセキレイ (冬羽) Eastern Grey Wagtail.

三十九 (39) 同 (夏羽) Eastern Grey Wagtail.







第 九 版

四十 (40) ホ、ジロセキレイ White-cheeked Wagtail.

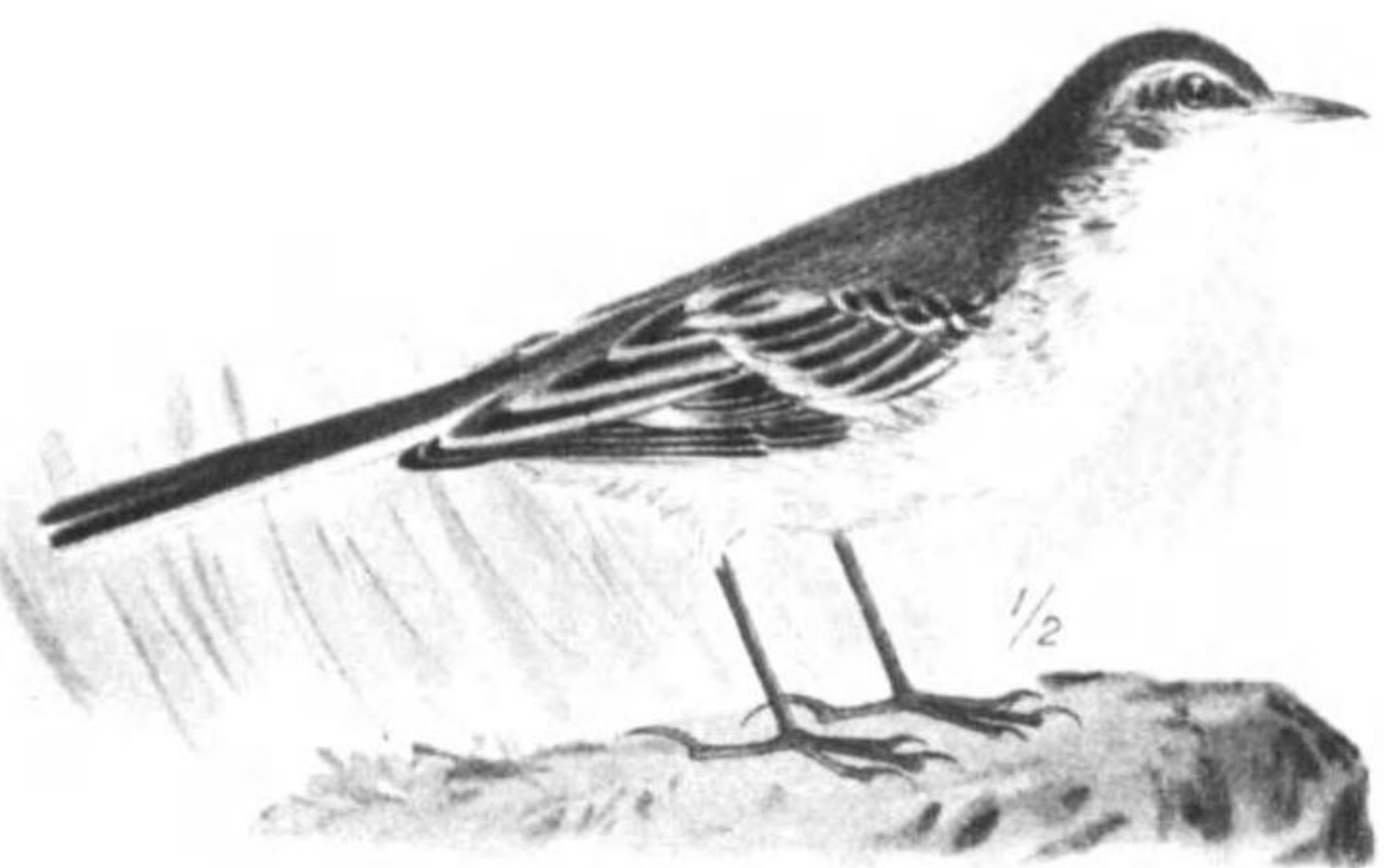
四十一 (41) ツメナガセキレイ(幼鳥) Blue-headed Wagtail.

四十二 (42) イロミセキレイ Indian Wagtail.

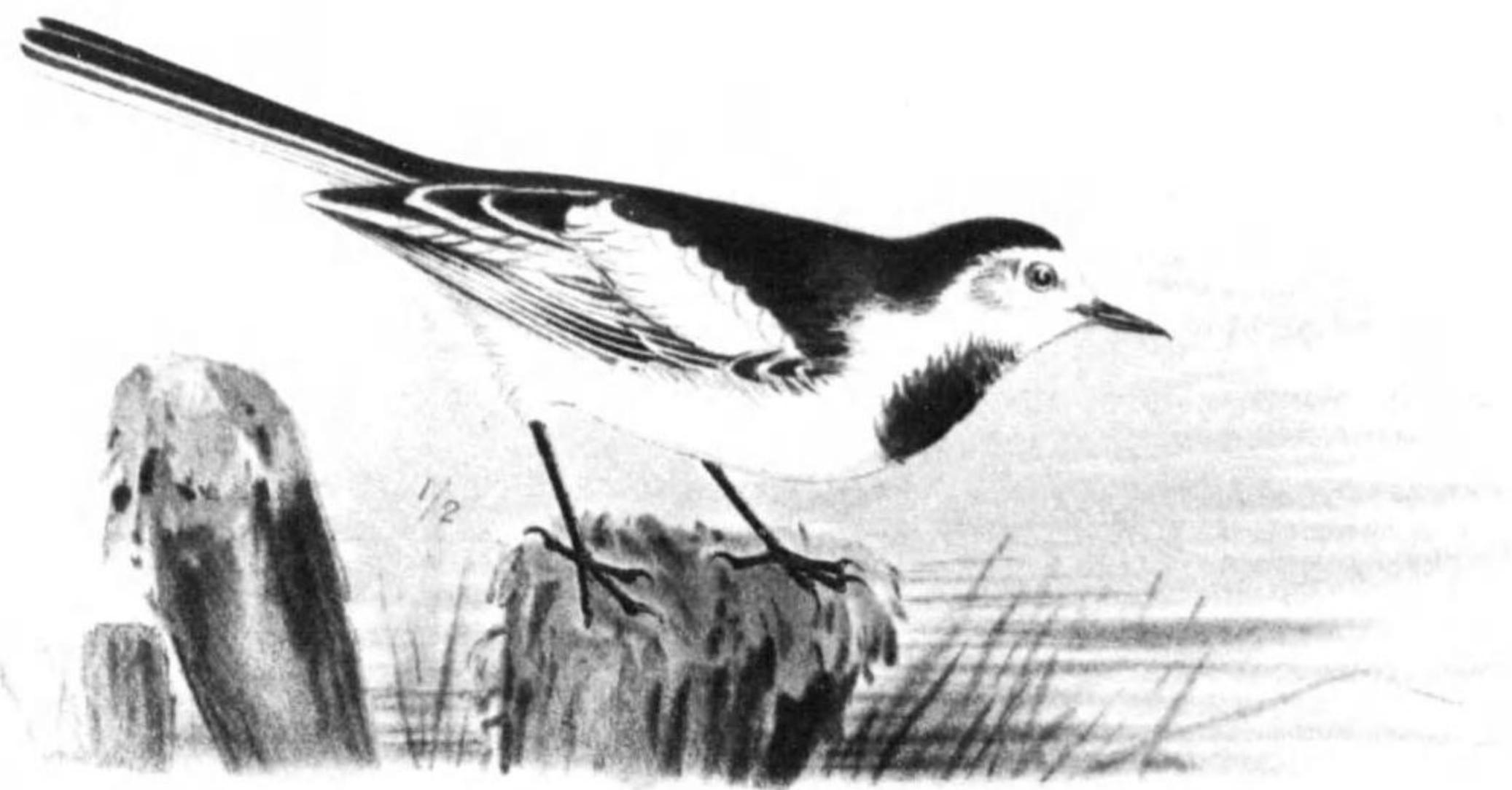




四十二圖(42)



四十一圖(41)



四十圖(40)



第 十 版

四十三 (43) サンクワウテウ Japanese Paradise Flycatcher.

四十四 (44) クワクユウ Common Cuckoo.

四十五 (45) ツ、ドリ Himalayan Cuckoo.

四十六 (46) ホト、ギス Little Cuckoo.





四十三圖(43)

四十四圖(44)

四十六圖(46)

四十五圖(45)



第 十 一 版

四十七 (47) ヨタカ Japanese Gootsucker.







第 十 二 版

四十八 (48) トラフヅク Long-eared Owl.

四十九 (49) コミ、ヅク Short-eared Owl.